

松風台住宅 解体工事

図 面 リ ス ト

表紙共 58 枚

図 番	図 面 内 容	図 番	図 面 内 容	図 番	図 面 内 容
	(建 築 工 事)				(電 気 設 備 工 事)
A-00	表紙・図面リスト	A-24	平面詳細図 G・H・I棟	E-01	工事仕様書（電気設備） 1 / 3
A-01	解体工事仕様書 その1	A-25	建具リスト G・H・I棟	E-02	工事仕様書（電気設備） 2 / 3
A-02	解体工事仕様書 その2	A-26	基礎伏図 G・H・I棟	E-03	工事仕様書（電気設備） 3 / 3
A-03	附近見取図・全体配置図	A-27	床組伏図 G・H・I棟	E-04	電気設備 全体配置図
A-04	仕上表 D-3,4棟	A-28	梁、床、小屋組伏図 G・H・I棟	E-05	電気設備 撤去器具表
A-05	1階平面図 D-3,4棟	A-29	軸組図 G・H・I棟	E-06	電気設備 盤結線図
A-06	2階平面図 D-3,4棟	A-30	工作物配置図	E-07	電気設備 1階平面図[D棟]
A-07	天井伏図 D-3,4棟	A-31	D棟 工作物配置図	E-08	電気設備 2階平面図[D棟]
A-08	立面図 D-3,4棟	A-32	G棟 工作物配置図	E-09	電気設備 平面図[G・H・I棟]
A-09	矩計図1 D-3,4棟	A-33	H棟 工作物配置図		
A-10	矩計図2 D-3,4棟	A-34	I棟 工作物配置図		
A-11	展開図1 D-3,4棟	A-35	工作物詳細図		
A-12	展開図2 D-3,4棟	A-36	仮設計画図 D-3,4棟		(機 械 設 備 工 事)
A-13	建具平面図 D-3,4棟	A-37	仮設計画図 G・H・I棟	M-01	工事仕様書（機械設備） 1 / 3
A-14	建具リスト D-3,4棟	A-38	解体後配置図	M-02	工事仕様書（機械設備） 2 / 3
A-15	基礎伏図・床組伏図・基礎リスト D-3,4棟			M-03	工事仕様書（機械設備） 3 / 3
A-16	2階梁伏図 D-3,4棟			M-04	全体配置図
A-17	仕上表 G・H・I棟			M-05	撤去機器表・器具表
A-18	1階平面図 G・H・I棟			M-06	給排水衛生設備 1階平面図 [撤去図] D棟
A-19	天井伏図 G・H・I棟			M-07	換気設備 1階平面図 [撤去図] D棟
A-20	立面図 G・H・I棟			M-08	換気設備 2階平面図 [撤去図] D棟
A-21	矩計図1 G・H・I棟			M-09	給排水衛生設備 平面図 [撤去図] G・H・I棟
A-22	矩計図2 G・H・I棟			M-10	空調換気設備 平面図 [撤去図] G・H・I棟
A-23	展開図 G・H・I棟				

3	処分に注意を要する建設廃棄物	<4.5.1>			8章 そ の 他																																																																																																		
		種 類	受入施設の名称等	所在地	項 目	特 記 事 項																																																																																																	
		・ CCA処理木材			①	いしかわ週休2日工事 工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 （１）当初設計において、週単位の週休2日にかかる補正係数を乗じている。 （２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （３）受注者は、現場着手前に休日取得〔計画〕表を作成し、監督員に提出・共有すること。 （４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （５）受注者は、工期最終日までに、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。 （６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休2日に満たない場合は、月単位の週休2日（4週8休相当）の補正に減額するものとし、月単位の週休2日（4週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。																																																																																																	
		・ ヒ素・カドミウム含有せっこうボード																																																																																																					
		・ せっこうボード（有害物質非含有）																																																																																																					
	（注）施設の名称については、受注者が別に選定することを妨げるものではない。																																																																																																						
	5章 特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 処 理																																																																																																						
	項 目		特 記 事 項																																																																																																				
	1	廃石棉等	「改修標仕」9章第1節及び「解体共仕」6章によるほか。下記「6章アスベスト含有建材の除去及び処理」による。 <5.4.1>																																																																																																				
	2	廃PCB等	PCB含有物の旨、保管年月日をペンキで記入した堅固な容器に密封し、保管台帳を添えて、県に提出する。 <5.4.1>																																																																																																				
3	PCB含有シーリング材	分析調査 ・する ※しない																																																																																																					
6章 石綿含有建材の除去及び処理																																																																																																							
項 目		特 記 事 項																																																																																																					
1	石綿含有建材の処理	1）事前調査 目視及び貸与する設計図書等により石綿含有建材の有無について調査する。 調査範囲 ・ 図示 貸与資料 ・ 2）分析による石綿含有建材の調査 ・ 行う ・ 行わない 分析方法 <table><tr><th rowspan="2">材 料 名</th><th colspan="2">定性分析方法</th><th colspan="2">定量分析方法</th></tr><tr><td>・ JIS A 1481-1 ・ JIS A 1481-2</td><td></td><td>・ JIS A 1481-3 ・ JIS A 1481-4</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所</td><td></td><td>・ 箇所</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所</td><td></td><td>・ 箇所</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所</td><td></td><td>・ 箇所</td><td></td></tr></table> 3）石綿粉じん濃度測定 ・ 行う（下表による） ・ 行わない 測定室（ ） <table><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点（各施工箇所ごと）</th></tr><tr><td>・ 測定1</td><td rowspan="4">処理作業中</td><td rowspan="4">処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>・ 各2点 ・ 各3点（注1）</td></tr><tr><td>・ 測定2</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>・ 各2点（大気）</td></tr><tr><td>・ 測定3</td><td>処理作業室内</td><td>・ 各2点</td></tr><tr><td>※ 測定4</td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>・ 各1点</td></tr><tr><td>※ 測定5</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）</td><td>出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・ 各1点</td></tr><tr><td>・ 測定6</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>・ 4方向各1点</td></tr><tr><td>※ 測定7</td><td rowspan="2">処理作業後（隔離シート撤去前）</td><td rowspan="5">処理作業室内</td><td>処理作業室内</td><td>・ 各2点</td></tr><tr><td>・ 測定8</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>・ 4方向各1点（大気）</td></tr></table> （注1）各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。 測定方法 ・ 自動測定機による測定 <table><tr><th>測定名称</th><th colspan="3">測 定 方 法</th></tr><tr><td>・ 測定4</td><td colspan="3">粉じん相対湿度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td></tr><tr><td>・ 測定5</td><td colspan="3"></td></tr></table> ・ JIS K 3850-1に基づいた測定 <table><tr><th>測定名称</th><th>ろアレルろ径直径（mm）</th><th>試料の吸引流量（L/min）</th><th>試料の吸引時間（min）</th></tr><tr><td>・ 測定4</td><td rowspan="3">25</td><td rowspan="3">5</td><td>・ 30</td></tr><tr><td>・ 測定5</td><td>・ 120</td></tr><tr><td>・ 測定</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定</td><td rowspan="3">45</td><td rowspan="3">10</td><td>・ 120</td></tr><tr><td>・ 測定</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定</td><td rowspan="3">45</td><td rowspan="3">10</td><td>・ 240</td></tr><tr><td>・ 測定</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定</td><td></td></tr></table>					材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		・ JIS A 1481-1 ・ JIS A 1481-2		・ JIS A 1481-3 ・ JIS A 1481-4			・ 箇所		・ 箇所			・ 箇所		・ 箇所			・ 箇所		・ 箇所		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	・ 測定1	処理作業中	処理作業前	処理作業室内	・ 各2点 ・ 各3点（注1）	・ 測定2	施工区画周辺又は敷地境界	・ 各2点（大気）	・ 測定3	処理作業室内	・ 各2点	※ 測定4	セキュリティゾーン入口	・ 各1点	※ 測定5			負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・ 各1点	・ 測定6	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	※ 測定7	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	処理作業室内	・ 各2点	・ 測定8	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点（大気）	測定名称	測 定 方 法			・ 測定4	粉じん相対湿度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定			・ 測定5				測定名称	ろアレルろ径直径（mm）	試料の吸引流量（L/min）	試料の吸引時間（min）	・ 測定4	25	5	・ 30	・ 測定5	・ 120	・ 測定		・ 測定	45	10	・ 120	・ 測定		・ 測定		・ 測定	45	10	・ 240	・ 測定	
材 料 名	定性分析方法		定量分析方法																																																																																																				
	・ JIS A 1481-1 ・ JIS A 1481-2		・ JIS A 1481-3 ・ JIS A 1481-4																																																																																																				
	・ 箇所		・ 箇所																																																																																																				
	・ 箇所		・ 箇所																																																																																																				
	・ 箇所		・ 箇所																																																																																																				
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）																																																																																																			
・ 測定1	処理作業中	処理作業前	処理作業室内	・ 各2点 ・ 各3点（注1）																																																																																																			
・ 測定2			施工区画周辺又は敷地境界	・ 各2点（大気）																																																																																																			
・ 測定3			処理作業室内	・ 各2点																																																																																																			
※ 測定4			セキュリティゾーン入口	・ 各1点																																																																																																			
※ 測定5			負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・ 各1点																																																																																																			
・ 測定6			施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点																																																																																																			
※ 測定7	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	処理作業室内	・ 各2点																																																																																																			
・ 測定8			施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点（大気）																																																																																																			
測定名称	測 定 方 法																																																																																																						
・ 測定4	粉じん相対湿度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																						
・ 測定5																																																																																																							
測定名称	ろアレルろ径直径（mm）	試料の吸引流量（L/min）	試料の吸引時間（min）																																																																																																				
・ 測定4	25	5	・ 30																																																																																																				
・ 測定5			・ 120																																																																																																				
・ 測定																																																																																																							
・ 測定	45	10	・ 120																																																																																																				
・ 測定																																																																																																							
・ 測定																																																																																																							
・ 測定	45	10	・ 240																																																																																																				
・ 測定																																																																																																							
・ 測定																																																																																																							
2	石綿含有吹付け材の除去	除去工法 ・ ※解体共仕6.3.2(1)による工法 <6.3.1～4>																																																																																																					
3	石綿含有保温材等の除去	除去工法 ※ 手ばらし ・ 切断又は破砕 <6.4.1～4>																																																																																																					
4	石綿含有成形板等の除去	養生 ・ 不要 ・ 要（方法： ） <6.5.1～4>																																																																																																					
5	石綿含有仕上塗材の除去	除去工法 ・ 高圧水洗工法（ ） ・ 剥離剤を用いる工法（ ） ・ 電気グラインダー等を用いる工法（ ） ・ その他（ ） <6.6.1～5>																																																																																																					
7章 特 殊 な 建 設 副 産 物 の 処 理																																																																																																							
項 目		特 記 事 項																																																																																																					
1	フロン類の処理	フロン類を使用している機器の処理は下記による。 1）業務用冷凍空調機器等（エアコンディショナー、冷蔵機器、冷凍機器等）で「フロン回収破壊法」の対象となっている機器 イ）「第一種フロン類回収業者登録通知書」の写しを提出 ロ）「フロン類回収証明書」を提出 ハ）フロン類の破壊 ・ する ※しない 2）家庭用のエアコン等で「家電リサイクル法」の対象となっている機器 イ）「特定家庭用機器廃棄物管理票」の写しを提出																																																																																																					
2 余裕期間制度 試行工事																																																																																																							
3 イメージアップ 看板																																																																																																							
4 情報共有システム																																																																																																							
石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html ・ 利用する（発注者指定型） ※現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）																																																																																																							
（着工日の期限） 契約締結日から起算して〇ヶ月以内																																																																																																							
・ 設置する ・ 設置しない（別途工事で設置等） ※監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする） 【参考図】 <table><tr><td>野立型（大） H1400×W1100</td><td>野立型（小） H1400×W550</td><td>壁掛型 H750×W900</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> （注）看板のデザインは監督員に確認すること					野立型（大） H1400×W1100	野立型（小） H1400×W550	壁掛型 H750×W900																																																																																																
野立型（大） H1400×W1100	野立型（小） H1400×W550	壁掛型 H750×W900																																																																																																					
2 改訂履歴																																																																																																							
平成14年4月1日 平成15年7月1日 平成15年10月1日 平成16年4月1日 平成17年4月1日 平成17年6月1日 平成18年4月12日 平成18年7月3日 平成19年10月1日 平成20年4月1日 平成21年4月1日 平成21年8月1日 平成22年4月6日 平成23年4月1日 平成24年4月1日 平成25年4月1日 平成26年4月1日 平成27年4月1日 平成28年4月1日 平成29年4月1日 平成29年7月1日 平成30年4月1日 令和2年4月1日 令和3年4月1日 令和3年5月1日 令和4年4月1日 令和5年4月1日 令和6年7月1日 令和6年10月1日 令和7年4月1日 令和7年10月1日 令和7年11月1日																																																																																																							
設 計			工事名	松風台住宅D3ほか3棟解体工事																																																																																																			
輪島市 建設部 まちづくり推進課			図面名	解体工事仕様書 その2	図面番号 A-02																																																																																																		

A 外部仕上表

屋 根		外 壁		外 部 金 物		外 構	
仕 上 材	日本瓦葺き 4.5寸勾配（雪止め付、軒先一文字瓦）	外 壁	押縁下見板張り（地杉 t=15mm）	軒樋・立樋	塩ビ製 軒樋：角型 巾120 立樋：φ60	駐 車 場	外構図による
下地（構造・材）	アスファルトルーフィング940、下地野地板（杉） t 12	付土台・付柱・付梁	地杉 木材保護塗料2回塗り	軒先換気金物	軒先通気部材	犬 走 り	
破風、鼻隠し	地杉 木材保護塗料2回塗り	巾 木	モルタル刷毛引き	水切金物	カラーステンレス t=0.3mm 加工品	植 込	
軒 裏	ケイ酸カルシウム板目透かし張 t 6.0 E P 塗	外 部 通 路	防火サイディング張り t 12 アクリルリシン吹付	基礎換気口	基礎バックシ工法	アプローチ	
			腰壁：ささら子下見板張り（地杉 t=15mm） 木材保護塗料2回塗り			土留め	

B 内部仕上表

階	室 名	天井高	床			巾 木			壁			廻 縁	天 井			造り付家具・備品	カーテン ブラインド					
			仕 上	記号	厚	仕 上	H	厚	仕 上	記号	厚		仕 上	記号	厚							
			下 地	記号	厚				下 地	記号	厚			下 地	記号			厚				
1	ポーチ		モルタル刷毛引き コンクリート打ち			30	モルタル刷引き			20	押縁下見板張り（地杉 t=15mm） 防湿シート張り			15	木製 木材保護塗料	ケイ酸カルシウム板目透かし張 E P 塗			6	室名板：上下二段 アルミ製（A－3型） 消火器BOX：屋外壁掛タイプ（ユニオンUFB-3F-420 同等品）		
	外部物置		モルタル金ゴテ押え コンクリート打ち			30 120	モルタル金ゴテ押え			20	合板（1類）張り			5.5	木製	合板（1類）張り			4 9.5			
	玄 関	2.580	磁器質100角タイル貼り モルタル塗	複合合板床（カバ）張り 合板（1類）捨張り			30 20	12 12	磁器質100角 タイル貼り	100	9	ビニールクロス貼 石膏ボード				木製	化粧石膏ボード			9.5	上り框：ツキ板合板塗装品 郵便箱：ステンレスHL仕上 W390×D300×H390 新聞受：ステンレスHL仕上（キョーワナスタ KS-NP4605 同等品）	
	ホール	2.400	複合合板床（カバ）張り 合板（1類）捨張り			12 12	杉 C L 塗		60			ビニールクロス貼 石膏ボード			12.5	木製	化粧石膏ボード			9.5	コート掛け：木製 フック3ヶ所 700×100 手摺：木製35φ 1型 L=900 玄関収納：840×400×2.330（ﾀﾞｲﾔﾓ FM202S01 同等品）	
	廊下収納	2.400	合板（1類）張り 合板（1類）捨張り			12 12	雑巾ズリ					合板（1類）張り			9.5	木製	合板（1類）張り			4 9.5	棚板：ポリ合板フラッシュ ハンガーパイプ：ステンレスパイプφ25 HL仕上	
	居間・食堂	2.400	複合合板床（カバ）張り 合板（1類）捨張り			12 12	杉 C L 塗		60			ビニールクロス貼 石膏ボード			12.5	塩ビ製（ｼﾞｬ目地）	ビニールクロス貼 石膏ボード			9.5	FF用スリーブ エアコン用スリーブ カーテンレール（W型）	
	台所	2.400	複合合板床（カバ）張り 合板（1類）捨張り			12 12	杉 C L 塗		60			ビニールクロス貼 石膏ボード	キッチンパネル張り（不燃） 石膏ボード	6.0 12.5	塩ビ製（ｼﾞｬ目地）	ビニールクロス貼 石膏ボード			9.5			
	和室（8帖）	2.400	スタイロタタミ敷き 合板（1類）捨張り			55 12	タタミ寄せ					ビニールクロス貼 石膏ボード		12.5	木製	杉中圭合板目透し張り 巾450			9.5	エアコン用スリーブ		
	和室押入	2.400	合板（1類）張り 合板（1類）捨張り			12 12	雑巾ズリ					合板（1類）張り		9.5	木製	合板（1類）張り			4			
	便 所	2.350	ビニール床シート貼り 合板（1類）捨張り			2 12	杉 C L 塗		60			ビニールクロス貼 耐水石膏ボード		12.5	塩ビ製（ｼﾞｬ目地）	化粧石膏ボード			9.5	棚板：ポリ合板フラッシュ		
	洗 面	2.350	ビニール床シート貼り 合板（1類）捨張り			2 12	杉 C L 塗		60			ビニールクロス貼 耐水石膏ボード		12.5	塩ビ製（ｼﾞｬ目地）	化粧石膏ボード			9.5	床下点検口 600×600		
	浴 室		ユニットバス（13－17）高齢者対応型 【参考図参照】																			
	サンルーム	2.400	ビニール床シート貼り 合板（1類）捨張り			2 12	杉 C L 塗		60			ビニールクロス貼 耐水石膏ボード		12.5	塩ビ製（ｼﾞｬ目地）	化粧石膏ボード			9.5	物干金物（自在型） H-530 換気レジスター：内部 角型ﾌﾞﾗｯｼｭｽﾚｰﾀｰ（ｷｮｰﾜﾅｽﾀ KS-6040P1-SG） 外部 自然換気用ﾌｰﾄﾞ（ｷｮｰﾜﾅｽﾀ KS-81S）		
2	廊 下	2.400	複合合板床（カバ）張り 合板（1類）捨張り			12 12	杉 C L 塗		60			ビニールクロス貼 石膏ボード		12.5	塩ビ製（ｼﾞｬ目地）	化粧石膏ボード			9.5			
	洋室1・2	2.400	複合合板床（カバ）張り 合板（1類）捨張り			12 12	杉 C L 塗		60			ビニールクロス貼 石膏ボード		12.5	塩ビ製（ｼﾞｬ目地）	化粧石膏ボード			9.5	カーテンレール（W型）		
	押入・収納	2.400	合板（1類）張り 合板（1類）捨張り			12 12	雑巾ズリ					合板（1類）張り		5.5	塩ビ製（ｼﾞｬ目地）	合板（1類）張り			4	棚板：ポリ合板フラッシュ ハンガーパイプ：ステンレスパイプφ25 HL仕上		
共通	階 段		ツキ板塗装品（段鼻滑り止め加工）			30	ツキ板塗装品				ビニールクロス貼 石膏ボード			12.5	塩ビ製（ｼﾞｬ目地）	ビニールクロス貼 石膏ボード			9.5	手摺（木製φ35、取付高さ段鼻よりH=800）		

■ 材 料

P．B－プラスターボード
L G S－軽量形鋼
S U S－ステンレス
A L－アルミ
F B－フラットパー
C－コンクリート
A L C－軽量気泡コンクリート
C B－コンクリートブロック

■ 塗 料

S O P－合成樹脂調合ペイント
E P－合成樹脂エマルジョンペイント
V P－塩化ビニルペイント
O S－オイルステイン
O S W－オイルステインワックス
C L－クリアーラッカー
A E P－アクリルエナメルペイント
B A E－焼付アクリル樹脂エナメル塗り
グラスウール保温板

■ 内装材認定番号

○ 石膏ボード（t=12.5 t=15.0）
○ 石膏ボード（t=9.5）
○ 化粧石膏ボード（t=12.5 t=15.0）
○ 化粧石膏ボード（t=9.5）
○ 岩綿吸音板（t=9.0以上）
○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板
○ 木毛セメント板

不 燃 第1003号
準不燃 第2015号
不 燃 第1007号
準不燃 第2016号
不 燃 第1021号
不 燃 第1061号
準不燃 第2031号
不 燃 第1031号

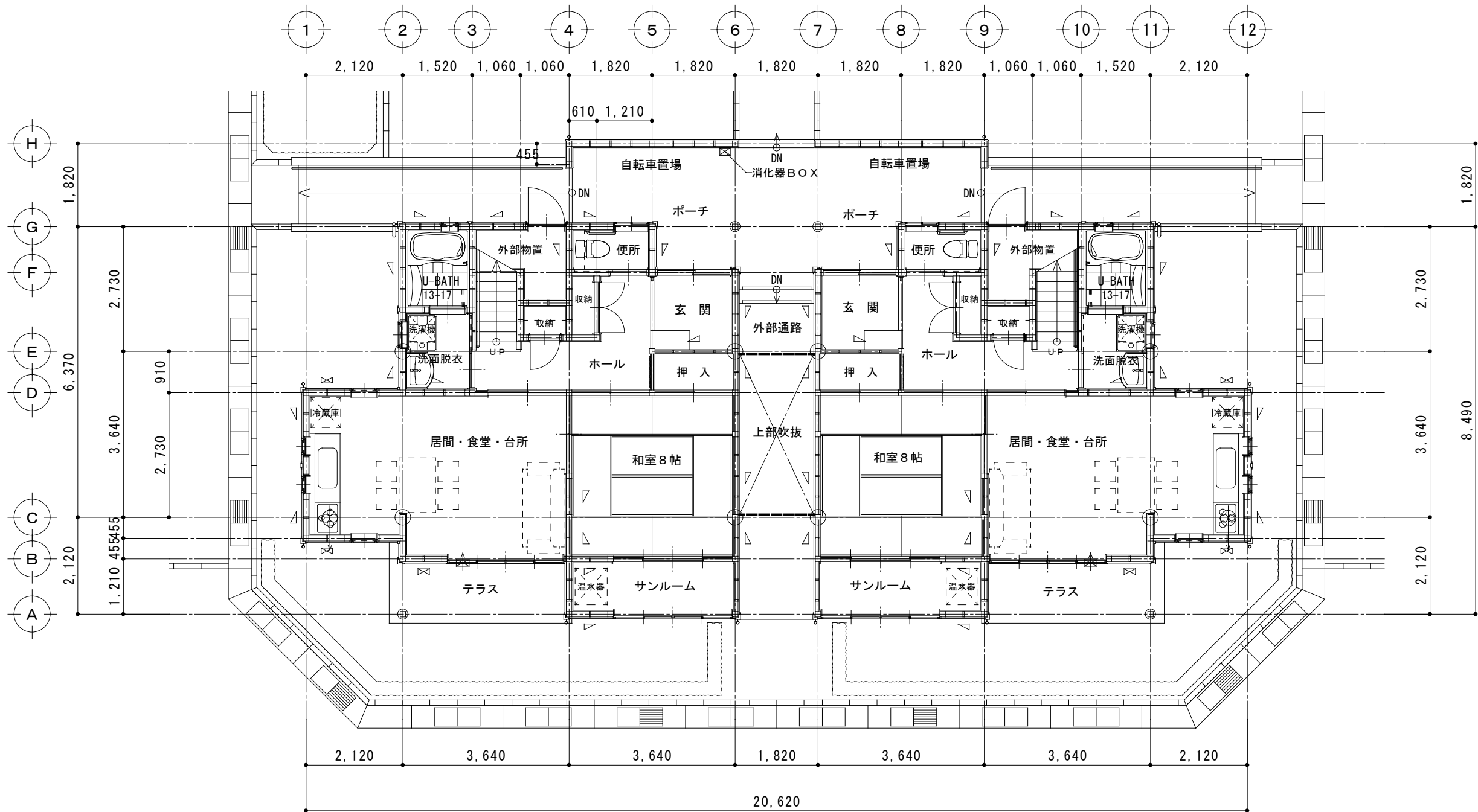
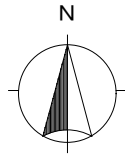
○ 吹付岩綿（t=10以上）
○ 無機質壁紙（防火1級検定品）
○ ビニルクロス（防火2級検定品）

不 燃 第1023号
不 燃 第1103号
準不燃 第2104号

■ 仕様共通事項（特記なき限り）

・ビニールクロスはA A級品とする。

備考	<div></div> <div>株 式 会 社 高 出 建 築 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美</div>	設計番号			設計年月日 2026. 1.	工事名称 松風台住宅 D 3 ほか 3 棟 解体工事	図番 A－04
		所長	担当	製図	縮尺	図面名称 仕 上 表 D-3, 4棟	



1 階 平 面 図 1/100

備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長 担当 製図

設計年月日

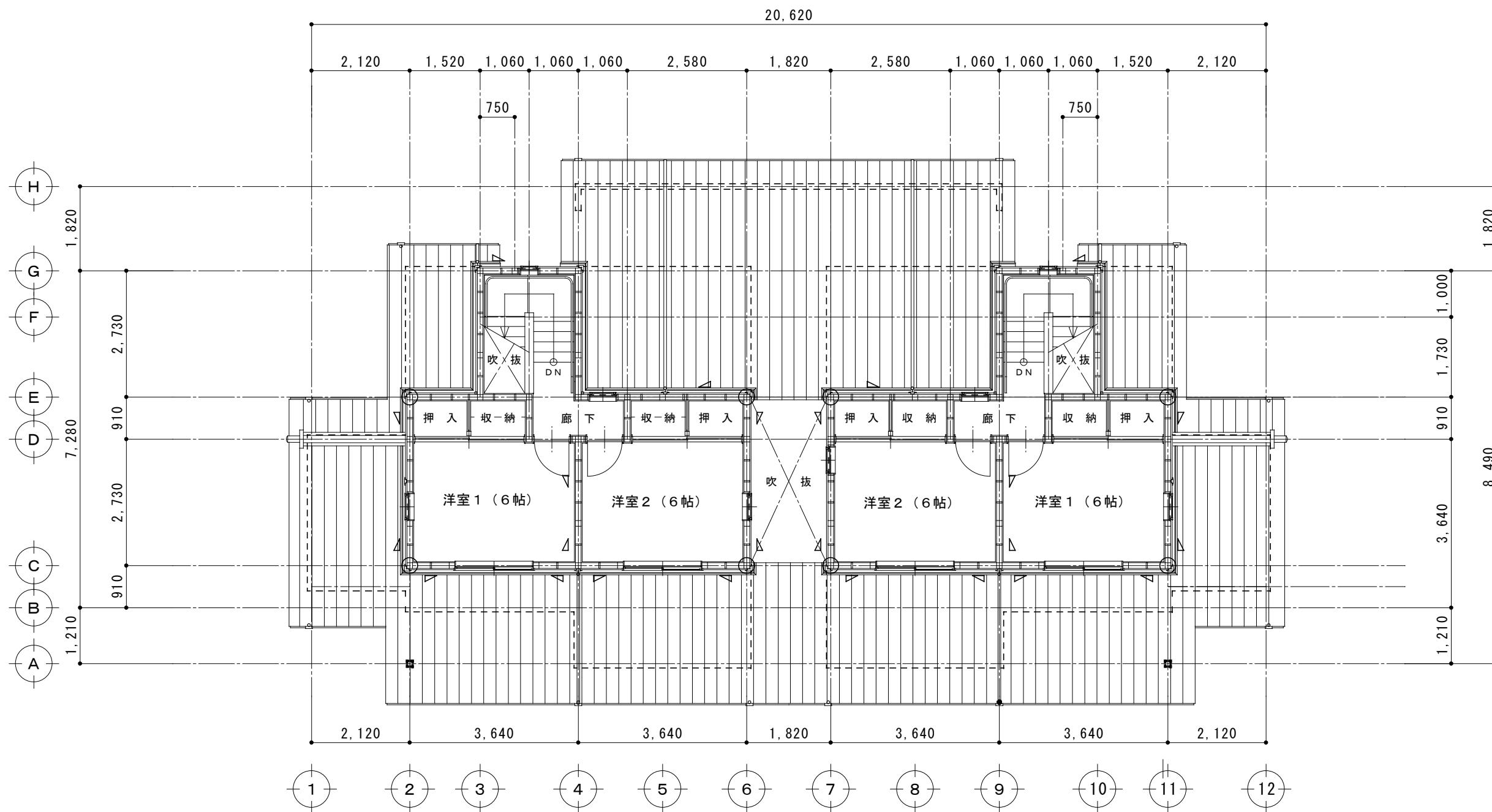
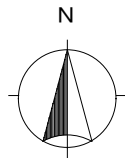
2026. 1.
縮尺 1/100

工事名称

松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事
図面名称 1階平面図 D-3,4棟

図番

A-05



2 階 平 面 図 1/100

備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長 担当 製図

設計年月日

2026. 1.

縮尺

1/100

工事名称

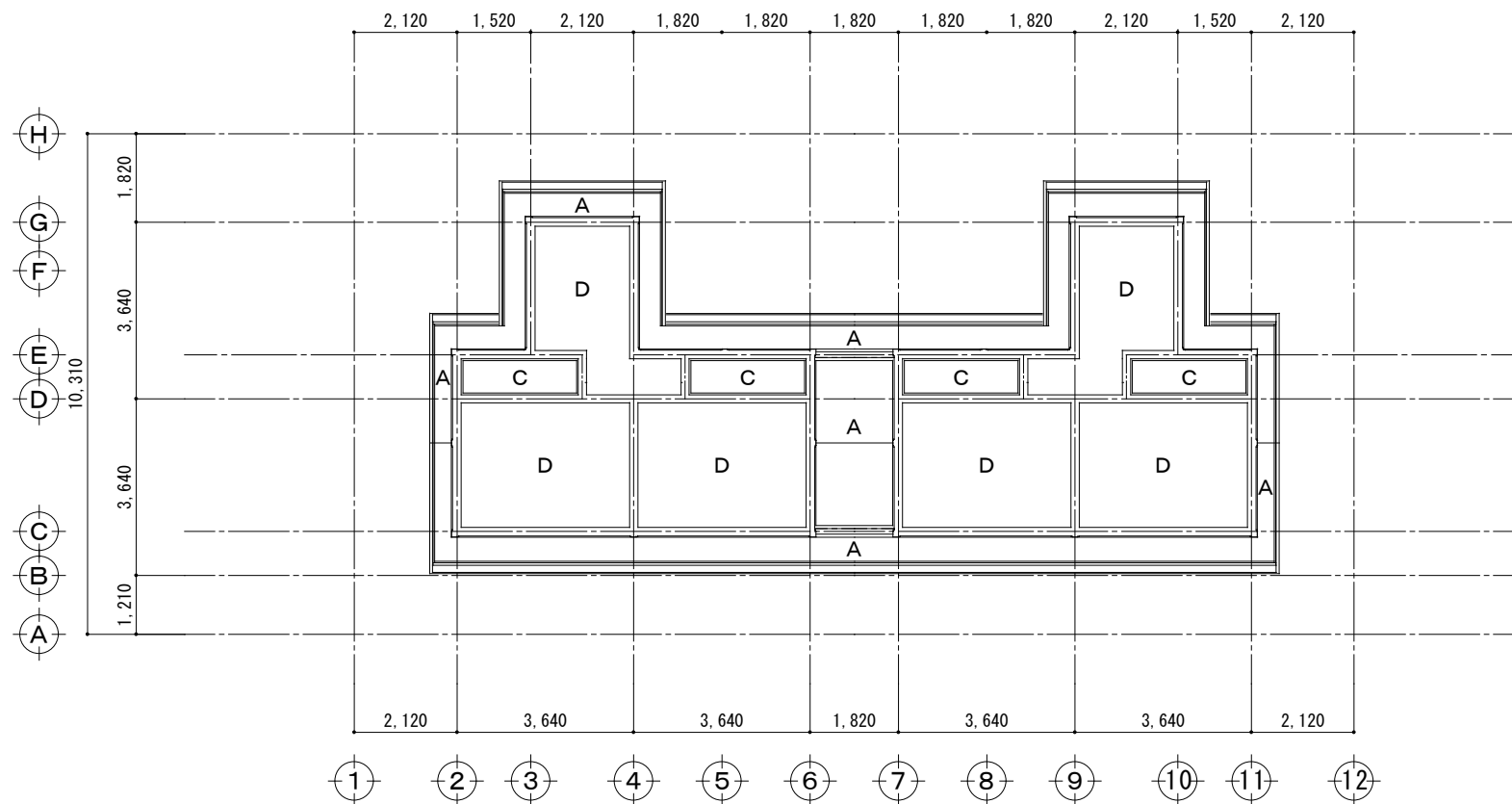
松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

図面名称

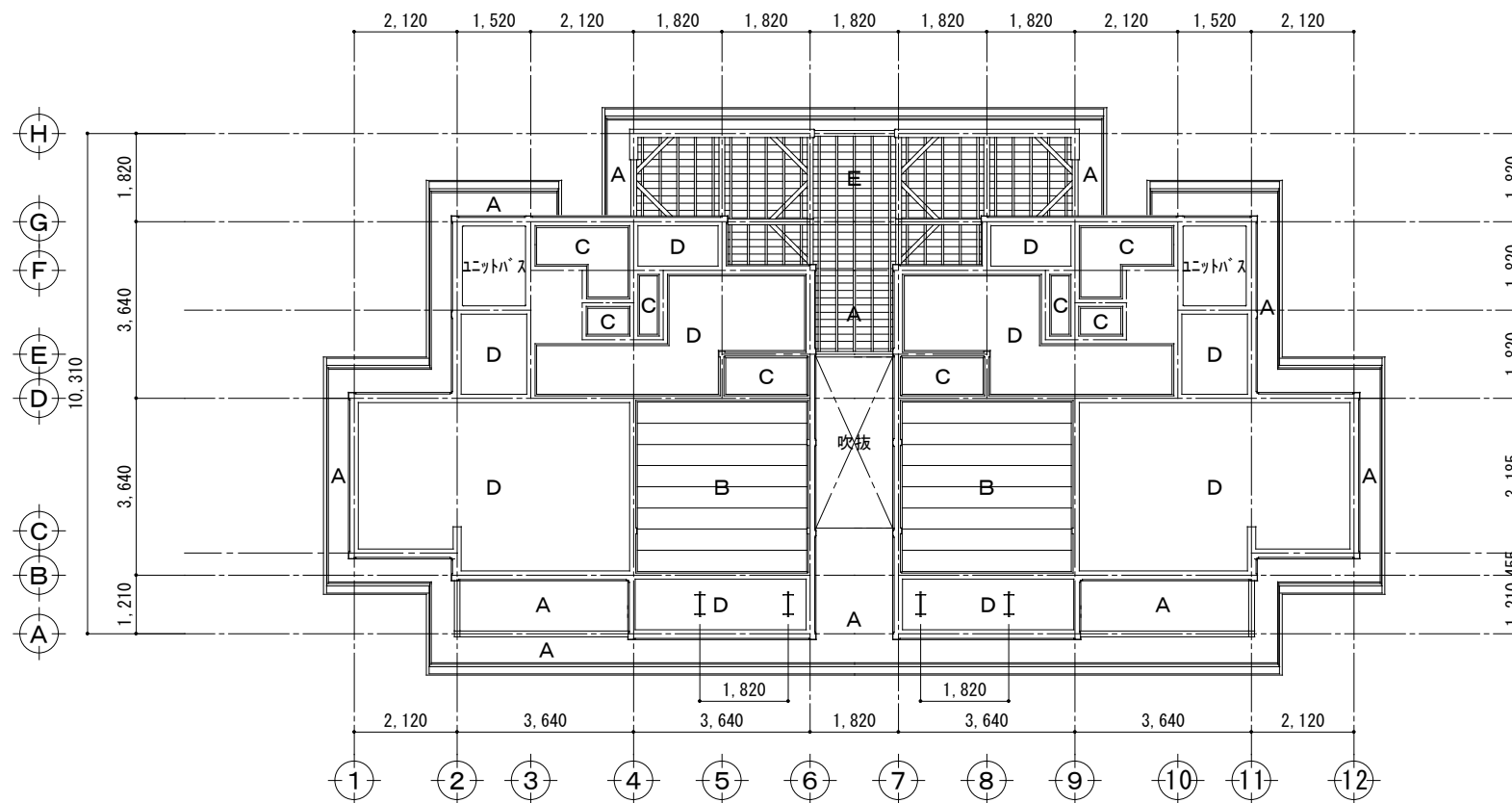
2 階 平 面 図 D-3, 4棟

図番

A-06

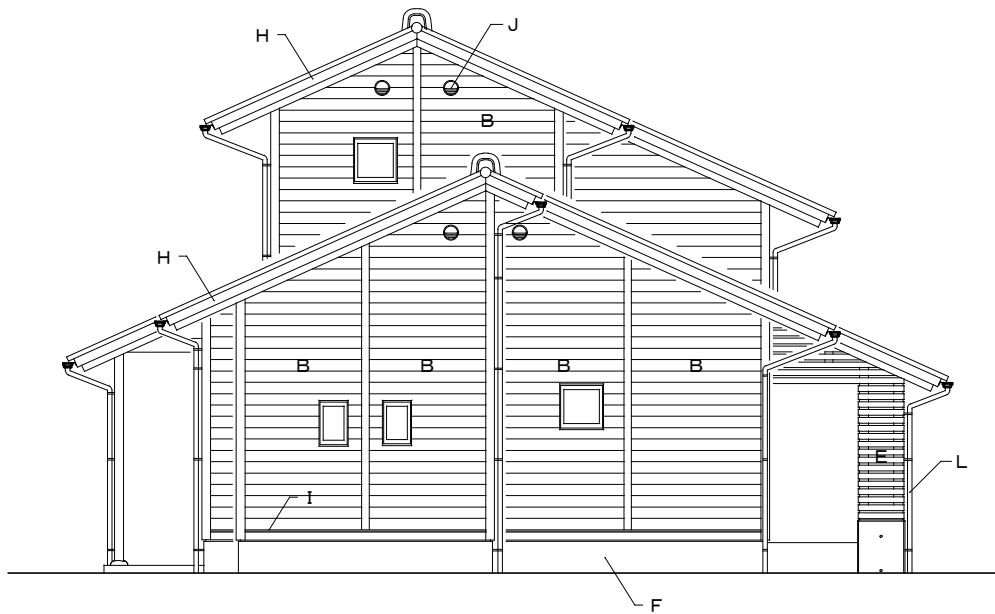


2階天井伏図

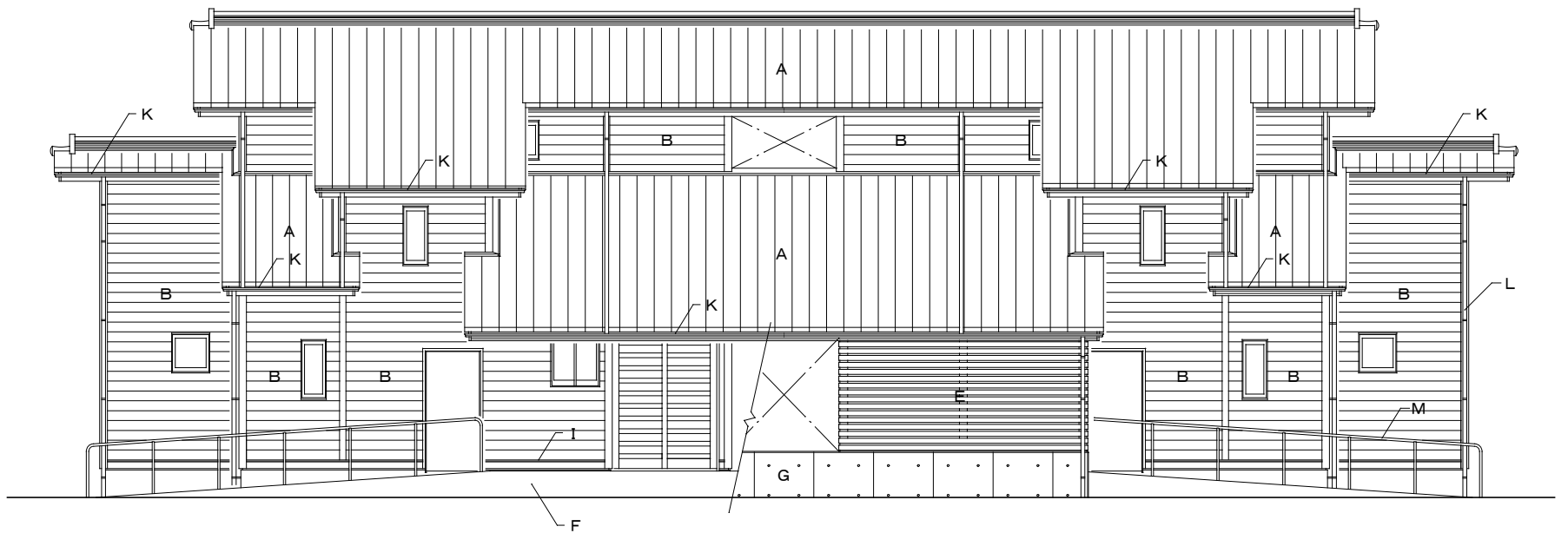


1階天井伏図

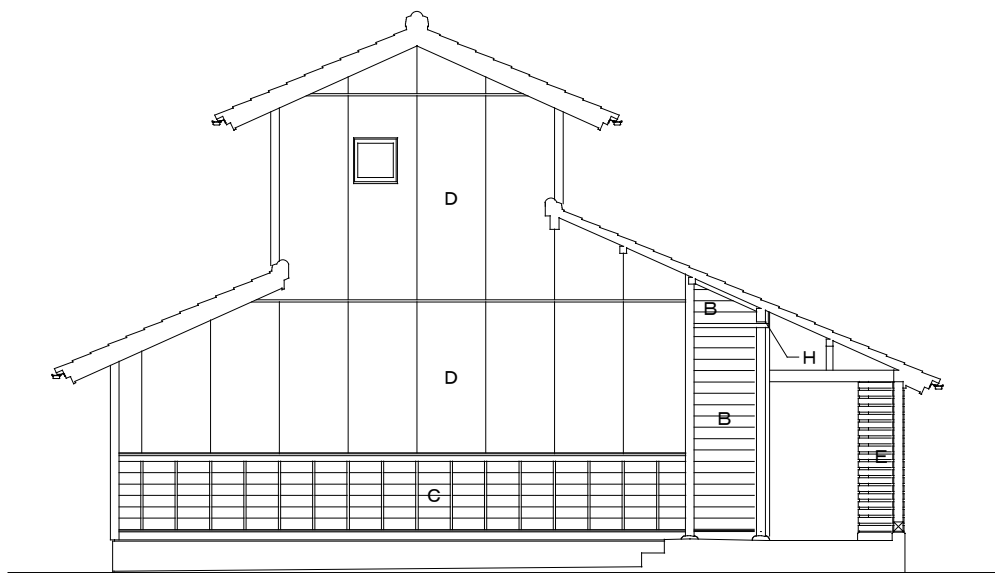
凡 例	
A	ケイ酸カルシウム板目透かし張り EP塗
B	杉中桟合板目透し張り 巾450
C	合板張り t=4.0
D	化粧石膏ボード張り t9.5
E	小屋組表わし 木材保護塗料2回塗り ※小屋組表わし部はカンナ掛とする。
↑	物干金物（自在型） H-530



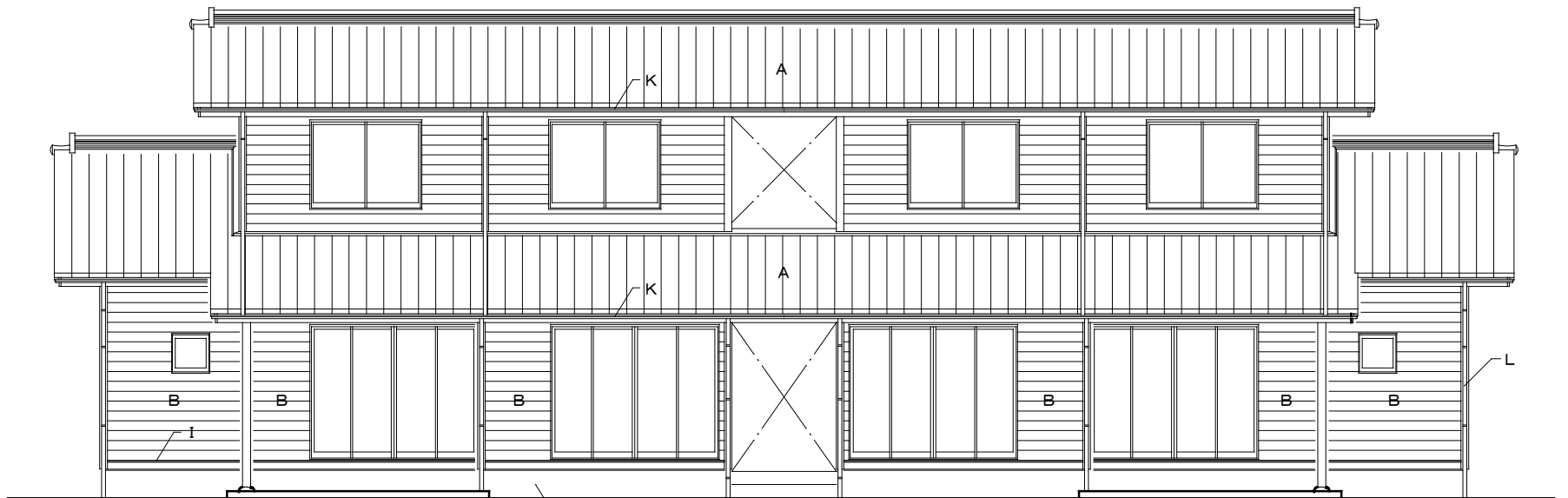
立面図（東） 1/100



立面図（北） 1/100




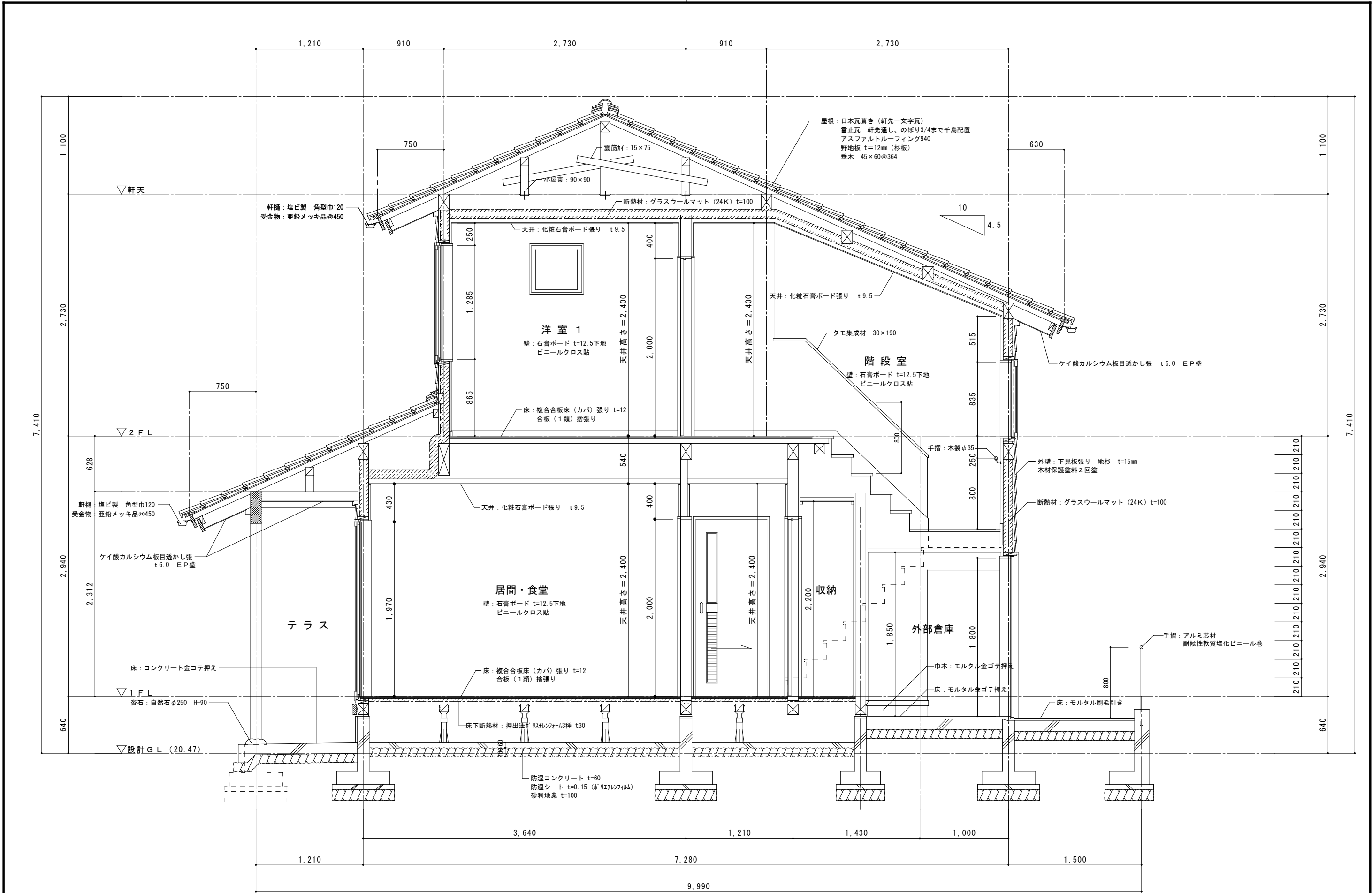
断面図(外部通路) 1/100




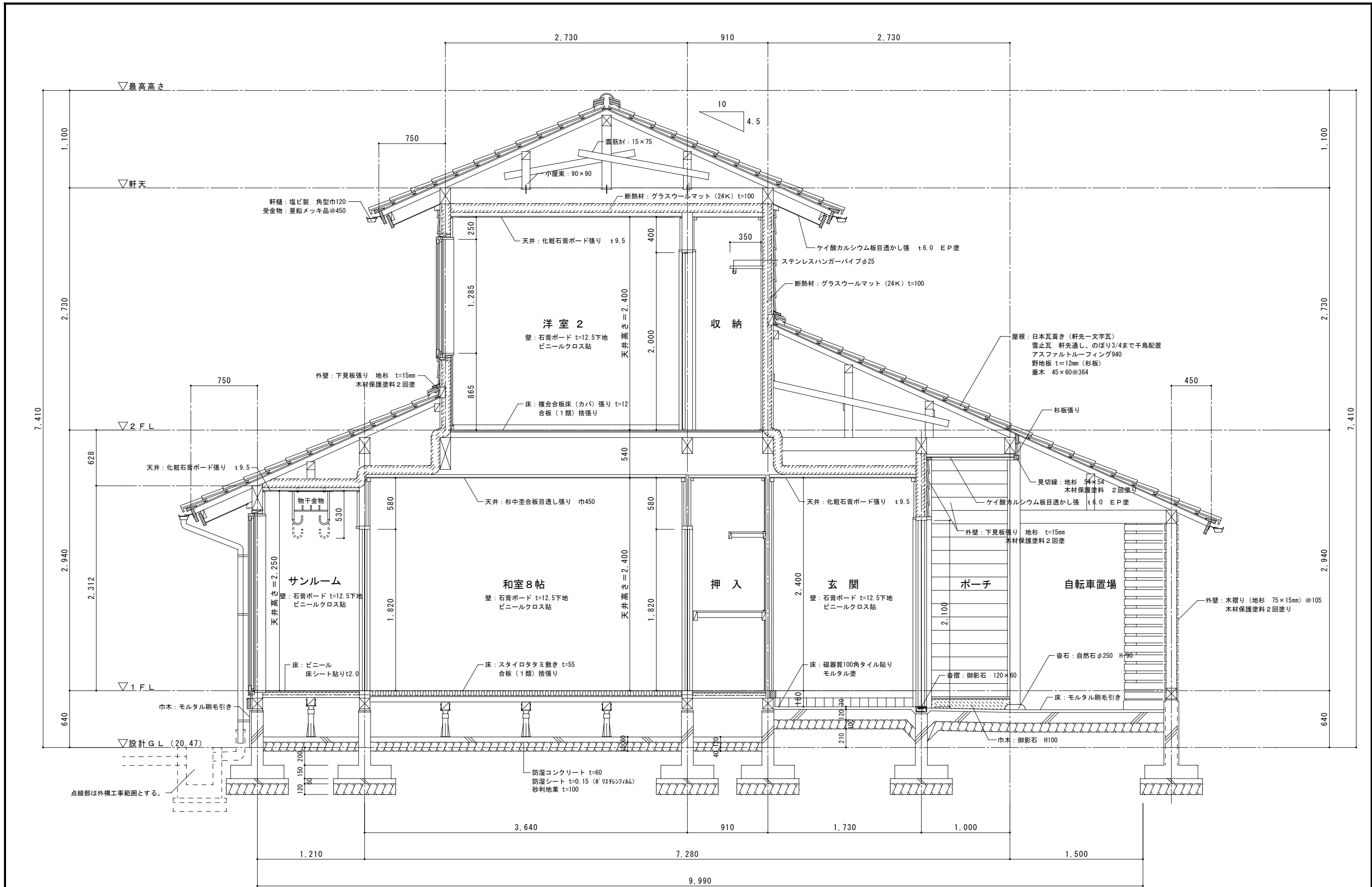
立面図（南） 1/100


凡 例			
A	屋根：日本瓦葺き（軒先一字瓦）のし瓦5段積み、雪止瓦 軒先通し、のぼり3/4まで千鳥配置	H	木部（付土台、定規柱、付柱、破風、鼻カクシ、見切縁等）：地杉 木材保護塗料2回塗り
B	外壁：下見板張り（地杉 t=15mm） 木材保護塗料2回塗り	I	水切：カラスステンレス t=0.3mm 加工品
C	外壁：ささら子下見板張り（地杉 t=15mm） 木材保護塗料2回塗り	J	小屋裏換気金物：ステンレスフード付丸型ガラリ（防虫網付）φ150
D	外壁：防火サイディング張り t12 アクリルリシン吹付	K	軒樋：塩ビ製 角型巾120、受金物：ステンレス製φ450（市販品）
E	外壁：木摺り（ピーラー材 75×25mm@105） 木材保護塗料2回塗り	L	立樋：塩ビ製 φ60、掴金物：ステンレス製φ1,200（市販品）
F	巾木：モルタル刷毛引き	M	手摺：アルミ芯材 耐候性軟質塩化ビニール巻
G	巾木：コンクリート打放し	※	外壁下見板に使用する釘はステンレススクリュー釘（焼き入れ）とする。

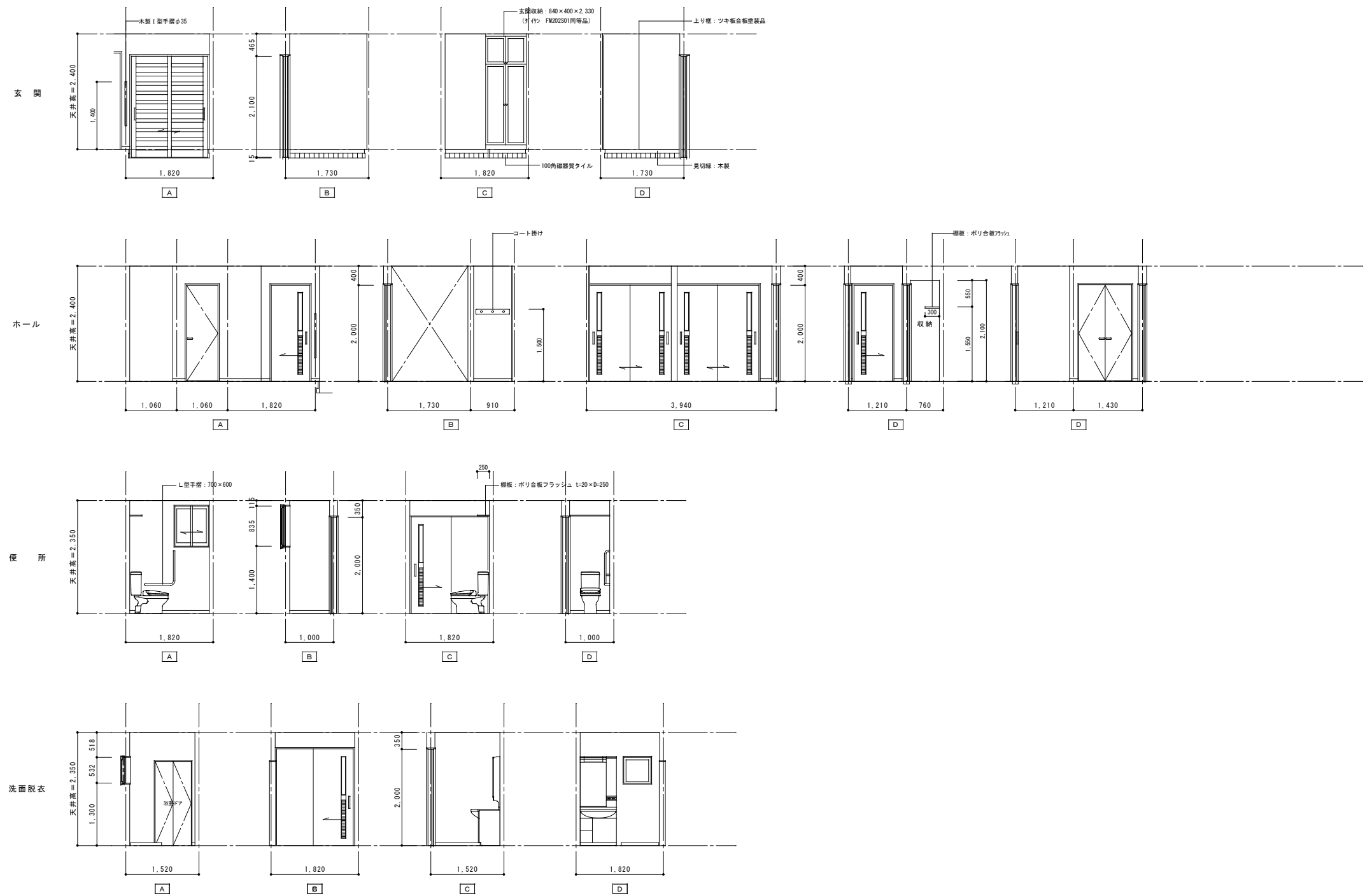
備考	 株式会社 高 出 建 築 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美			設計番号	設計年月日 2026. 1.	工事名称 松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	図番 A-08
				所長 担当 製図	縮尺 1/100	図面名称 立面図 D-3,4棟	



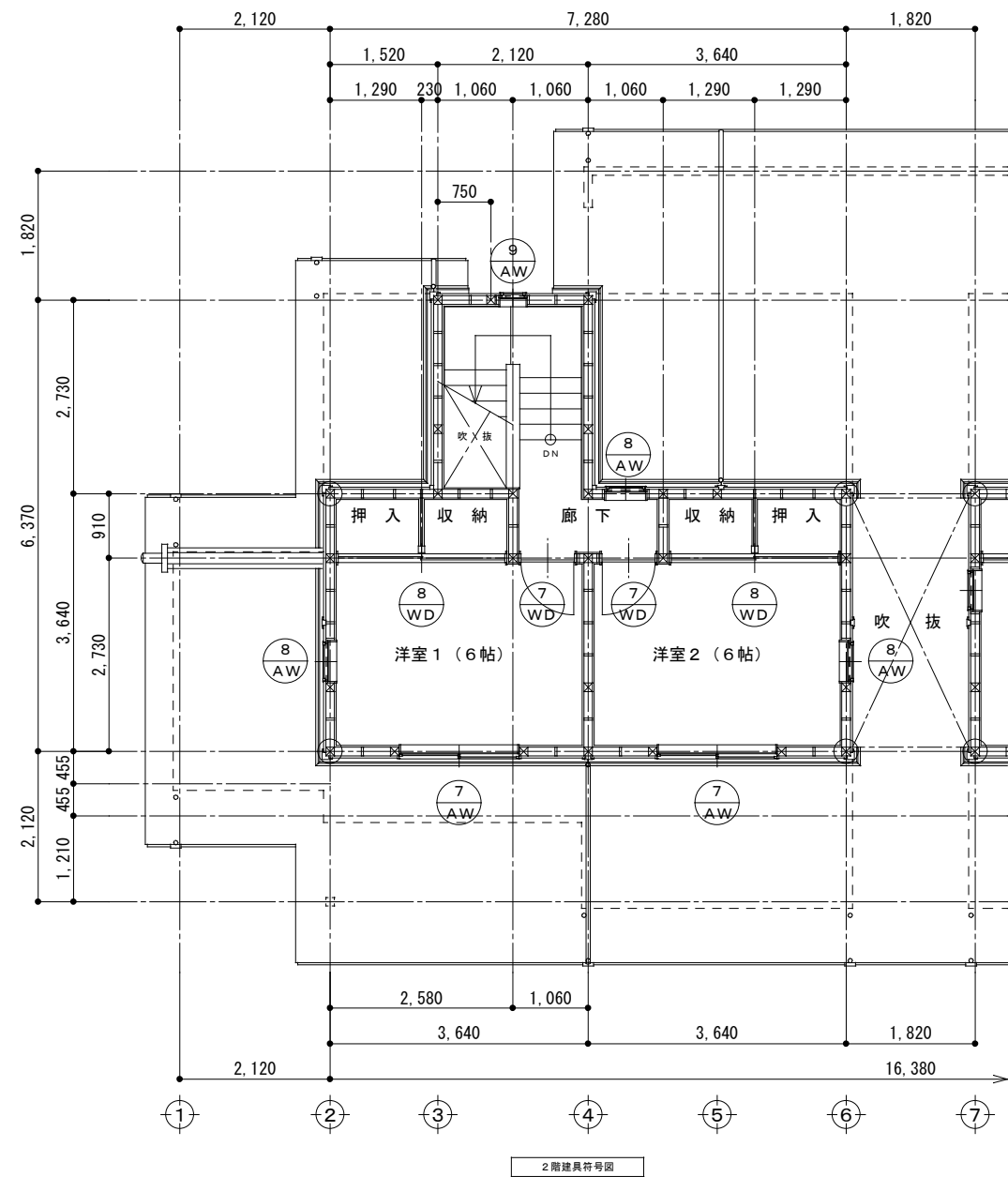
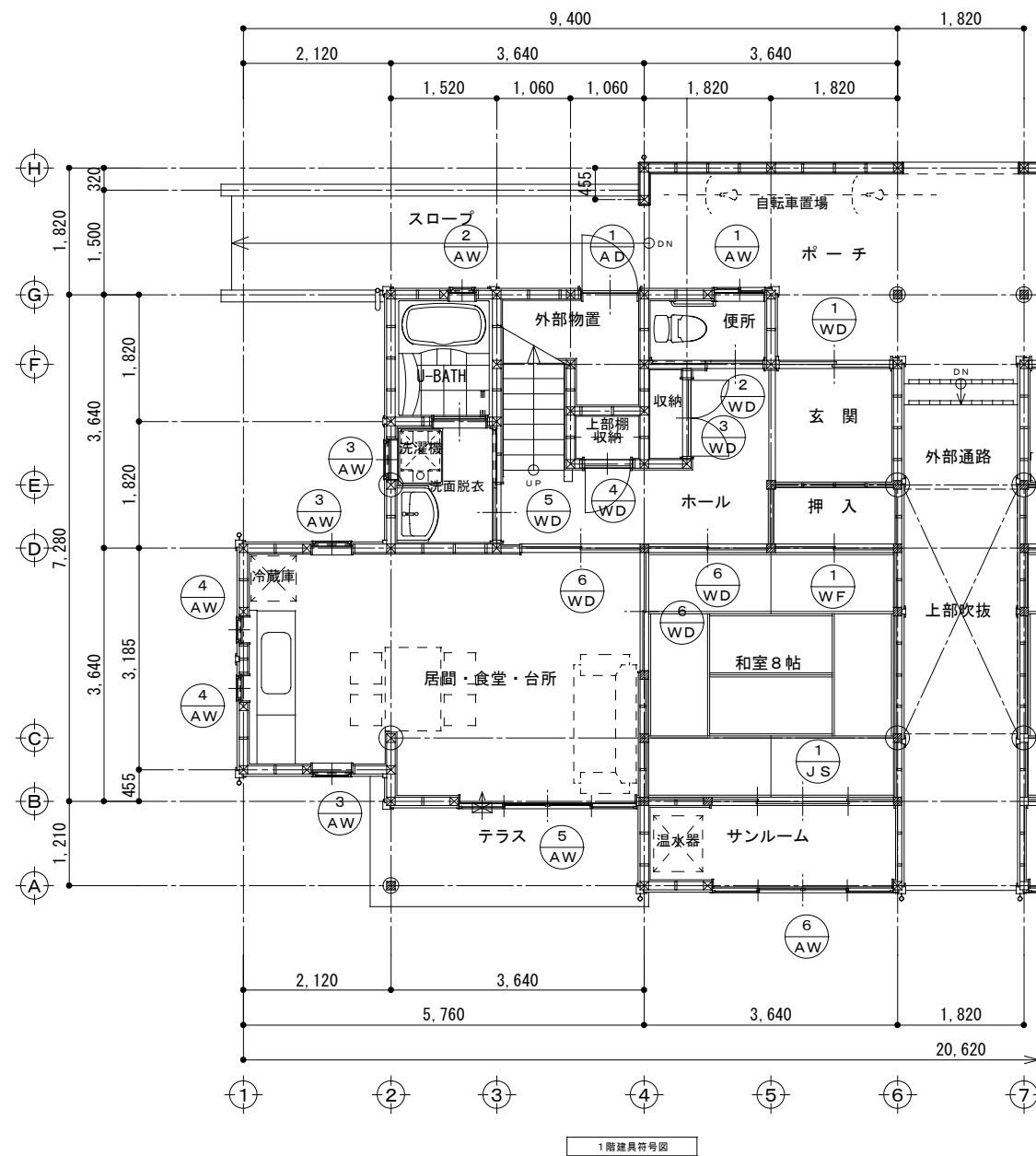
備考	<div><div>株 式 会 社 高 出 建 築 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美</div></div>	設計番号		設計年月日	工事名称	図番
				2026. 1.	松風台住宅 D 3 ほか 3 棟 解体工事	
		所長	担当	製図	縮尺	
				1/40	矩 計 図 1 D-3, 4棟	A - 09

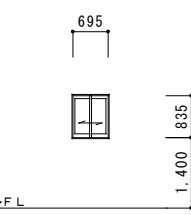
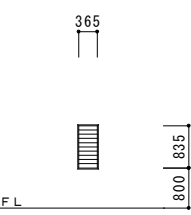
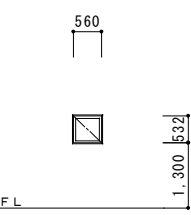
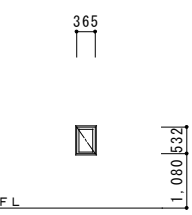
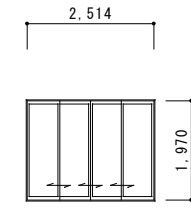
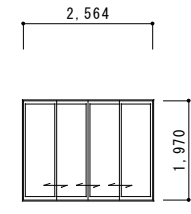
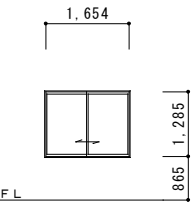
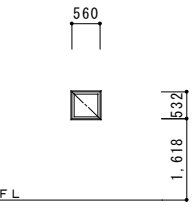
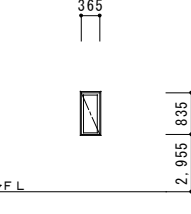
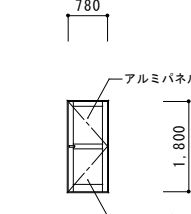
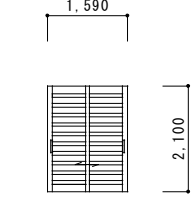
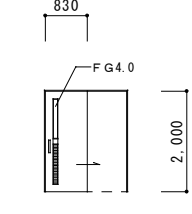
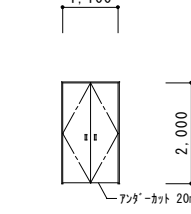
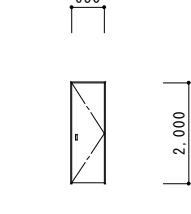
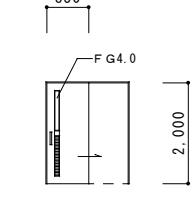
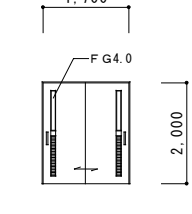
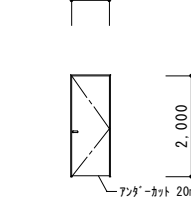
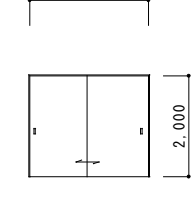
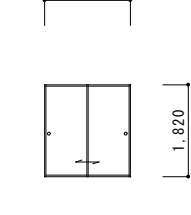
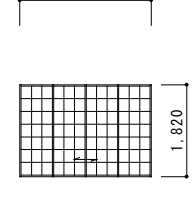


備考	<div><div>株式会社 高出建築設計事務所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美</div></div>	設計番号			設計年月日	工事名称	図番
					2026. 1.	松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	
		所長	担当	製図	縮尺	図面名称	
					1/40	矩 計 図 2 D-3,4棟	A-10







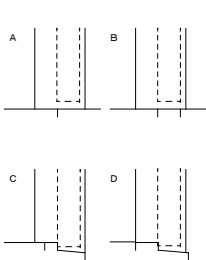
建具一覧表				※サッシ寸法は、木枠の内法寸法とする。			
<div>1 AW</div> <div></div>	<div>2 AW</div> <div></div>	<div>3 AW</div> <div></div>	<div>4 AW</div> <div></div>				
<div>5 AW</div> <div></div>	<div>6 AW</div> <div></div>	<div>7 AW</div> <div></div>	<div>8 AW</div> <div></div>				
<div>9 AW</div> <div></div>	<div>1 AD</div> <div></div>	<div>1 WD</div> <div></div>	<div>2 WD</div> <div></div>				
<div>3 WD</div> <div></div>	<div>4 WD</div> <div></div>	<div>5 WD</div> <div></div>	<div>6 WD</div> <div></div>				
<div>7 WD</div> <div></div>	<div>8 WD</div> <div></div>	<div>1 WF</div> <div></div>	<div>1 JS</div> <div></div>				

階	符号	取付場所	箇所	建具寸法		わく寸法		開閉関係	建具		わく	ガラス	ガラリ	くつずりの型式		握り玉 として	支持金物・その他														特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				W	H	見込	見付		材 仕 上	質 上				種 厚	材 質 法		型 式	材 質	締 り	型 式	T 番	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め		ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス 留め	ビス

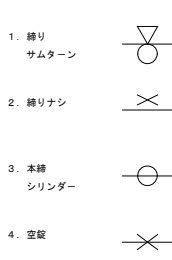
■ 略 号

SD スチールドア	SG 透明ガラス
AD アルミドア	FG 型板ガラス
AW アルミサッシ	TG 強化ガラス
WD 木製ドア	PG 複層ガラス
WS 木製障子	PWG 遮熱入りガラス
WF フスマ戸	FWG 網入り型ガラス
SW スチールサッシ	HG 熱線吸収ガラス
SS スチールシャッター	PSG みがきガラス
GD ガラスドア	PPG バララインガラス
PSS バイブシャッター	AG アクリライト板
GW 防炎戸（戸袋） ヒューズ運動	

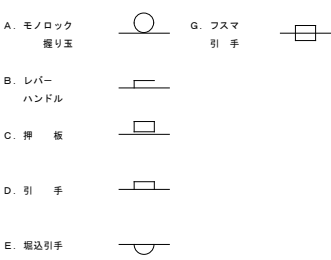
■ くつずりの型式



■ 締りの記号



■ 握り玉、としての型式



備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長

担当

製図

設計年月日

2026. 1.

縮尺

NTS

工事名称

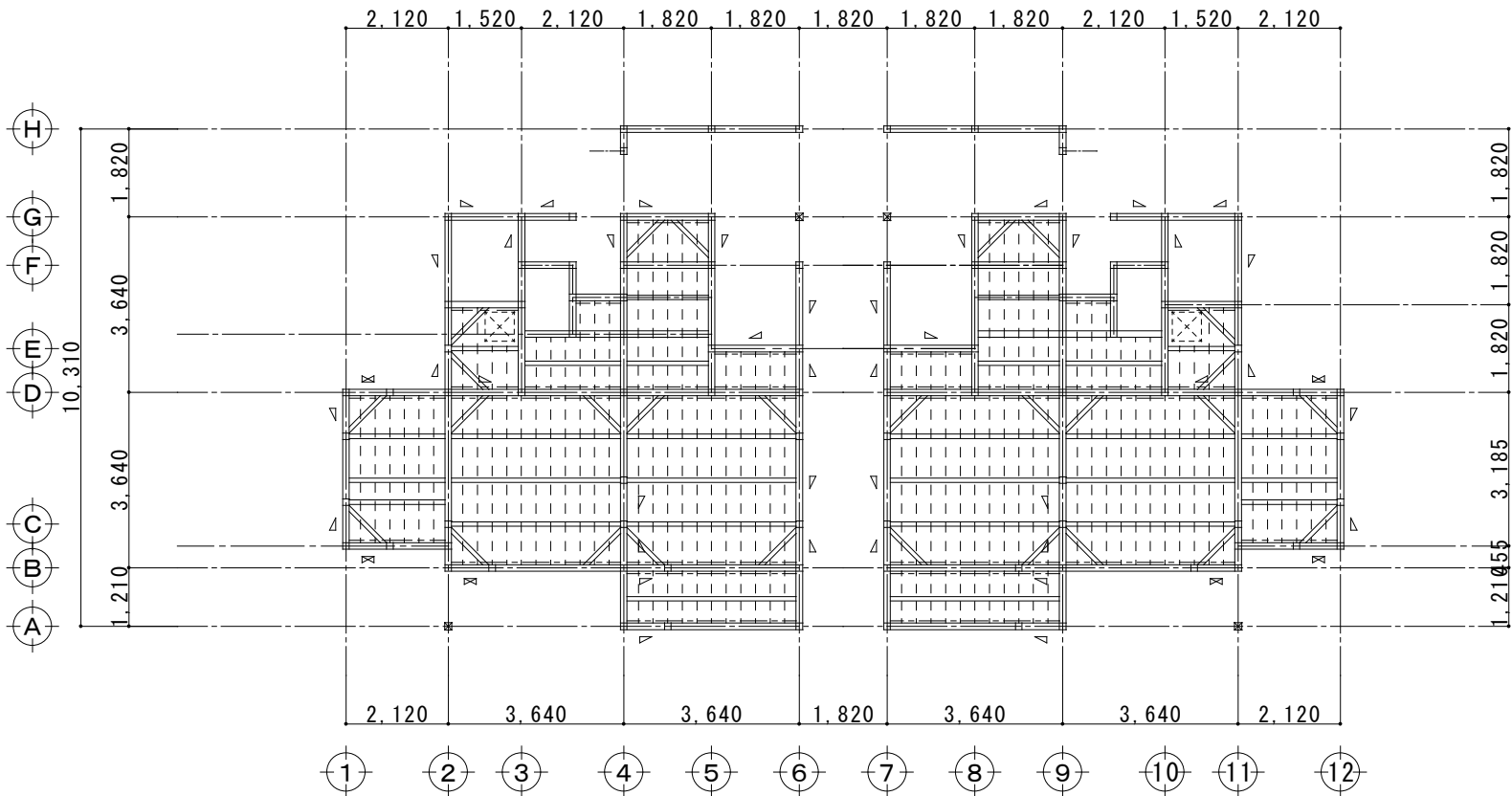
松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

図面名称

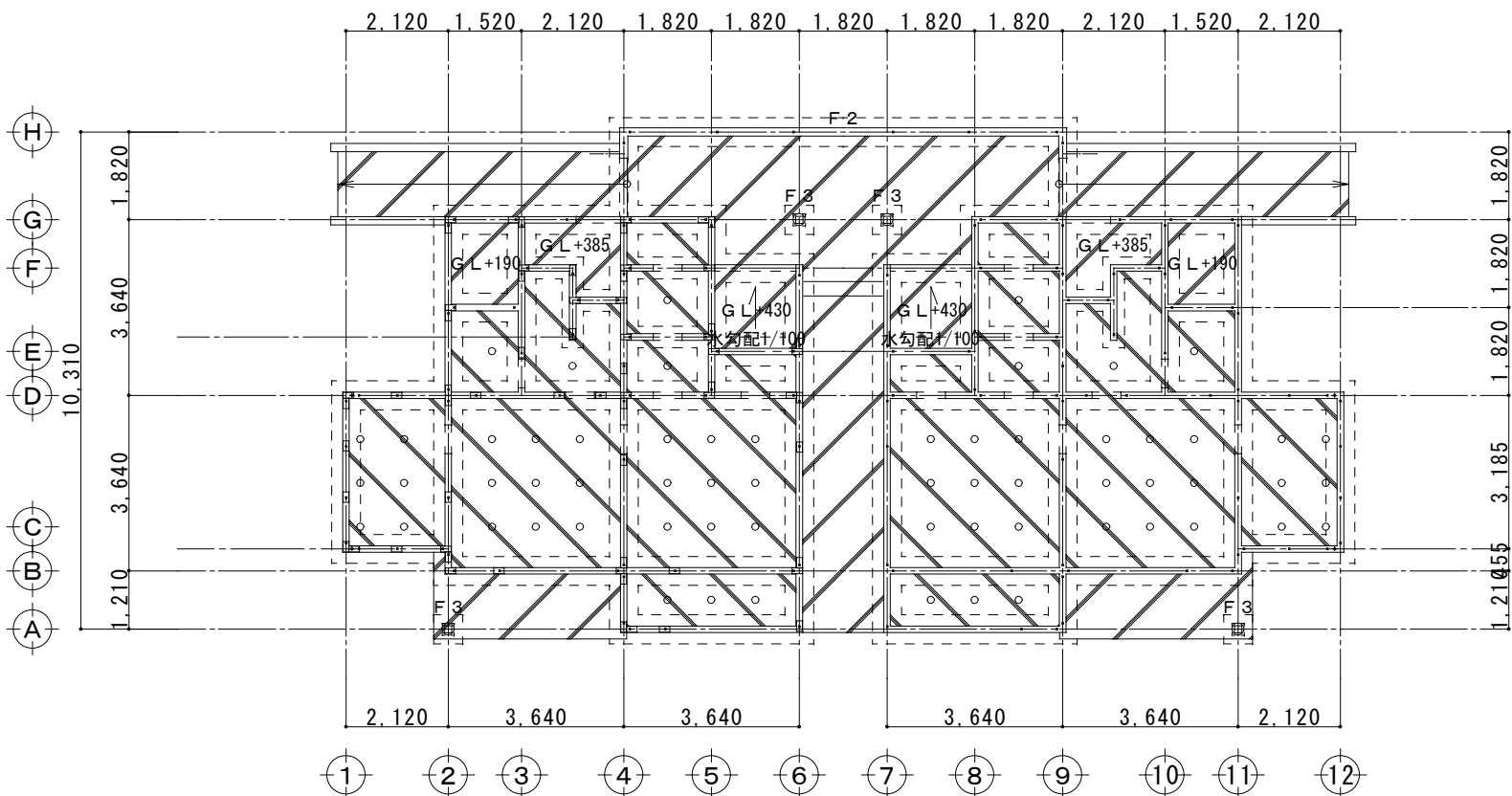
建 具 リ ス ト 図 D-3,4棟

図番

A-14



床組伏図

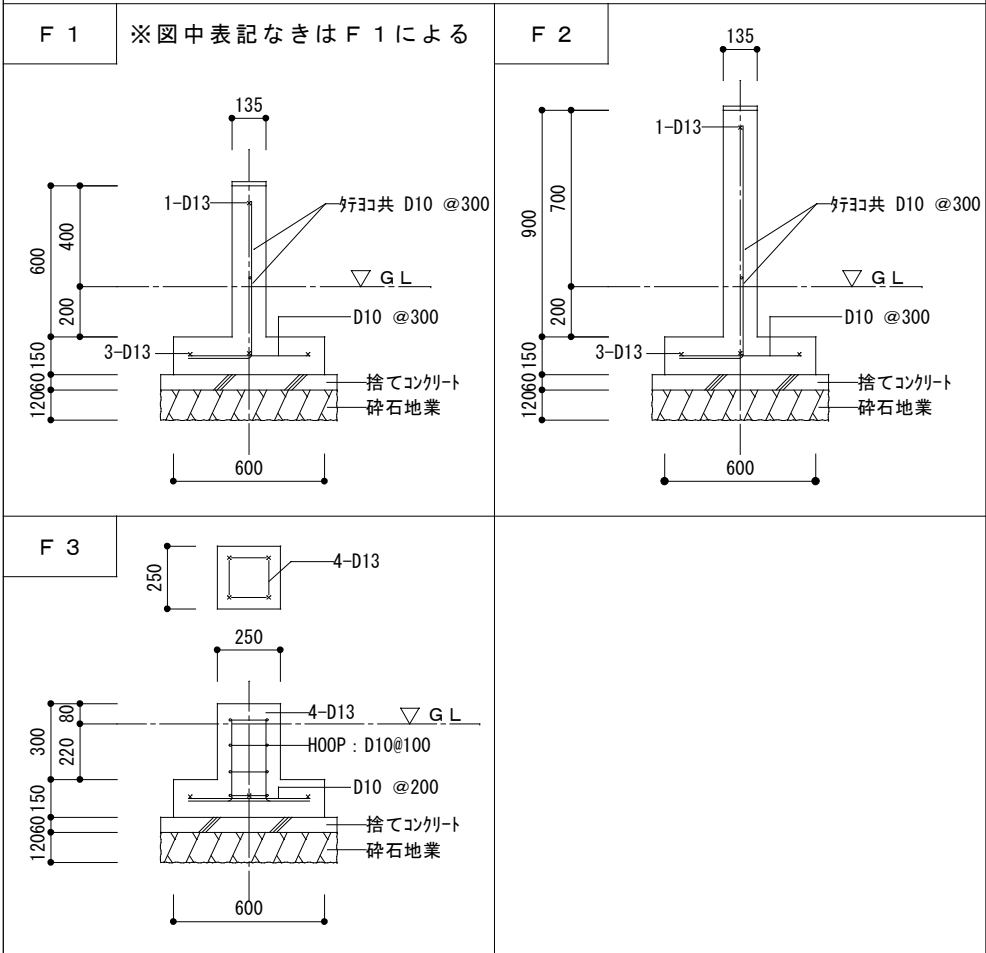


基礎伏図

凡 例	
【基礎伏図凡例】	
	床下換気孔 基礎パッキン工法
コ	床下開口 W600×H400
○	束立て 樹脂製
	土間コンクリートt120 鉄筋D10 びりコ@250 砂利t100
	床下コンクリートt60 砂利t100
▪	アンカーボルト L-400 (M-12) (座金t-4以上) 垂鉛メッキ品
+	引き寄せ金物用アンカーボルト (M-16)

【床組伏図凡例】	
□	柱 120×120 地杉 (芯持材)
≡	土台 120×120 能登ヒバ
⊠	独立柱 150×150 能登ヒバ、沓摺 御影石
	火打土台 90×45 能登ヒバ
≡	大引 105×105@910、根太 45×60@303 地杉
- - -	根太受け 45×60、根太 45×60@303 地杉
△	筋違 45×90 筋違プレート (壁倍率2倍用) 併用

基礎詳細図 1-30

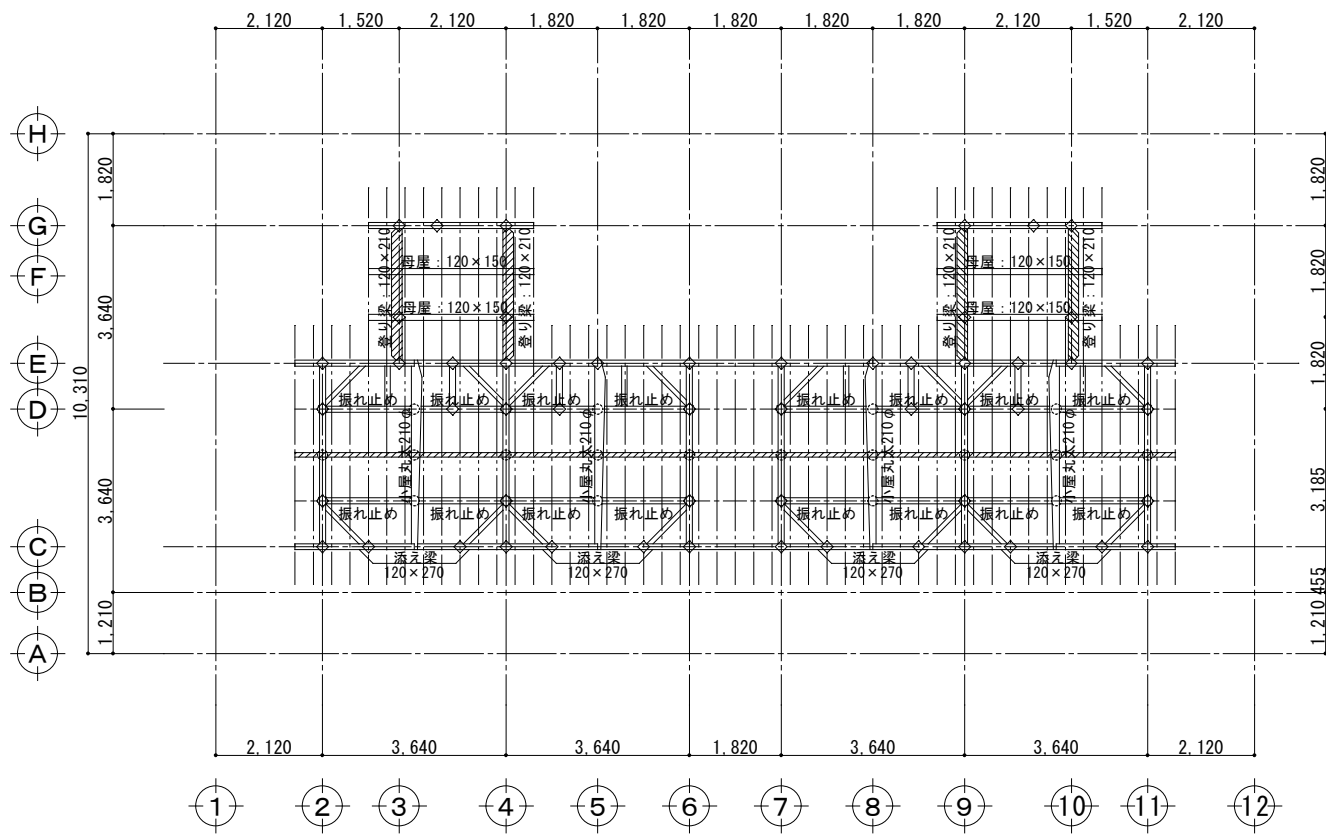


備考

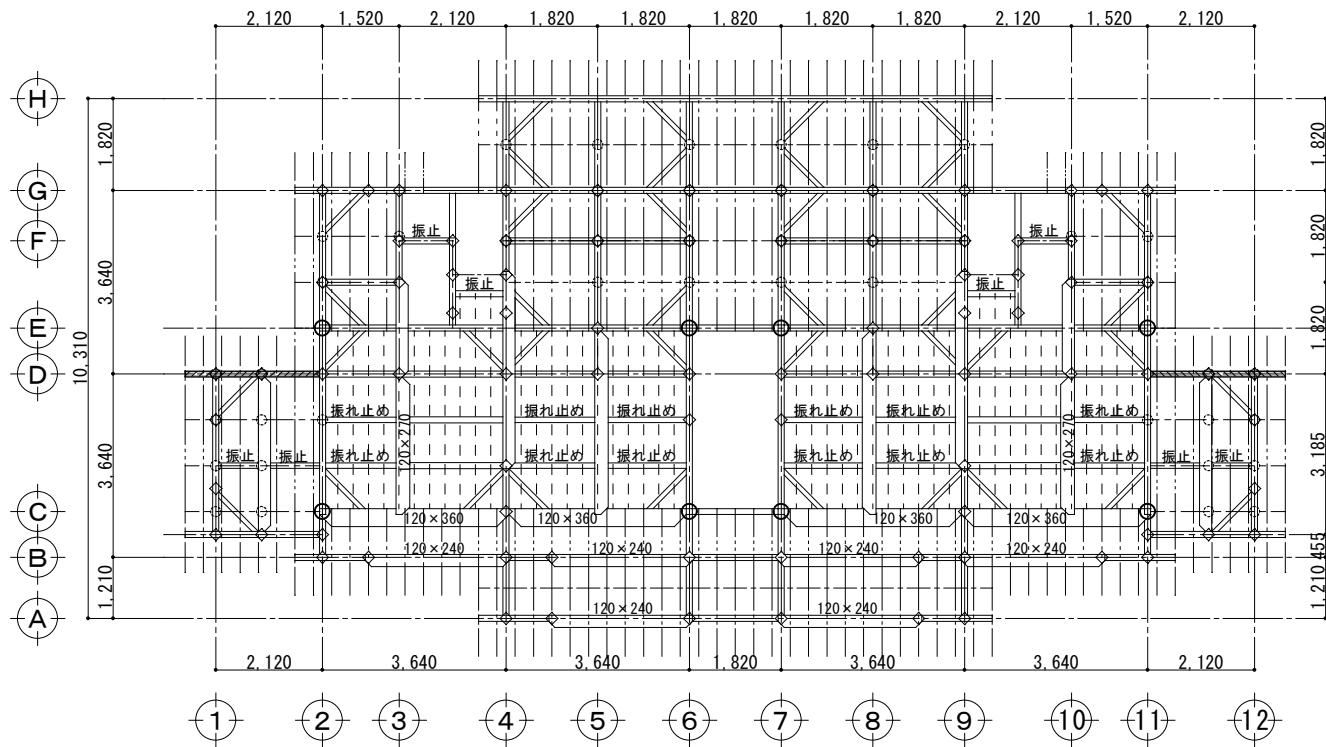


株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号	設計年月日	工事名称	図番
所長	2026. 1.	松風台住宅 D3 ほか3棟 解体工事	
担当	縮尺	図面名称	A-15
製図	1/30・1/150	基礎伏図・床組伏図・基礎リスト D-3, 4棟	



小屋組伏図



1階柱梁2階床組伏図

凡 例	
【腰組・小屋組伏図凡例】	
	特記なき梁：米松 120×180
	振れ止め：地杉 120×120
	筋違 45×90 筋違ﾌﾟﾚｰﾄ(壁倍率2倍用)併用
	火打梁：地杉 90×90
	根太受け：地杉 45×60、根太：地杉 45×60@303
	下階柱位置を示す
	小屋束：地杉 90×90
	棟木：地杉 120×135
	母屋：地杉 120×120@910
	垂木：地杉 45×60@364
	野地板：杉板 t12
	小屋筋違：エゾ松 15×75

接合部：	梁－梁の留め付けは「羽子板ボルト」による
	梁－束の留め付けは「かすがい(C-120)」による
	束－母屋・棟木の留め付けは「かすがい(C-120)」による
	小屋筋違－束の留め付けは「太め釘(N-45)×2本」による
	柱の柱頭・柱脚の接合は「壁量計算表 No.2」による

備考

株式会社
高 出 建 築 設 計 事 務 所

一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号			設計年月日	工事名称	図番
所長	担当	製図	2026. 1.	松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	
			縮尺	図面名称	A-16
			1/150	2階 梁伏図 D-3,4棟	

A 外部仕上表

屋 根		外 壁		外 部 金 物		断熱材（外断熱工法） 住宅性能表示（断熱）等級3（新省エネルギー基準）		
大 屋 根	日本瓦葺き 4.5寸勾配（雪止め付、軒先一文字瓦）	外 壁	地杉 下見板張り（1等抜節無し）働き幅150mm	軒樋・立樋	塩ビ製 軒樋：角型 巾120 立樋：φ60	部位	種 類	熱伝導率 λ：W/m・K
下 屋	耐摩ガルバリウム鋼板 t0.4 A T 葺き（1DK）	外部造作材	地杉 木材保護塗料2回塗り	小屋裏換気口	ステンレス製丸型ガラリ 100φ（防虫網付）	床	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b t30	0.028
下地（構造・材）	アスファルトルーフィング940、下地野地板（杉） t12	通路面外壁	防火サイディング張り t14 アクリルリシン吹付	屋根取合い水切	耐摩ガルバリウム鋼板 t0.35 加工品	外壁	A種フェノールフォーム保温板 t25（気密テープ、断熱パネル、充填スプレー使用）	0.022
破風、鼻隠し	能登ひば 木材保護塗料2回塗り	巾 木	モルタル刷毛引き	水切底	木下地、耐摩ガルバリウム鋼板 t0.35 加工品	屋根	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b t55	0.028
軒 裏	ケイ酸カルシウム板目透かし張 t6.0 EP塗			基礎換気口	基礎パッキン工法			

B 内部仕上表

住戸 タイプ	室 名	天井高	床			巾 木			壁			廻 縁	天 井			造り付家具・備品	カーテン ブラインド
			仕 上	記号	厚	仕 上	H	厚	仕 上	記号	厚		仕 上	記号	厚		
			下 地	記号	厚				下 地	記号	厚		下 地	記号	厚		
1DK (共通)	ポーチ		モルタル刷毛引き コンクリート打ち			モルタル			地杉 下見板張り（1等抜節無し）働き幅150mm 縦胴縁(杉)：18×60@360		15	木製 木材保護塗料	ケイ酸カルシウム板目透かし張 EP塗	5	室名板：上下二段 アルミ製（A-3型） 消火器BOX：屋外埋込タイプ（ユニオンUFB-1F-134 同等品）		
	外部倉庫		モルタル金ゴテ押え コンクリート打ち		120	コンクリート基礎補修			ラワン合板（1類）張り 横胴縁(杉)：15×60@455		5.5	木製	合板（1類）張り 木下地	4			
	玄 関		磁器質100角タイル貼り モルタル塗			磁器質100角 タイル貼り			ビニールクロス貼 石膏ボード		12.5	塩ビ製	ビニールクロス貼 石膏ボード	9.5	上り框：単板張り（見付面）90×150 既製品 郵便箱：ステンレスH L 仕上 W390×D300×H390		
	ホール・廊下		複合合板（カラーフロア）張り 合板（2類）捨張り		12 12	ビニル巾木	60		ビニールクロス貼 石膏ボード		12.5	塩ビ製	ビニールクロス貼 石膏ボード	9.5	手摺：木製32φ I型 L=600		
	D・K		複合合板（カラーフロア）張り 合板（2類）捨張り		12 12	ビニル巾木	60		ビニールクロス貼 石膏ボード	キッチンパネル張り（不燃） 石膏ボード	5.0 12.5	塩ビ製	ビニールクロス貼 石膏ボード	9.5	流し台：1,500×560×800、コンロ台：700(600)×560×625 吊棚：900×380×700、600×380×700、水切棚2段付 レンジフード(シャコフアン)：600×600×600（VUS-603AD同等品） キッチンパネル（施工範囲は展開図参照）		
	和室（寝室）		タタミ敷き 杉荒床張り	桎目単板張り（既製品）	55 15	12	タタミ寄せ			ビニールクロス貼 石膏ボード		12.5	木製	杉桎目天井板張り 巾440（既製品） 木下地			
	和室押入		ラワン合板張り 合板（2類）捨張り		12 12	雑巾ズリ			ラワン合板張り 横胴縁(杉)：15×60@455		5.5	木製	ラワン合板張り 木下地	4			
	板 床		緑甲板張り 合板（2類）捨張り		12 12	雑巾ズリ			ビニールクロス貼 石膏ボード		12.5	木製	ビニールクロス貼 石膏ボード	9.5			
	便 所		ビニール床シート貼り 合板（1類）捨張り		2.5 12	ビニル巾木	60		ビニールクロス貼 耐水石膏ボード		12.5	塩ビ製	ビニールクロス貼 石膏ボード	9.5	棚板：ポリ合板フラッシュ（D=250） 手摺：木製32φ L型 600×600		
	洗面脱衣		ビニール床シート貼り 合板（1類）捨張り		2.5 12	ビニル巾木	60		ビニールクロス貼 耐水石膏ボード		12.5	塩ビ製	ビニールクロス貼 石膏ボード	9.5	床下点検口 600×600 タオル掛け		
	浴 室		ユニットバス（13-17）高齢者対応型 【参考図参照】														
	サンルーム		ビニール床シート貼り 合板（1類）捨張り		2.5 12	ビニル巾木	60		ビニールクロス貼 耐水石膏ボード		12.5	塩ビ製	ビニールクロス貼 石膏ボード	9.5	物干金物（自在型） H-530		

■ 材 料

P- B- プラスターボード
LGS- 軽量形鋼
SUS- ステンレス
AL- アルミ
FB- フラットバー
C- コンクリート
ALC- 軽量気泡コンクリート
CB- コンクリートブロック

■ 塗 料

SOP- 合成樹脂調合ペイント
EP- 合成樹脂エマルジョンペイント
VP- 塩化ビニルペイント
OS- オイルステイン
OSW- オイルステインワックス
CL- クリアアーラッカー
AEP- アクリルエナメルペイント
BAE- 焼付アクリル樹脂エナメル塗り

■ 内装材認定番号

○ 石膏ボード（t=12.5 t=15.0）
○ 石膏ボード（t=9.5）
○ 化粧石膏ボード（t=12.5 t=15.0）
○ 化粧石膏ボード（t=9.5）
○ 岩綿吸音板（t=9.0以上）
○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板
○ 無機質壁紙（防火1級検定品）
○ ビニルクロス（防火2級検定品）

不 燃 第1003号
準不燃 第2015号
不 燃 第1007号
準不燃 第2016号
不 燃 第1021号
不 燃 第1061号
不 燃 第1103号
準不燃 第2104号

■仕様共通事項（特記なき限り）

・合板を使用するときは、全てF☆☆☆☆仕様とする。
・透湿防水シート張り重ね巾100（端部 防水テープ貼）とする。

備考

株式会社
高出 建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

設計年月日
2026. 1.

工事名称
松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

図番
A-17

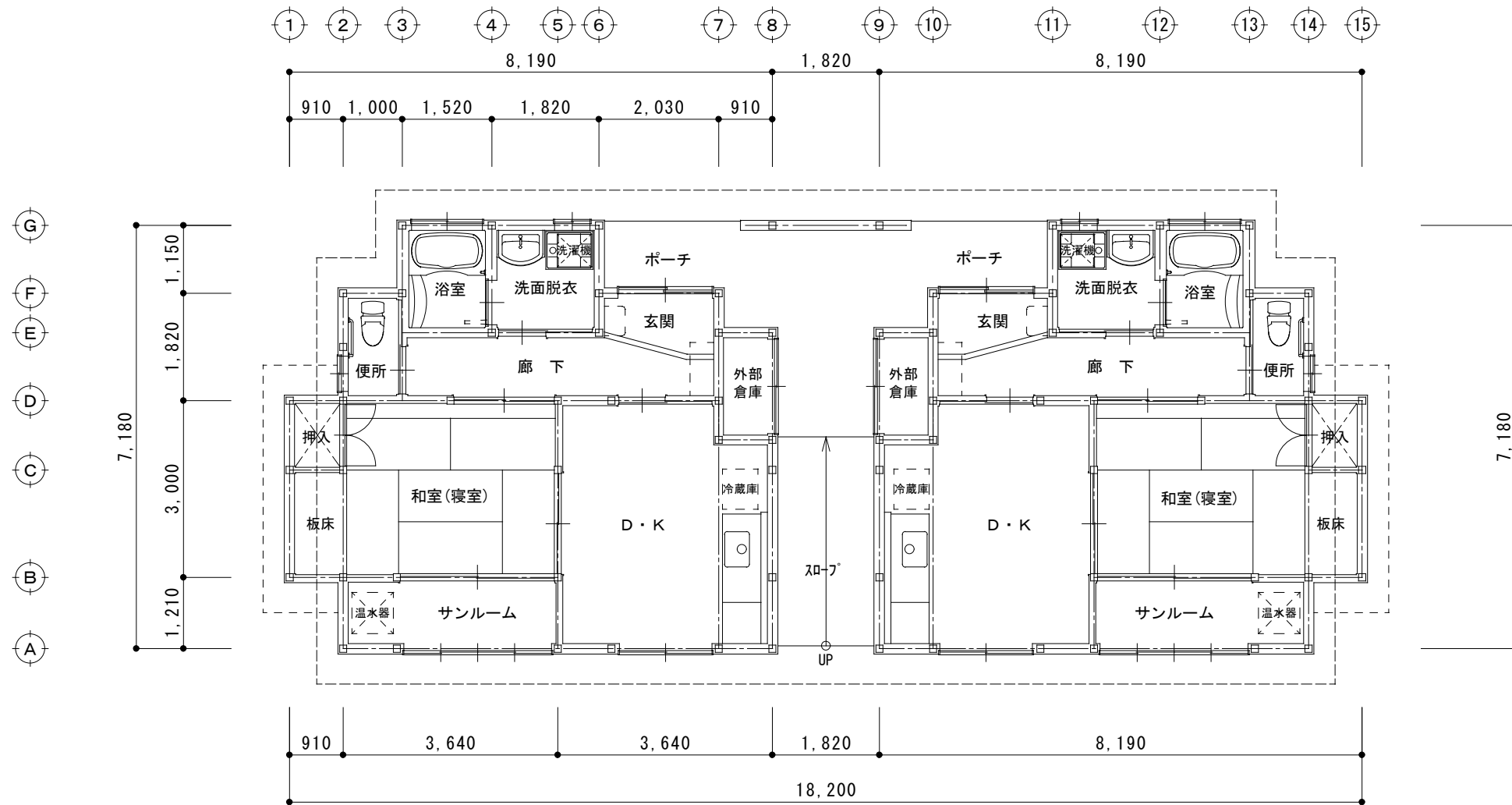
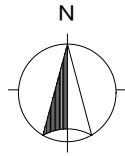
所長

担当


製図

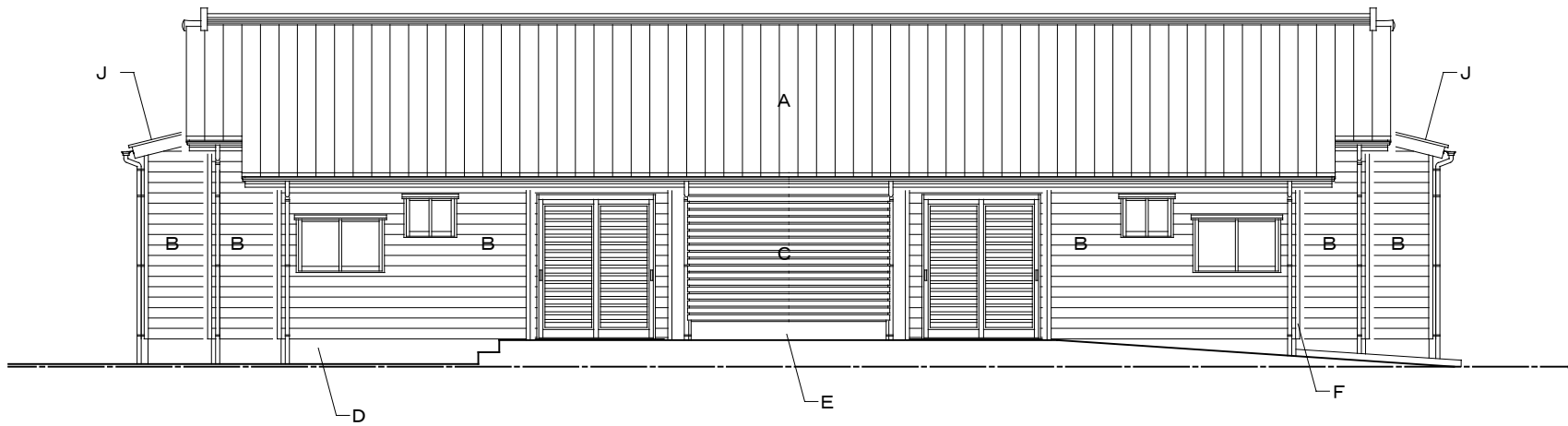
縮尺

図面名称
仕 上 表 G・H・I 棟

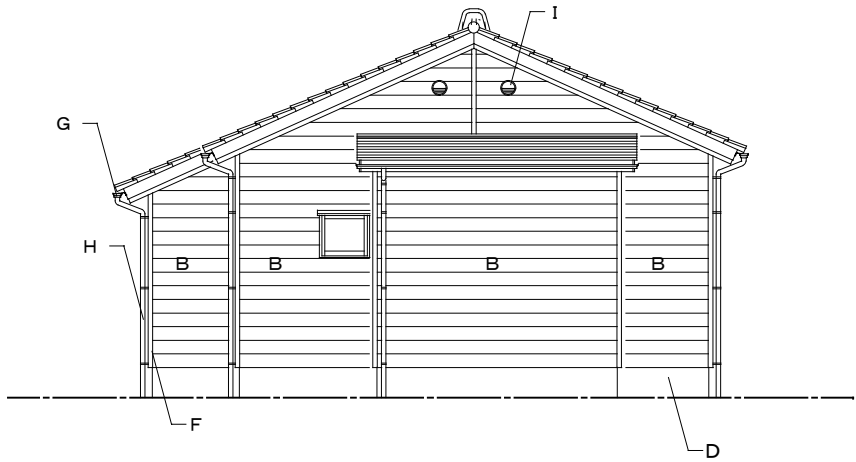


1 階 平 面 図 1/100

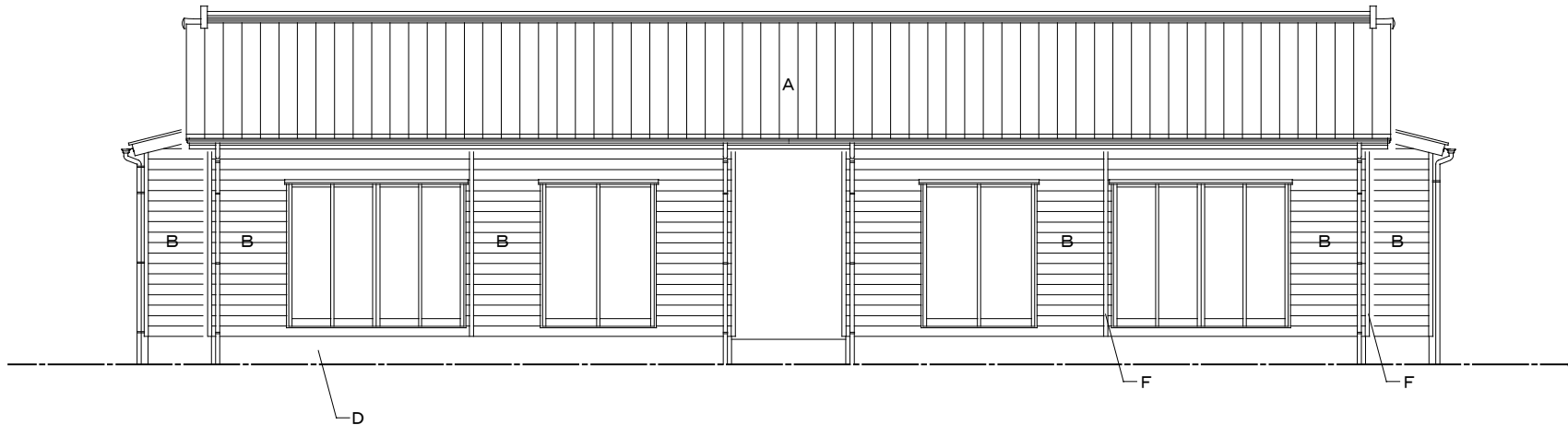
備考	 株式会社 高 出 建 築 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美			設計番号	設計年月日	工事名称	図番 A-18
				所長	担当	製図	
				縮尺 1/100		図面名称 1 階平面図 G・H・I 棟	



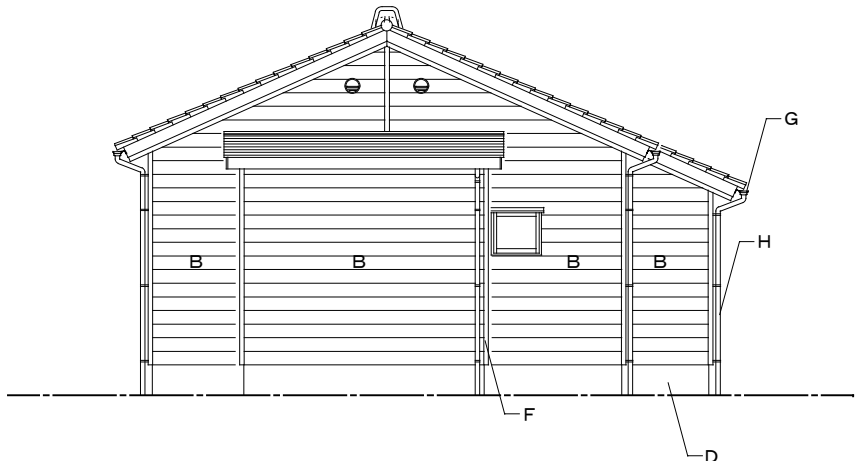
1/100 立面図(北)



1/100 立面図(東)



1/100 立面図(南)



1/100 立面図(西)

凡 例			
A	屋根：日本瓦葺き(軒先一字瓦)のし瓦3段積み、雪止瓦 軒先通し、のぼり3/4まで千鳥配置	H	立樋：塩ビ製 φ60、摺金物：ステンレス製@1,200(市販品)
B	外壁：下見板張り(地杉 t=12mm) 木材保護塗料2回塗り	I	小屋裏換気金物：ステンレスフード付丸型ガラリ(防虫網付)φ150
C	外壁：木摺り(アテ材 75×25mm@105) 木材保護塗料2回塗り	J	耐摩ガルバリウム鋼板 t0.4 A T 葺き
D	巾木：モルタル刷毛引き		
E	巾木：コンクリート打放し		
F	木部(付土台、定規柱、付柱、破風、鼻カクシ、見切縁等)：地杉 木材保護塗料2回塗り		
G	軒樋：塩ビ製 角型巾105、受金物：ステンレス製@450(市販品)	※	外壁下見板に使用する釘はステンレススクリュー釘(焼き入れ)とする

備考



株式会社
高出 建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

設計年月日

2026. 1.

工事名称

松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

図番

A-20

所長

担当

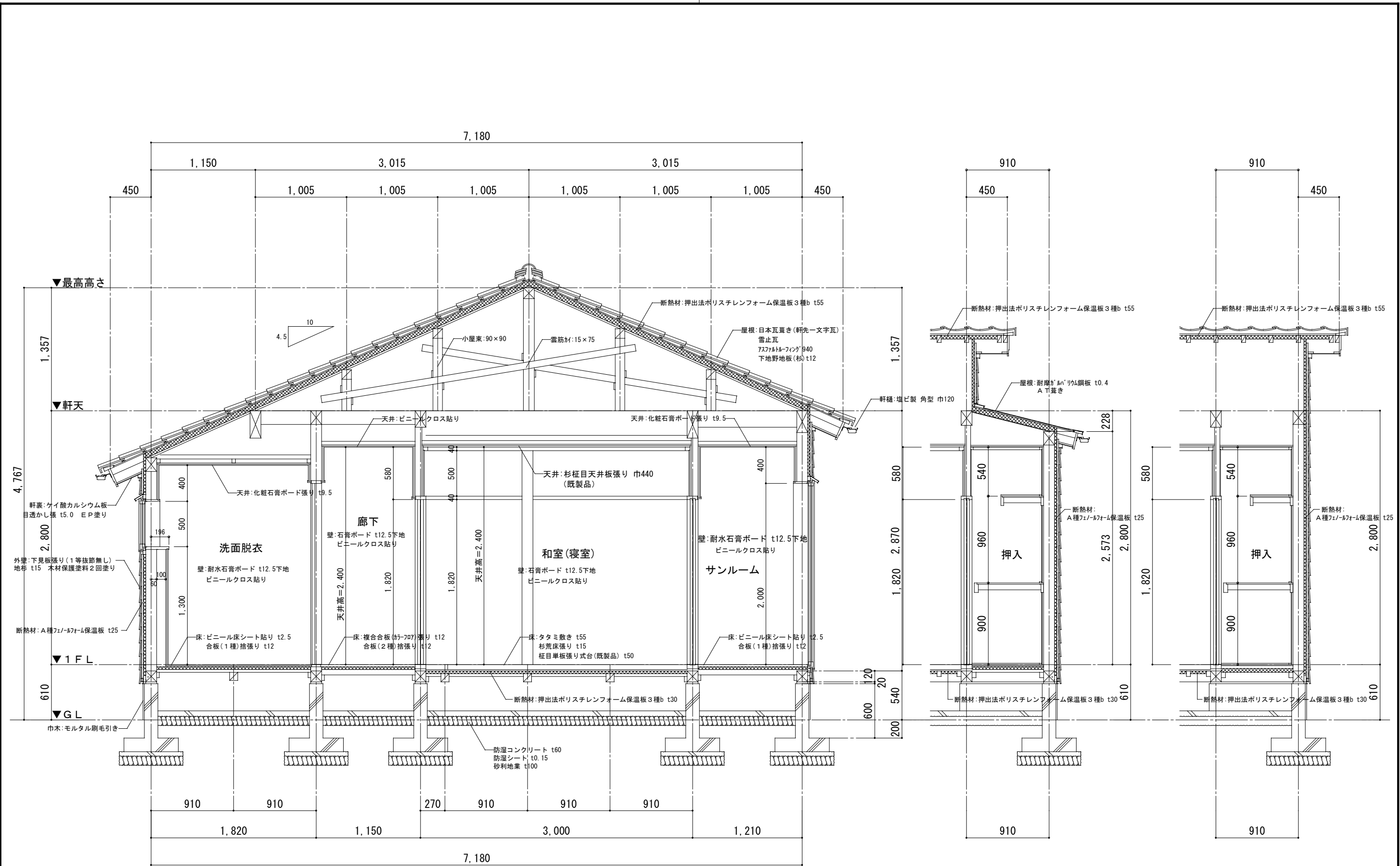
製図


縮尺

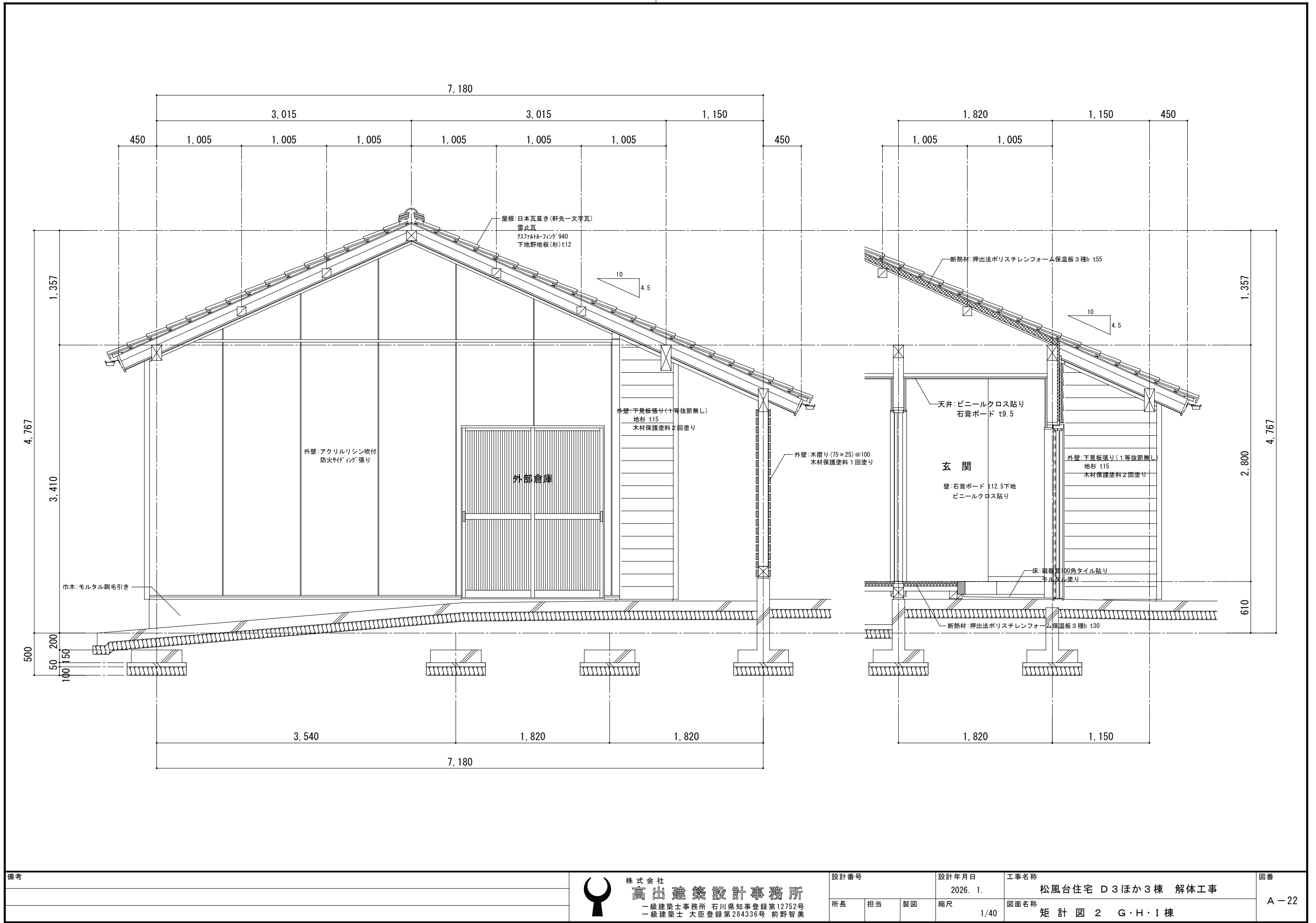
1/100


図面名称

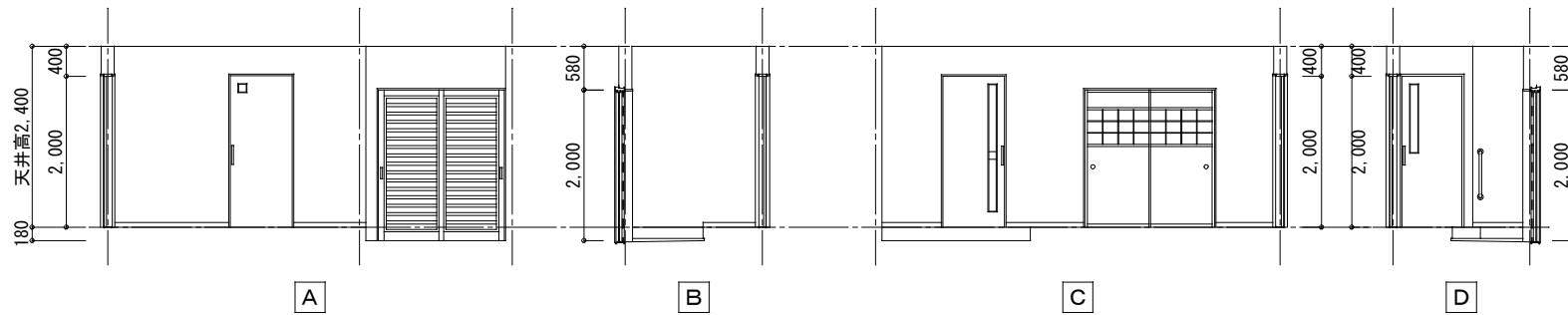
立面図 G・H・I 棟



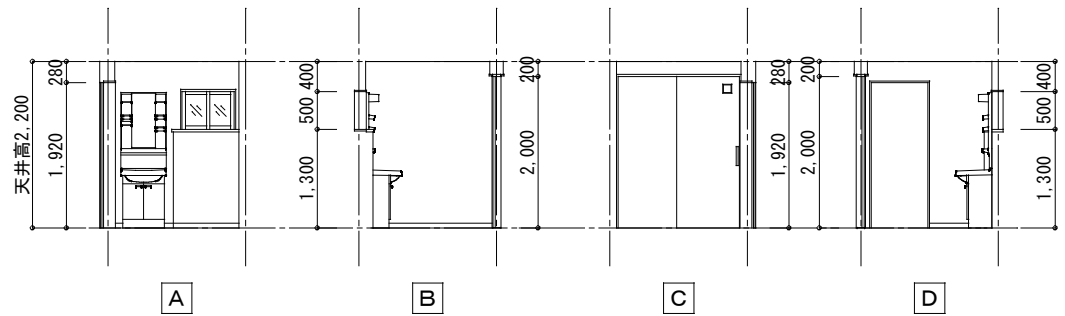
備考	<div><div>株 式 会 社 高 出 建 築 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美</div></div>	設計番号		設計年月日	工事名称	図番 A - 21
				2026. 1.	松風台住宅 D 3 ほか 3 棟 解体工事	
		所長	担当	製図	縮尺	
				1/40	矩 計 図 1 G・H・I 棟	



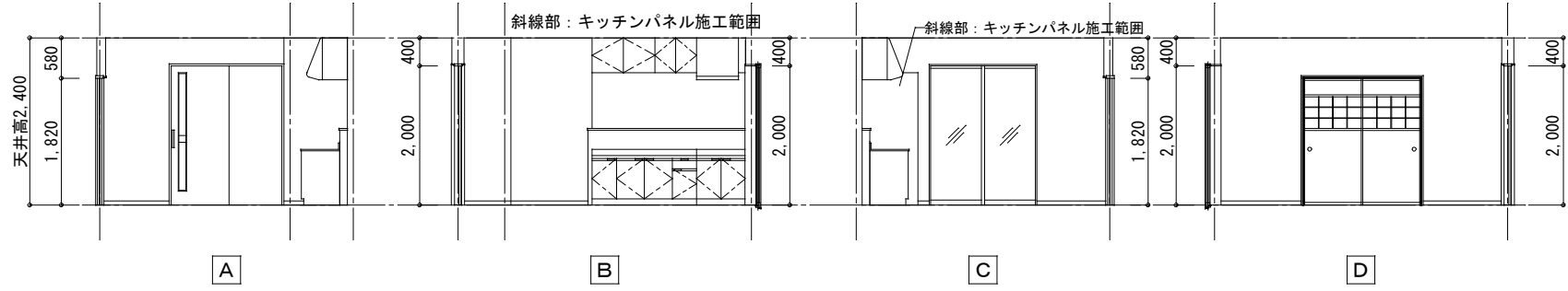
備考	<div><div>株 式 会 社 高 出 建 築 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美</div></div>	設計番号		設計年月日	工事名称	図番	
				2026. 1.	松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事		
		所長	担当	製図	縮尺		図面名称
					1/40	矩 計 図 2 G・H・I 棟	A - 22



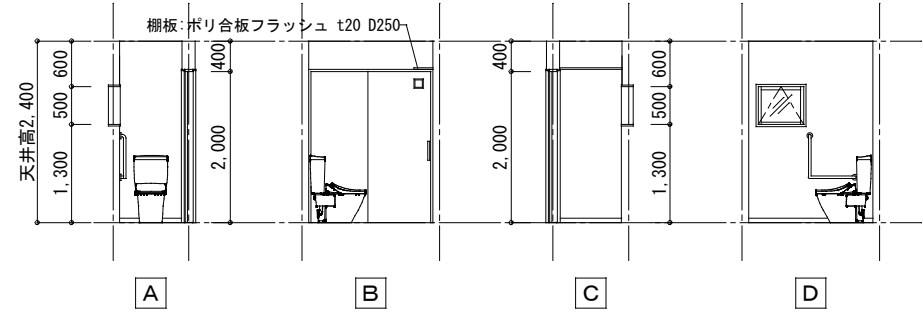
玄関・廊下



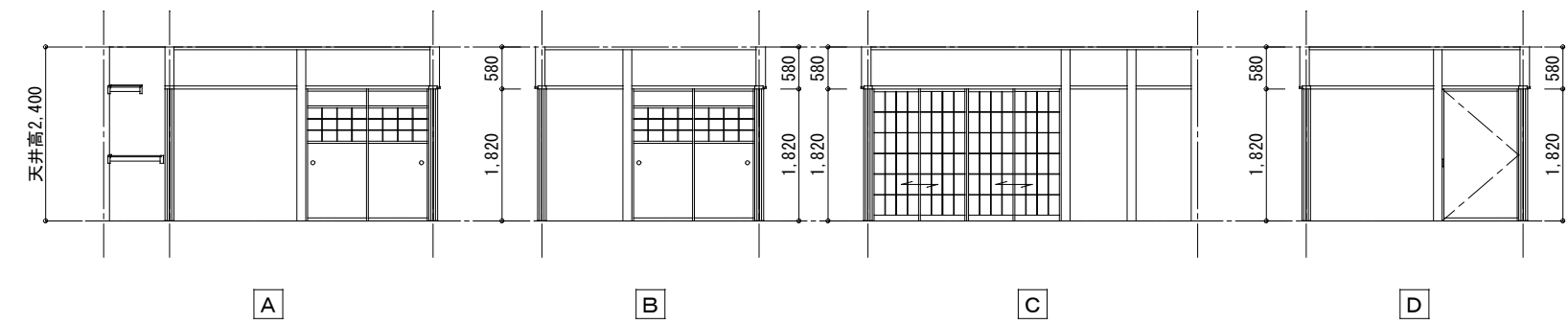
洗面脱衣



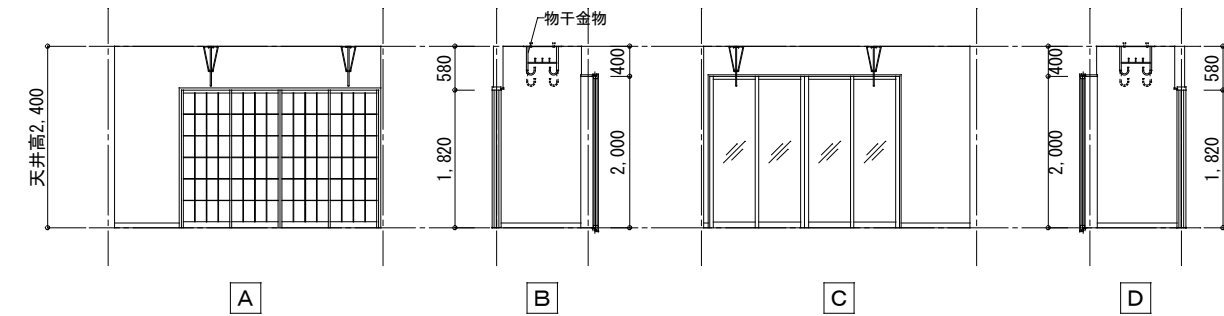
D・K



便所




和室(寝室)



サンルーム

備考



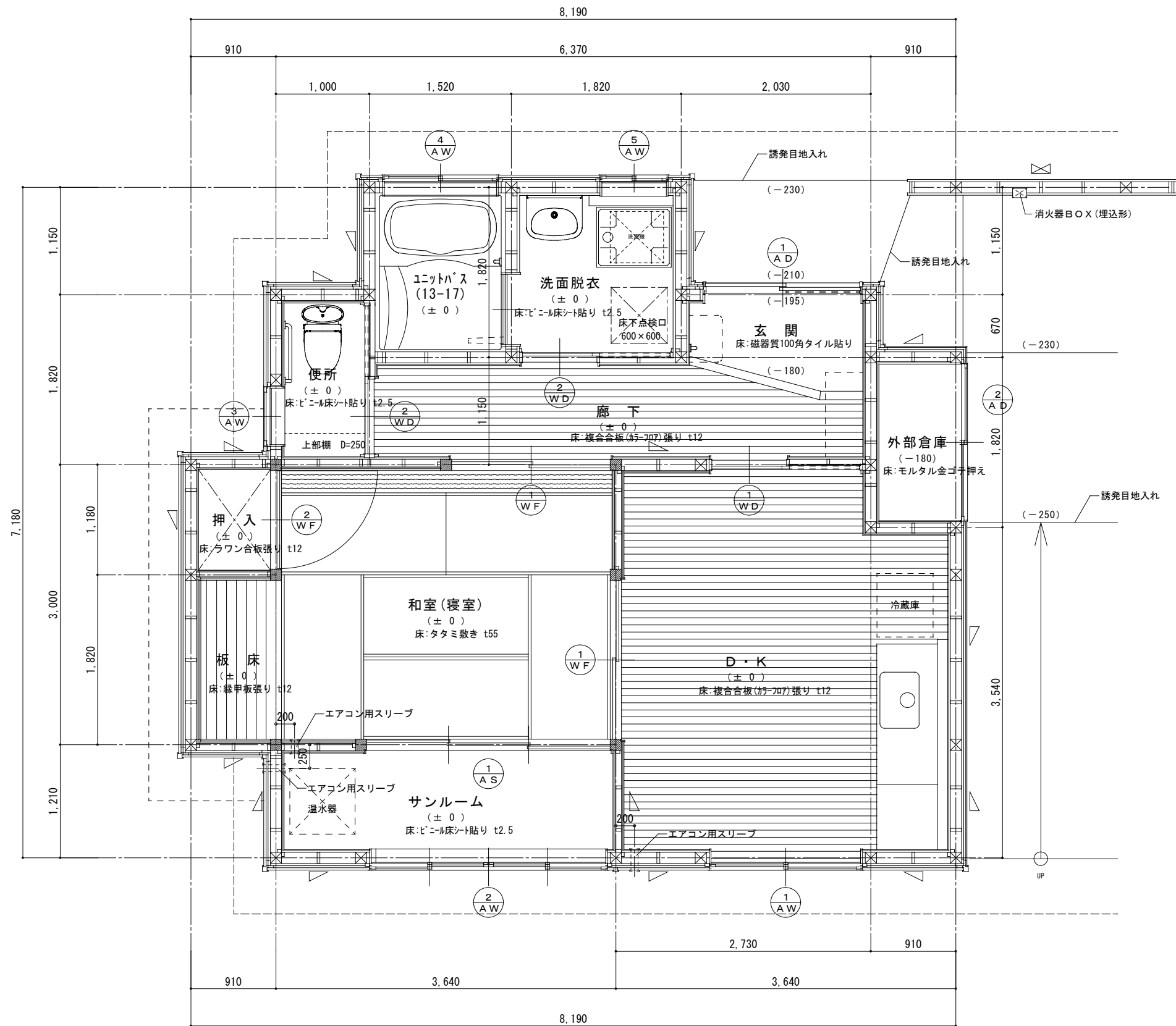
株式会社

高出建築設計事務所

一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号

一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号			設計年月日 2026. 1.	工事名称 松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事		図番 A－23
所長	担当	製図	縮尺 1/100	図面名称 展 開 図 G・H・I 棟		



備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長

担当

製図

設計年月日

縮尺

工事名称

図面名称

図番

A-24

符 号 ・ 数 量	$\textcircled{\frac{1}{AD}} \times 1$	$\textcircled{\frac{2}{AD}} \times 1$	$\textcircled{\frac{1}{AW}} \times 1$	$\textcircled{\frac{2}{AW}} \times 1$
取 付 場 所	玄関	外部倉庫	D・K	サンルーム
形 式	引違い玄関戸	引違い戸	引違いテラス窓（半外付）	4枚引違いテラス窓（半外付）
材質・仕上	引戸・枠：アルミ押出し形材、下枠：ステンレス	アルミ押出し形材	アルミ押出し形材	アルミ押出し形材
硝 子 等	複層ガラス（型）：t4.0+A6.0+t3.0		複層ガラス（透明）：t5.0+A6.0+t5.0	複層ガラス（透明）：t5.0+A6.0+t5.0
金 物	大型引手、引手錠、その他付属金物一式	引手、シリンダー錠、その他付属金物一式	額縁ﾌｳｸﾞﾙ、引手、ｸﾚﾓﾝﾄ錠、その他付属金物一式	額縁ﾌｳｸﾞﾙ、引手、ｸﾚﾓﾝﾄ錠、その他付属金物一式
備 考				
見 込	枠：120mm	枠：70mm	枠：70mm	枠：70mm

形 状	<p>※室内側姿図</p>	<p>※室内側姿図</p>	<p>※室内側姿図</p>	<p>※室内側姿図</p>
-----	---------------	---------------	---------------	---------------

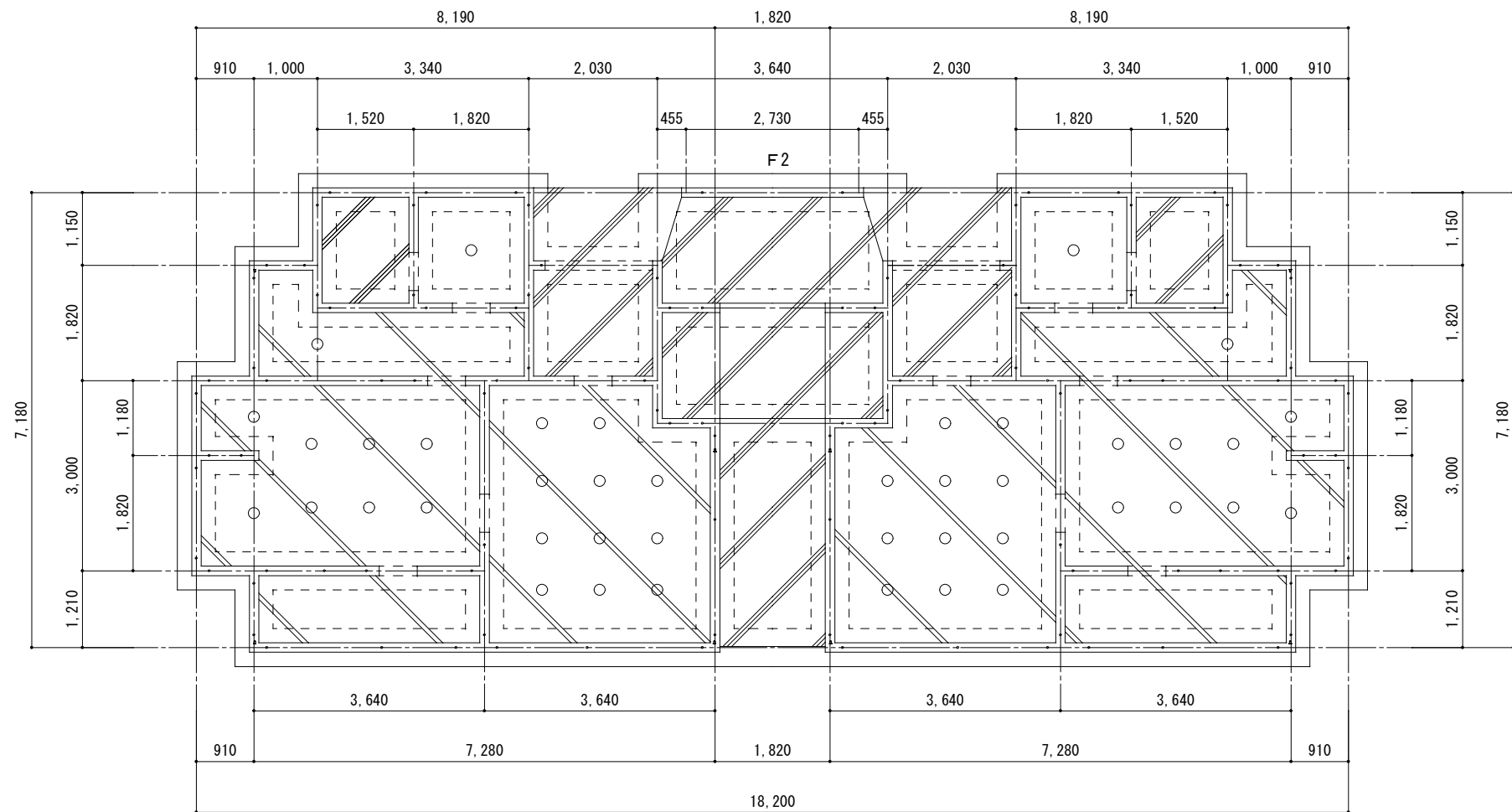
符 号 ・ 数 量	$\textcircled{\frac{3}{AW}} \times 1$	$\textcircled{\frac{4}{AW}} \times 1$	$\textcircled{\frac{5}{AW}} \times 1$	$\textcircled{\frac{1}{AS}} \times 1$
取 付 場 所	便 所	浴 室	洗面脱衣	和室－サンルーム
形 式	突出し窓（半外付）	引違い窓（半外付）	引違い窓（半外付）	4枚引違い室内戸
材質・仕上	アルミ押出し形材	アルミ押出し形材	アルミ押出し形材	枠・格子：アルミ押出し形材
硝 子 等	複層ガラス（型）：t4.0+A6.0+t3.0	複層ガラス（型）：t4.0+A6.0+t3.0	複層ガラス（型）：t4.0+A6.0+t3.0	障子：樹脂製和障子紙
金 物	額縁ﾌｳｸﾞﾙ、ｶﾑﾗｯﾁﾊﾝﾄﾞﾙ、突出しﾌｰﾑ、その他付属金物一式	額縁ﾌｳｸﾞﾙ、引手、ｸﾚﾓﾝﾄ錠、その他付属金物一式	額縁ﾌｳｸﾞﾙ、引手、ｸﾚﾓﾝﾄ錠、その他付属金物一式	引手、戸車、その他付属金物一式
備 考				
見 込	枠：70mm	枠：70mm	枠：70mm	30mm

形 状	<p>※室内側姿図</p>	<p>※室内側姿図</p>	<p>※室内側姿図</p>	<p>※和室側姿図</p>
-----	---------------	---------------	---------------	---------------

符 号 ・ 数 量	$\textcircled{\frac{1}{WD}} \times 1$	$\textcircled{\frac{2}{WD}} \times 2$	$\textcircled{\frac{1}{WF}} \times 2$	$\textcircled{\frac{2}{WF}} \times 1$
取 付 場 所	D・K－廊下	洗面脱衣－廊下、便所－廊下	和室－D・K、和室－廊下	和 室（押入）
形 式	片引きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸	引違いフスマ戸	片開きフスマ戸
材質・仕上	ポリ合板	ポリ合板	枠：ｽﾌﾟﾙｽ白木（手垢止め）、鳥の子紙張り（両面）	枠：ｽﾌﾟﾙｽ白木（手垢止め）、鳥の子紙張り（片面）
硝 子 等	型板ガラス t4.0（100×700、100×900）	型板ガラス t4.0（100×100）	障子：樹脂製和障子紙 t0.2	
金 物	大型引手、戸車、ﾌﾗｯｼｭﾚｰﾙ、その他付属金物一式	大型引手、戸車、ﾌﾗｯｼｭﾚｰﾙ、その他付属金物一式	フスマ引手	引手、丁番（3枚）
備 考				
見 込	33mm	33mm	30mm	30mm

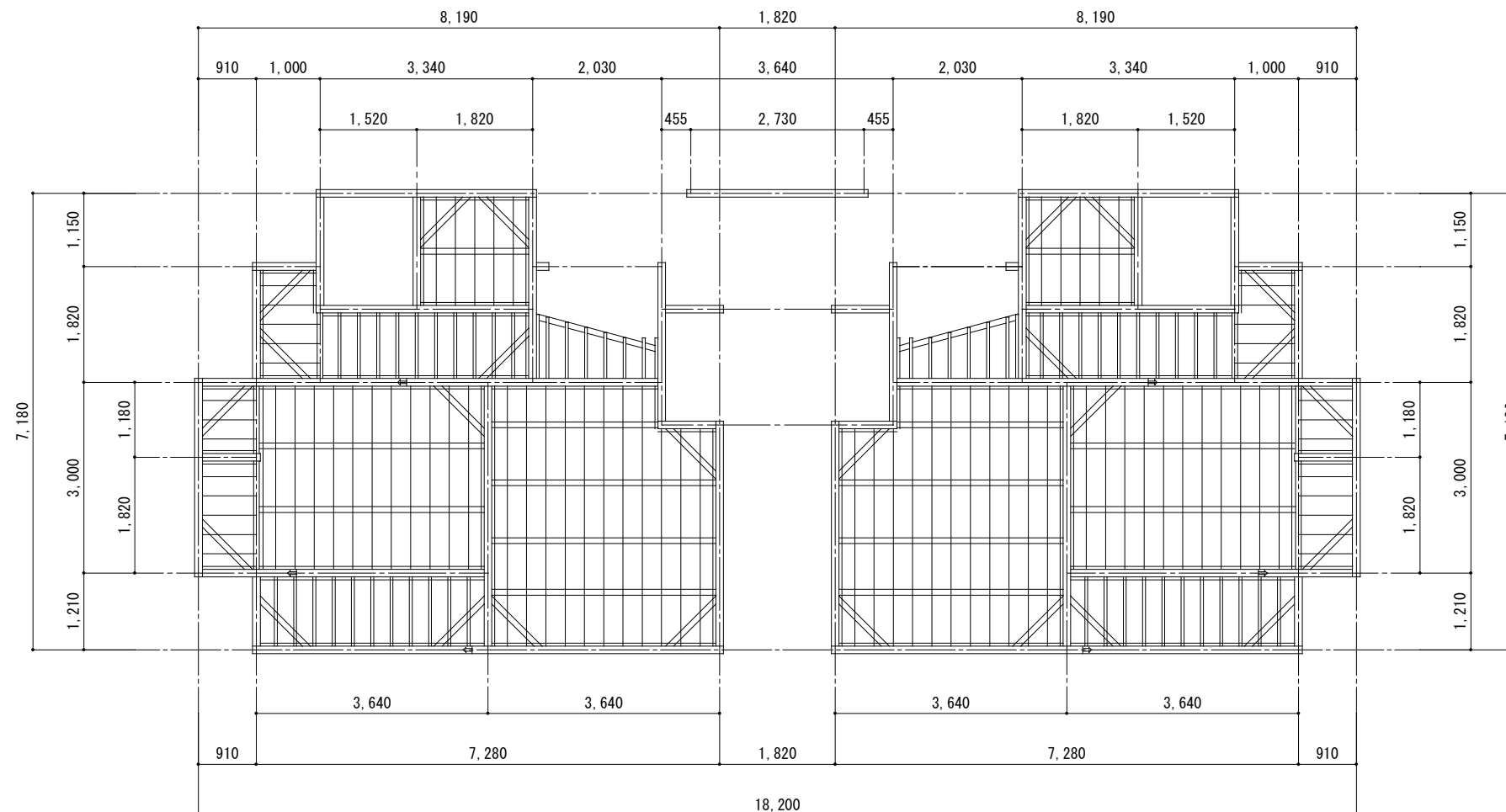
形 状	<p>※D K側姿図</p>	<p>※洗面脱衣・便所側姿図</p>	<p>※和室側姿図</p>	<p>※和室側姿図</p>
-----	----------------	--------------------	---------------	---------------

備考		<div>株式会社 高 出 建 築 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美</div>	設計番号		設計年月日	工事名称	図番
			所長		2026. 1.	松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	
			担当	製図	縮尺	図面名称	
					NTS	建 具 リ ス ト G・H・I 棟	A-25



基礎伏図

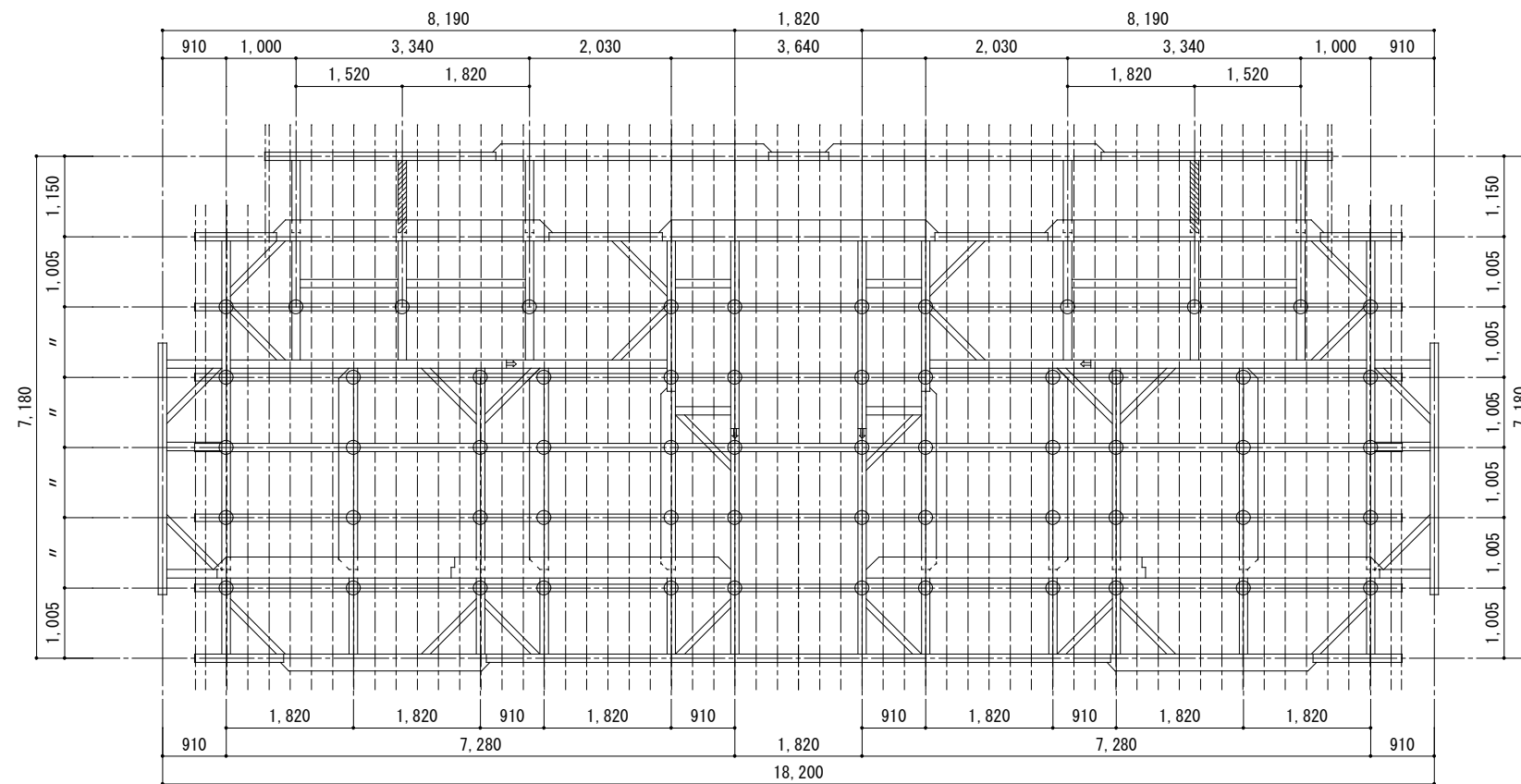
凡 例		基礎詳細図 1-30	
コ	床下換気孔 基礎パッキン工法	F 1	※図中表記なきは F 1 による
	床下開口 W600×H400		
○	束立て 樹脂製	F 2	
	土間コンクリートt120 鉄筋D10 軒ヨコ@250 再生クッション材t100		
	床下コンクリートt60 砂利t100		
○	アンカーボルト L-400 (M-12) (座金t-4以上) 垂鉛付品		
	引き寄せ金物用アンカーボルト (M-16)		











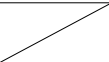
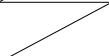


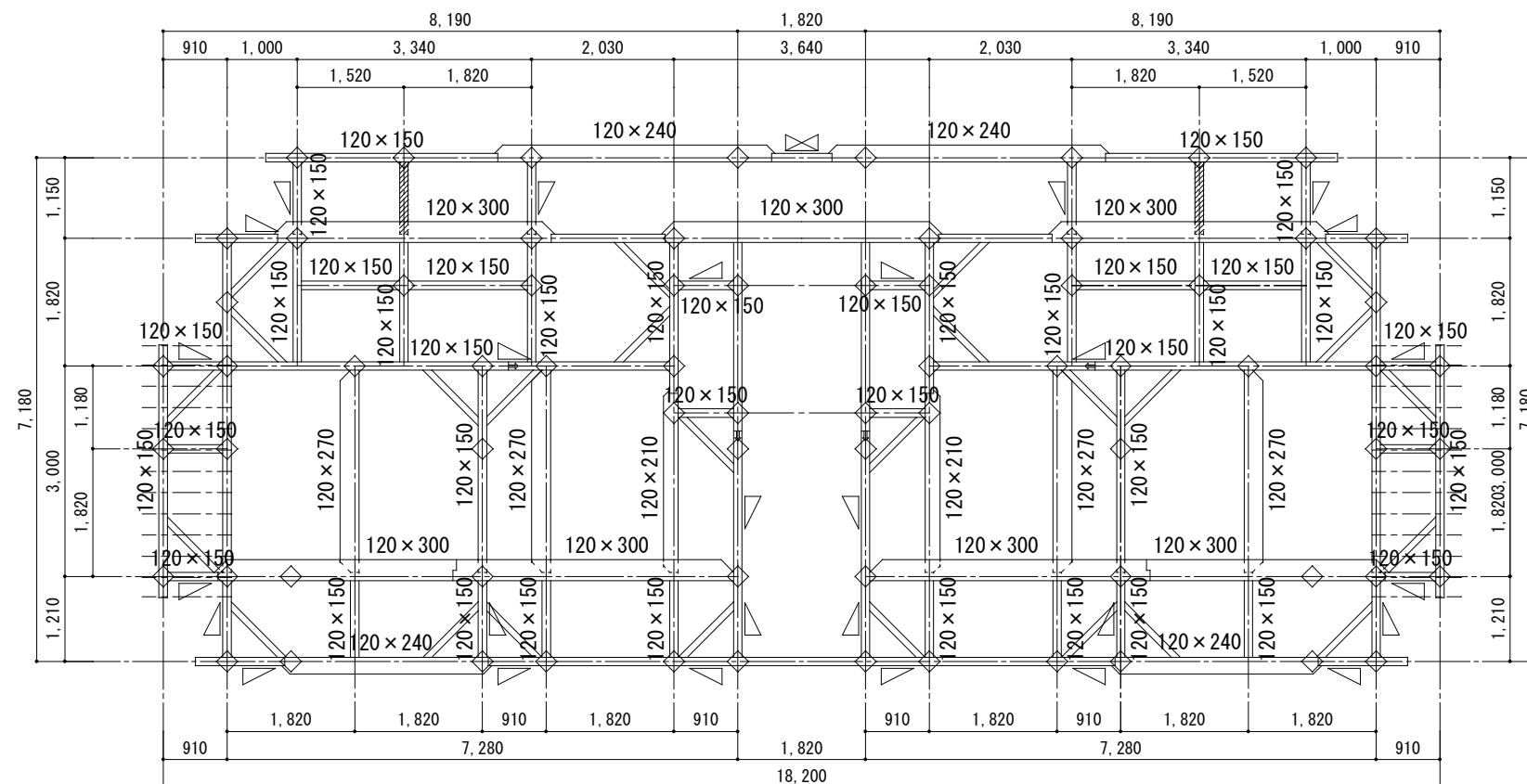
床組伏図

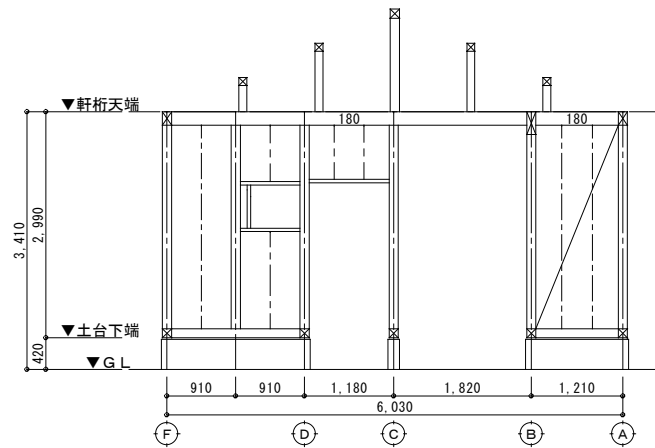
凡 例

	火打土台 90×45 能登ヒバ
	大引 105×105@910 地杉
	根太 45×90@303 地杉
	根太 45×60@303 地杉
	根太受け 30×60 地杉

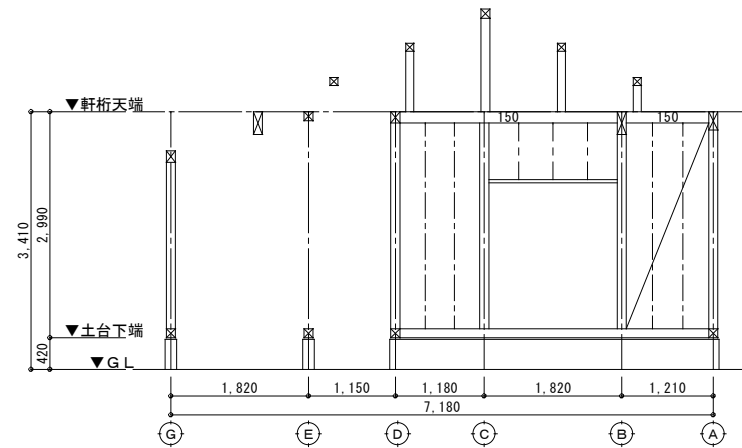


凡 例	
【腰組・小屋組伏図凡例】	
	特記なき梁：米松 120×180
	振れ止め：地杉 120×120
	筋違 45×90 筋違7°レト(壁倍率2倍用)併用
	火打梁：地杉 90×90
	根太受け：地杉 30×60、根太：地杉 45×60@303
	下階柱位置を示す
	小屋束：地杉 105×105
	棟木：地杉 120×120
	母屋：地杉 105×105@910
	垂木：地杉 45×75@303
	野地板：杉板 t 12
	小屋筋違：15×75

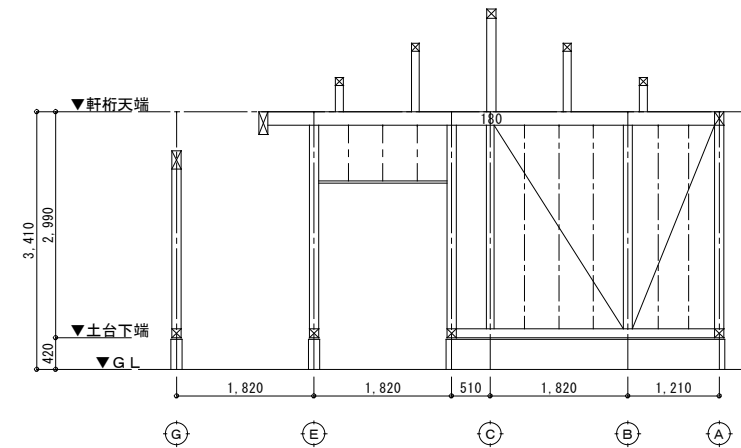




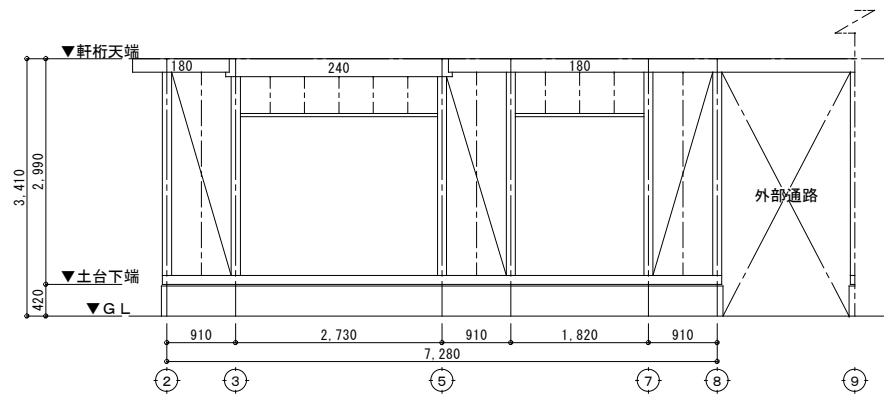
2通り



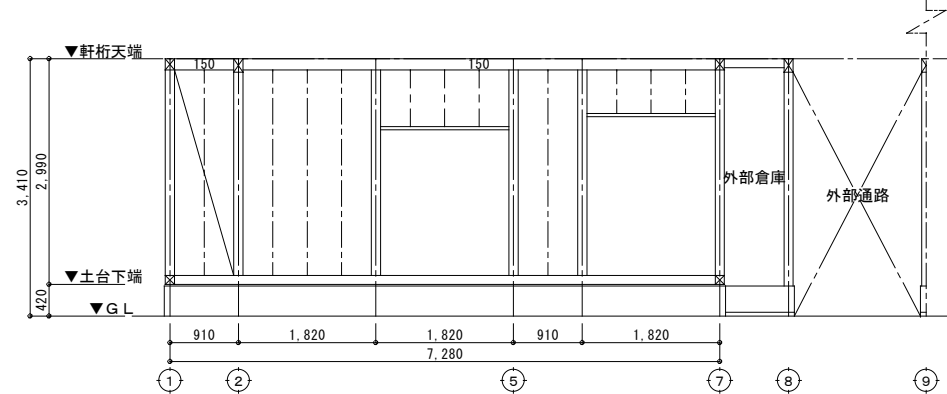
5通り



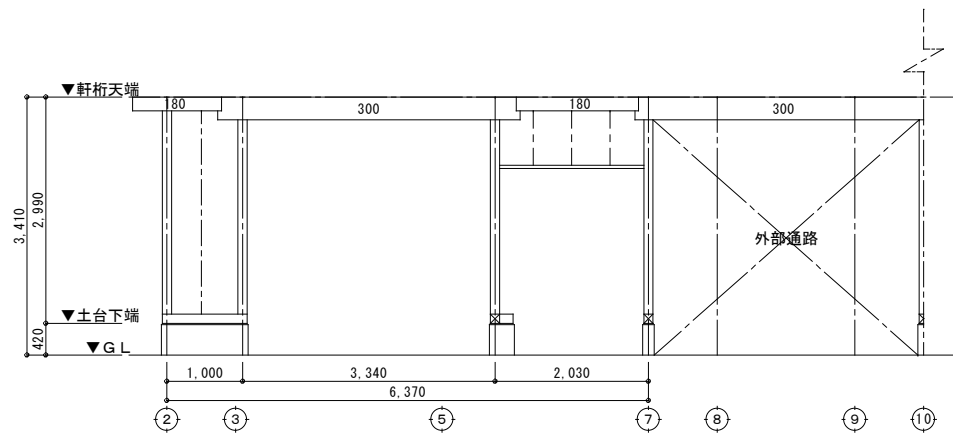
9通り



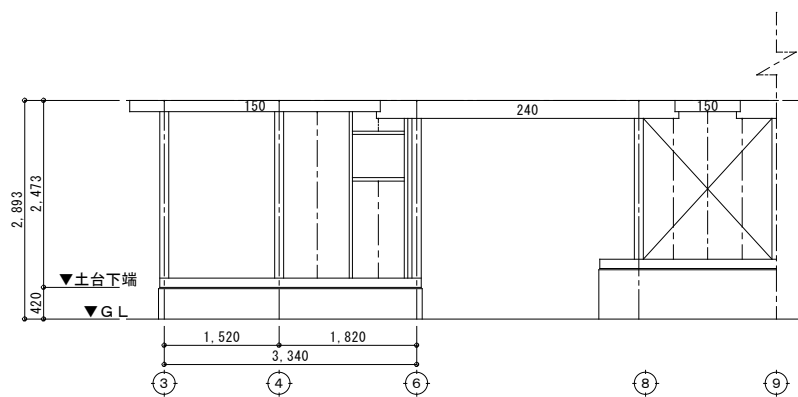
A通り




D通り

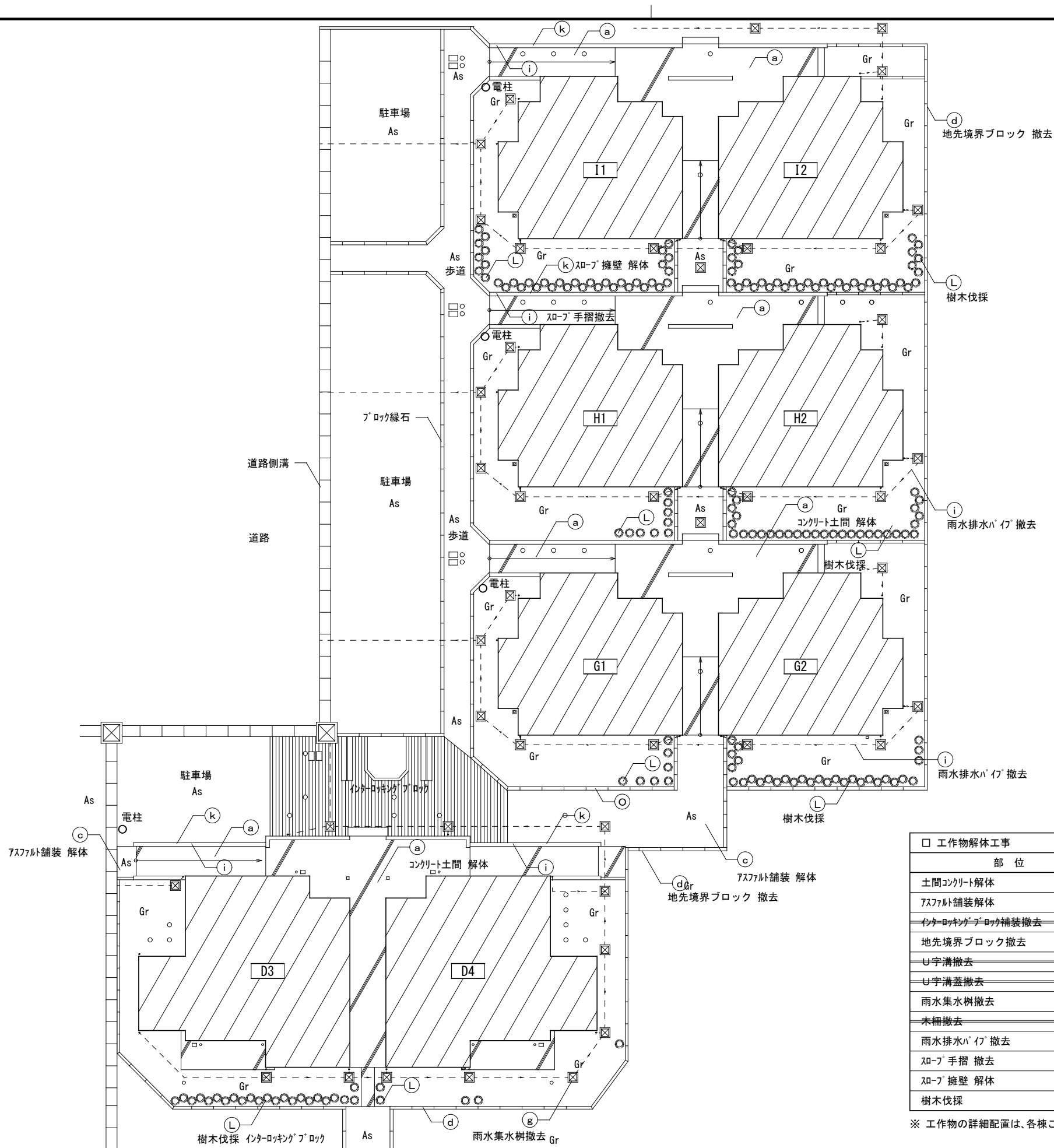
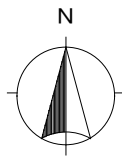


F通り



G通り

備考 	<div> <div>  </div> <div> 株式会社 高田建築設計事務所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美 </div> </div>	設計番号 所長 担当 製図	設計年月日 2026. 1. 縮尺 1/100	工事名称 松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事 図面名称 軸組図 G・H・I棟	図番 A-29
------------	---	------------------	----------------------------------	---	------------



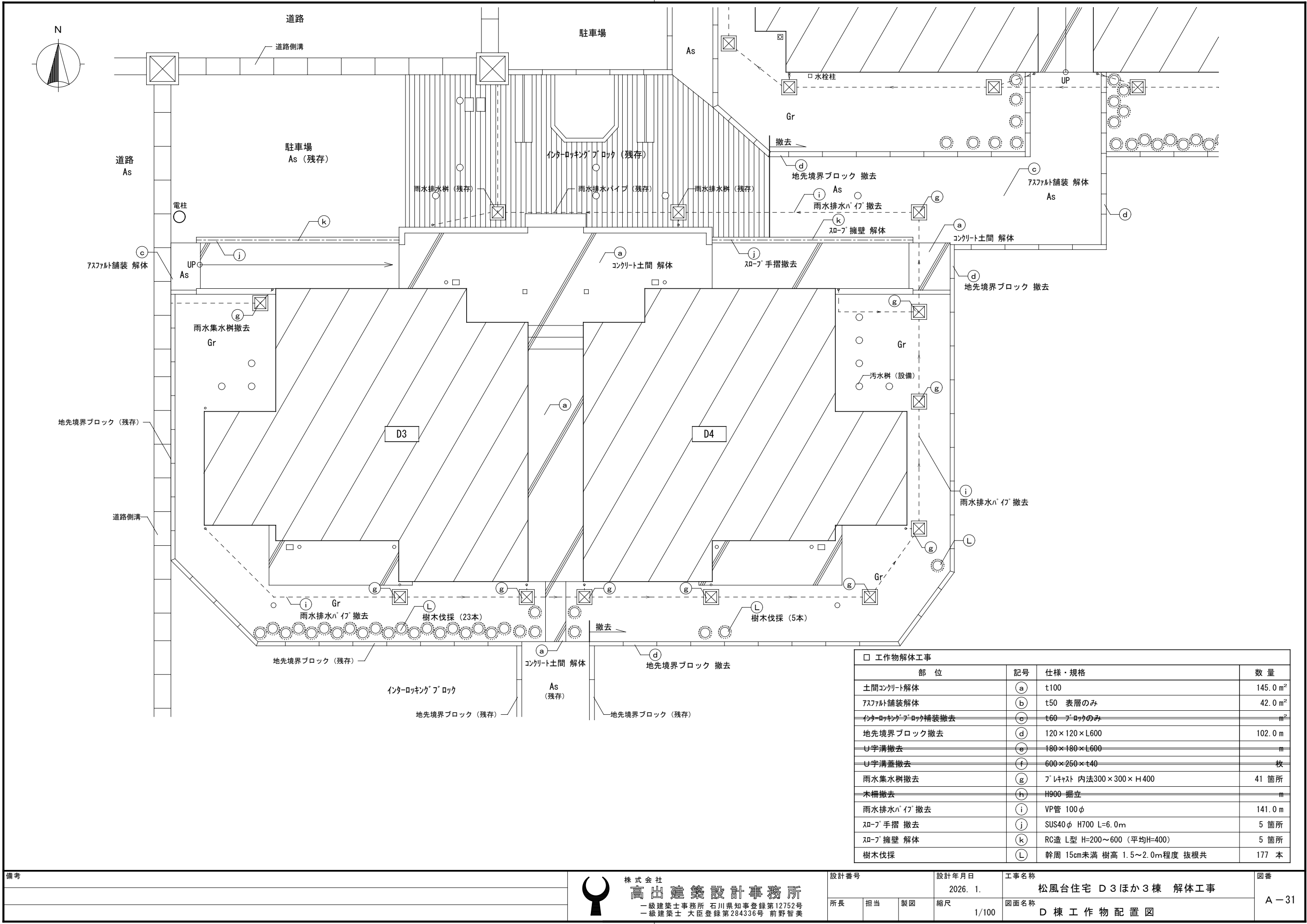
□ 工作物解体工事			
部 位	記号	仕様・規格	数 量
土間コンクリート解体	(a)	t100	145.0 m ²
アスファルト舗装解体	(b)	t50 表層のみ	42.0 m ²
インターlockingブロック舗装撤去	(c)	t60 ブロックのみ	m ²
地先境界ブロック撤去	(d)	120×120×L600	102.0 m
U字溝撤去	(e)	180×180×L600	m
U字溝蓋撤去	(f)	600×250×t40	枚
雨水集水樹撤去	(g)	プレキャスト 内法300×300×H400	41 箇所
木柵撤去	(h)	H900 掘立	m
雨水排水パイプ撤去	(i)	VP管 100φ	141.0 m
スロープ手摺撤去	(j)	SUS40φ H700 L=6.0m	5 箇所
スロープ擁壁解体	(k)	RC造 L型 H=200~600 (平均H=400)	5 箇所
樹木伐採	(L)	幹周 15cm未満 樹高 1.5~2.0m程度 抜根共	177 本

※ 工作物の詳細配置は、各棟ごとの配置図を参照

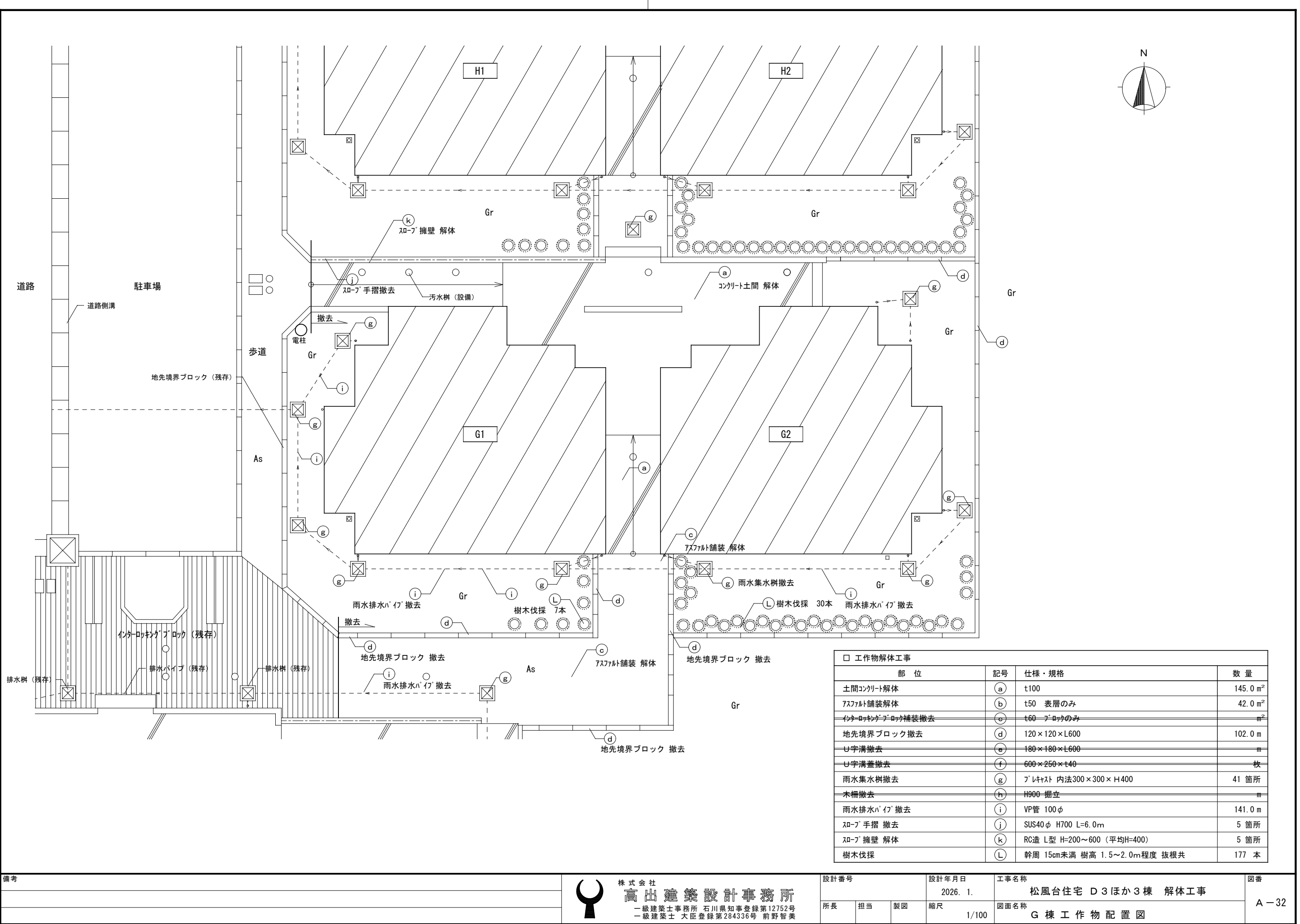
備考

株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

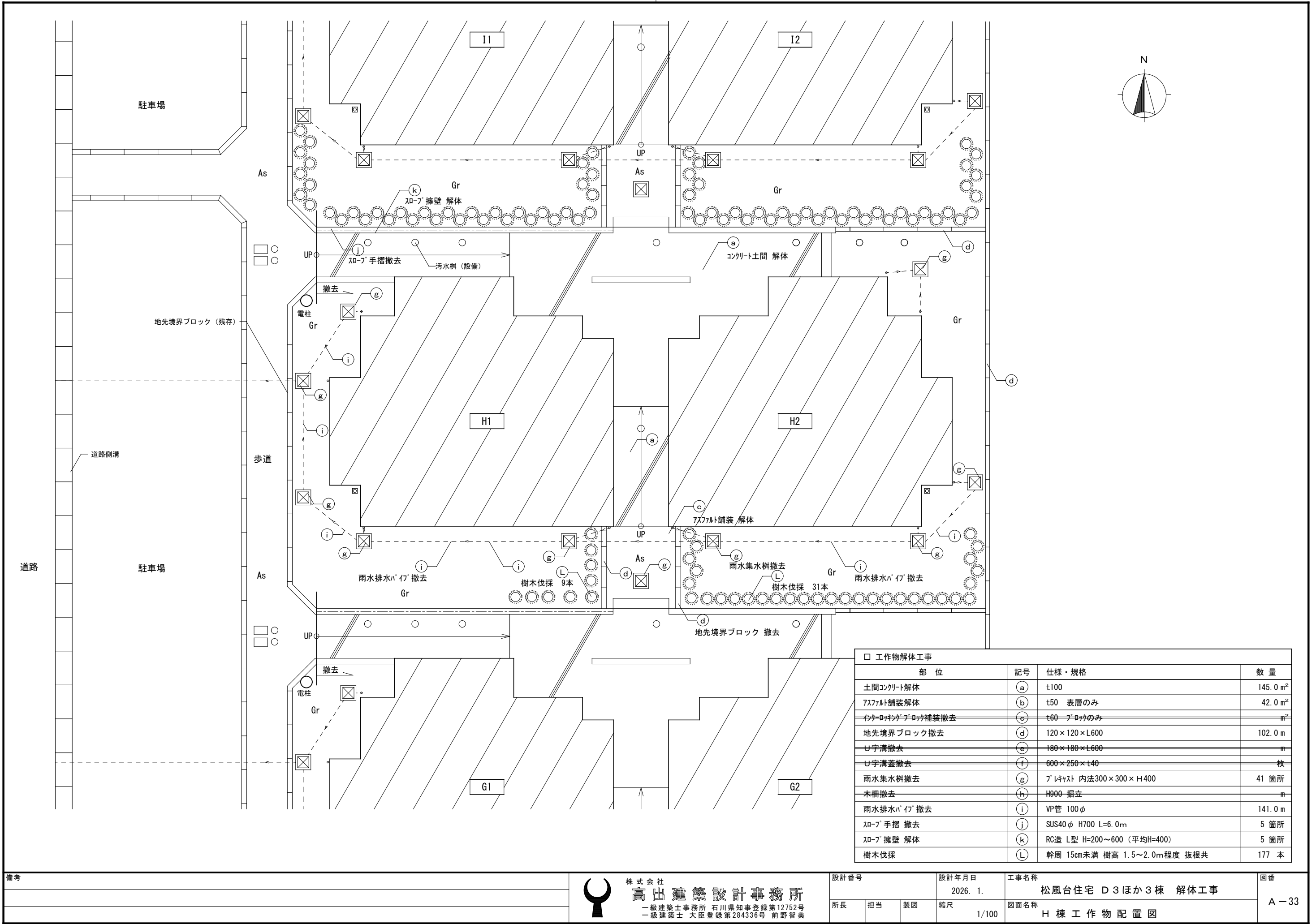
設計番号	設計年月日	工事名称	図番
所長	2026. 1.	松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	A-30
担当	縮尺	図面名称	
製図	1/200	工作物配置図	



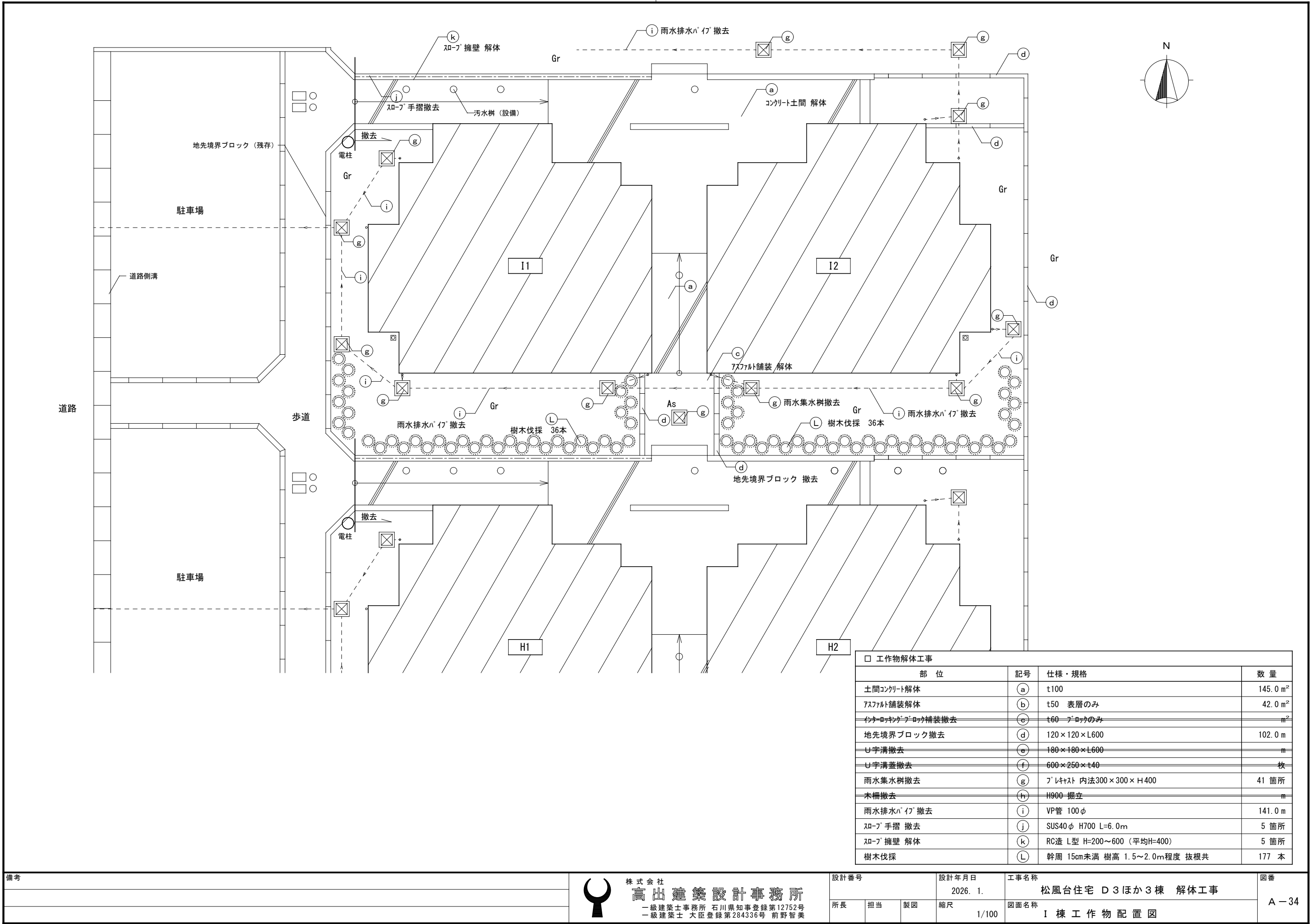
□ 工作物解体工事			
部 位	記号	仕様・規格	数 量
土間コンクリート解体	(a)	t100	145.0 m ²
アスファルト舗装解体	(b)	t50 表層のみ	42.0 m ²
インターロッキングブロック舗装撤去	(c)	t60 ブロックのみ	m ²
地先境界ブロック撤去	(d)	120×120×L600	102.0 m
U字溝撤去	(e)	180×180×L600	m
U字溝蓋撤去	(f)	600×250×t40	枚
雨水集水樹撤去	(g)	ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ 内法300×300×H400	41 箇所
木柵撤去	(h)	H900 掘立	m
雨水排水ﾊﾞｲﾌﾟ撤去	(i)	VP管 100φ	141.0 m
ｽﾛｰﾌﾞ手摺撤去	(j)	SUS40φ H700 L=6.0m	5 箇所
ｽﾛｰﾌﾞ擁壁解体	(k)	RC造 L型 H=200～600 (平均H=400)	5 箇所
樹木伐採	(L)	幹周 15cm未満 樹高 1.5～2.0m程度 抜根共	177 本



□ 工作物解体工事			
部 位	記号	仕様・規格	数 量
土間コンクリート解体	(a)	t100	145.0 m ²
アスファルト舗装解体	(b)	t50 表層のみ	42.0 m ²
インターロッキングブロック舗装撤去	(c)	t60 ブロックのみ	m ²
地先境界ブロック撤去	(d)	120×120×L600	102.0 m
U字溝撤去	(e)	180×180×L600	m
U字溝蓋撤去	(f)	600×250×t40	枚
雨水集水樹撤去	(g)	プラスチック 内法300×300×H400	41 箇所
木柵撤去	(h)	H900 掘立	m
雨水排水パイプ撤去	(i)	VP管 100φ	141.0 m
スロープ手摺撤去	(j)	SUS40φ H700 L=6.0m	5 箇所
スロープ擁壁解体	(k)	RC造 L型 H=200~600 (平均H=400)	5 箇所
樹木伐採	(L)	幹周 15cm未満 樹高 1.5~2.0m程度 抜根共	177 本



□ 工作物解体工事			
部 位	記号	仕様・規格	数 量
土間コンクリート解体	(a)	t100	145.0 m ²
アスファルト舗装解体	(b)	t50 表層のみ	42.0 m ²
インターlockingブロック舗装撤去	(c)	t60 ブロックのみ	m ²
地先境界ブロック撤去	(d)	120×120×L600	102.0 m
U字溝撤去	(e)	180×180×L600	m
U字溝蓋撤去	(f)	600×250×t40	枚
雨水集水樹撤去	(g)	プラスチック 内法300×300×H400	41 箇所
木柵撤去	(h)	H900 掘立	m
雨水排水パイプ撤去	(i)	VP管 100φ	141.0 m
スロープ手摺撤去	(j)	SUS40φ H700 L=6.0m	5 箇所
スロープ擁壁解体	(k)	RC造 L型 H=200~600 (平均H=400)	5 箇所
樹木伐採	(L)	幹周 15cm未満 樹高 1.5~2.0m程度 抜根共	177 本



□ 工作物解体工事			
部 位	記号	仕様・規格	数 量
土間コンクリート解体	(a)	t100	145.0 m ²
アスファルト舗装解体	(b)	t50 表層のみ	42.0 m ²
インターロッキングブロック舗装撤去	(c)	t60 ブロックのみ	m ²
地先境界ブロック撤去	(d)	120×120×L600	102.0 m
U字溝撤去	(e)	180×180×L600	m
U字溝蓋撤去	(f)	600×250×t40	枚
雨水集水樹撤去	(g)	フレキシト 内法300×300×H400	41 箇所
木柵撤去	(h)	H900 掘立	m
雨水排水パイプ撤去	(i)	VP管 100φ	141.0 m
スロープ手摺撤去	(j)	SUS40φ H700 L=6.0m	5 箇所
スロープ擁壁解体	(k)	RC造 L型 H=200~600 (平均H=400)	5 箇所
樹木伐採	(L)	幹周 15cm未満 樹高 1.5~2.0m程度 抜根共	177 本

<div><div>a</div><div>土間コンクリート 解体</div><div><div><div>a</div><div>土間コンクリート 解体</div><div>砕石</div></div></div></div>	<div><div>b</div><div>アスファルト舗装 解体</div><div><div><div>b</div><div>アスファルト舗装 解体</div></div></div></div>	<div><div>c</div><div>インターロッキングブロック 撤去</div><div><div><div>c</div><div>インターロッキングブロック 撤去</div></div></div></div>	<div><div>d</div><div>地先境界ブロック 撤去</div><div><div><div>d</div><div>地先境界ブロック 撤去</div></div></div></div>
<div><div>e</div><div>U字溝撤去</div><div><div>f</div><div>U字溝蓋撤去</div></div></div>	<div><div>g</div><div>集水桝 撤去</div><div><div>i</div><div>雨水排水パイプ 撤去</div></div></div>	<div><div>h</div><div>木柵 撤去</div><div><div><div>h</div><div>木柵 撤去</div><div>木製 75×60</div><div>15×130 4段</div><div>木製 75×60</div><div>1,300</div><div>900</div></div></div></div>	<div><div>j</div><div>スロープ手摺 撤去</div><div><div>k</div><div>スロープ擁壁 解体</div></div></div>
<div><div><div>f</div><div>U字溝蓋 撤去 600×250×t40</div></div><div><div>e</div><div>U字溝180 撤去</div></div></div>	<div><div><div>g</div><div>集水桝 撤去</div></div><div><div>i</div><div>雨水排水パイプ 撤去 V P 管100φ</div></div></div>		<div><div><div>j</div><div>スロープ手摺 (SUS40φ) 撤去</div></div><div><div>k</div><div>スロープ擁壁 (RC造) 解体</div></div></div>

備考

株式会社

高出建築設計事務所

一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号

一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長

担当

製図

設計年月日

2026. 1.

縮尺

1/30

工事名称

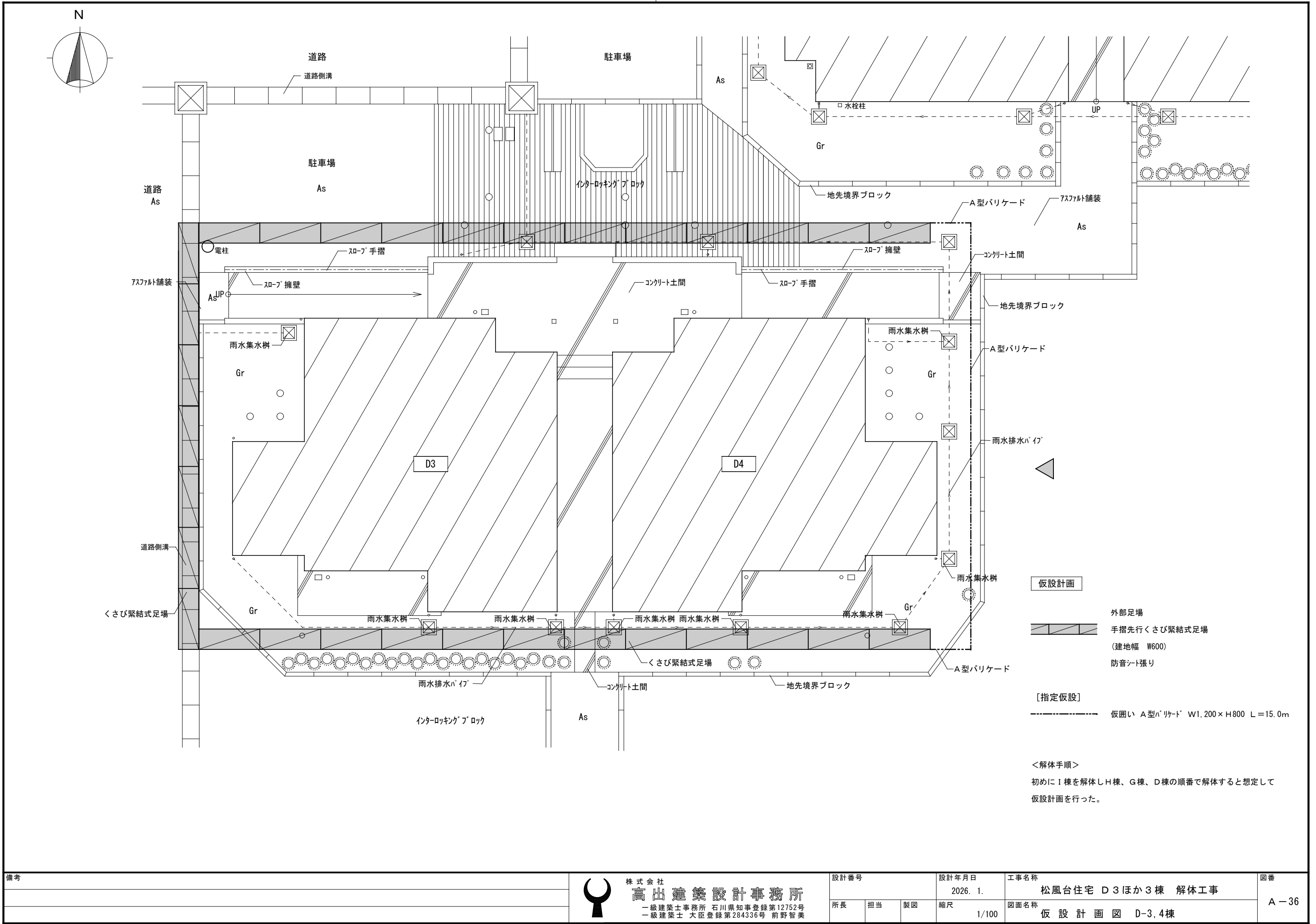
松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

図面名称


工作物詳細図

図番

A - 35

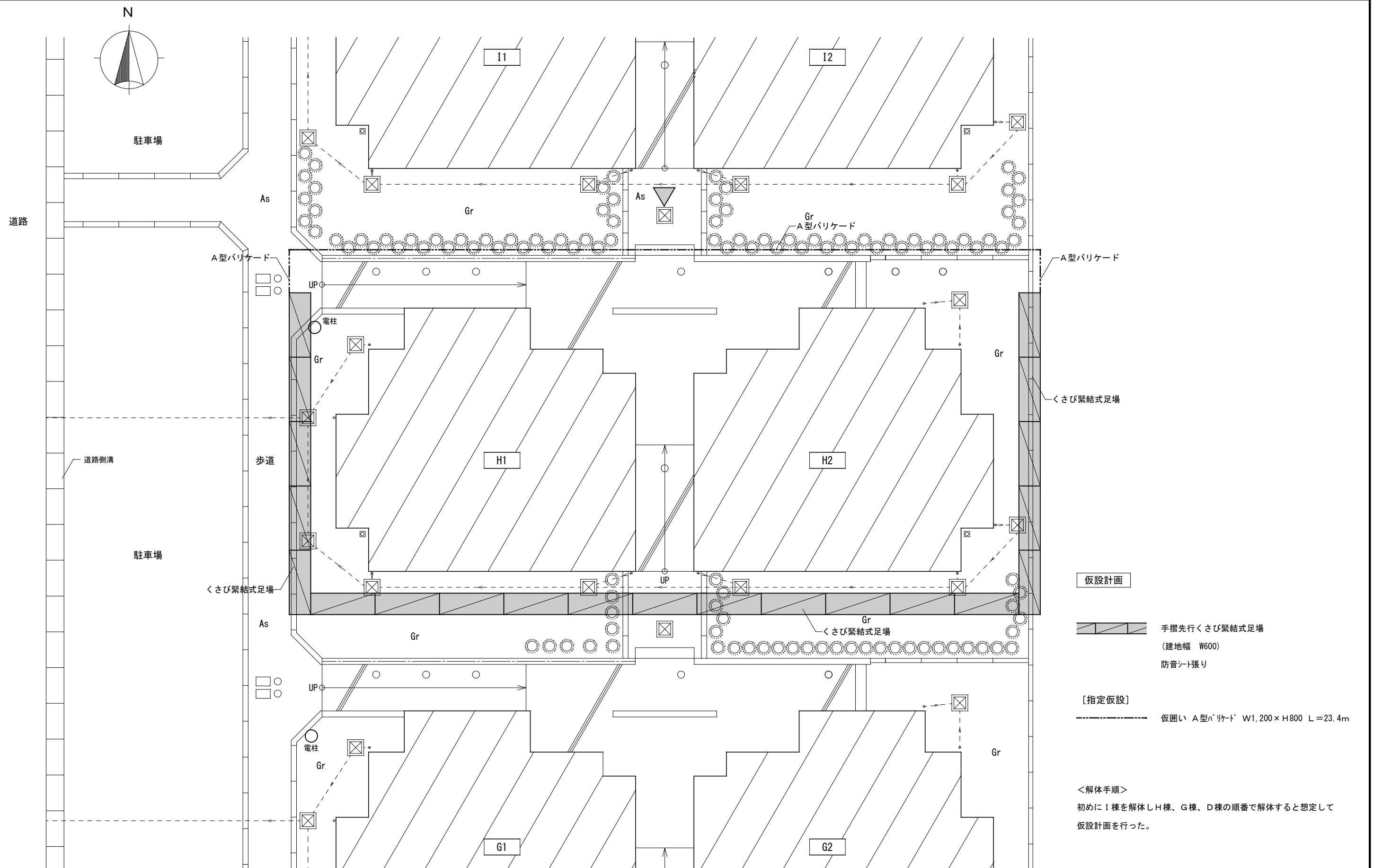


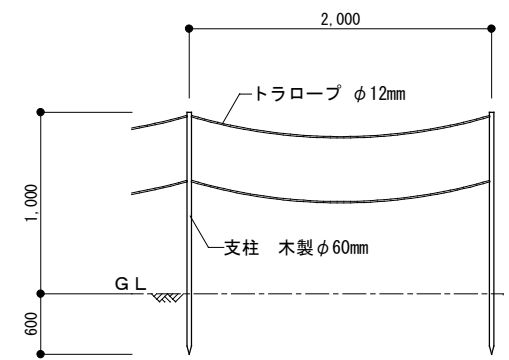
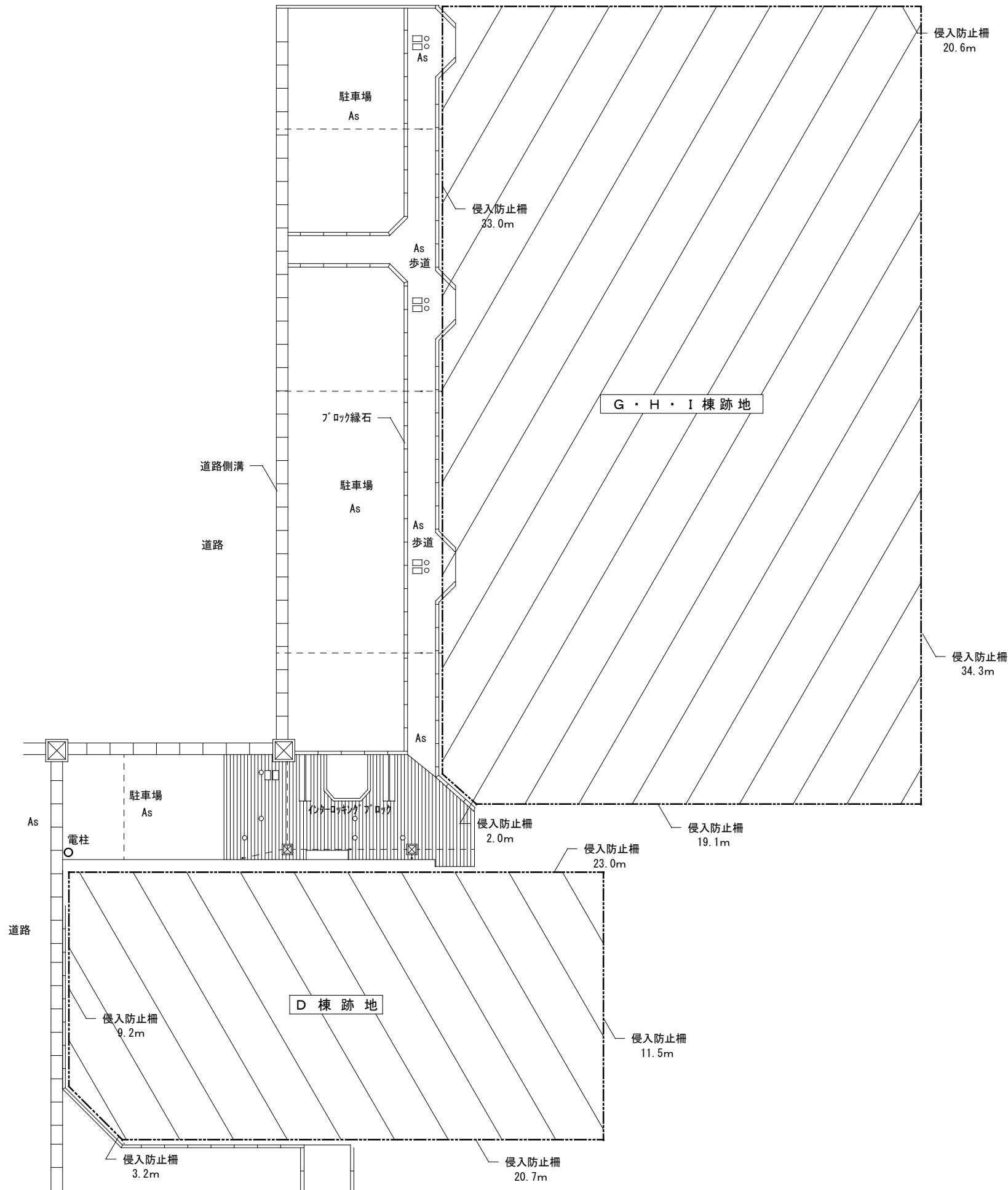
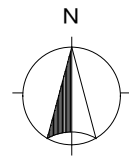
備考



株式会社
高 出 建 築 設 計 事 務 所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号			設計年月日	工事名称	図番
所長			2026. 1.	松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	
担当	製図	縮尺	1/100	図面名称	A-36
				仮設計画図 D-3, 4棟	





侵入防止柵 1/50

G・H・I 棟跡地

場内整地工事 706 m²

・地均し H=200程度

・侵入防止柵 109.0m
木杭 H=1,000mm @2,000
トラロープ 2段張り

D 棟跡地

場内整地工事 262 m²

・地均し H=200程度

・侵入防止柵 67.6m
木杭 H=1,000mm @2,000
トラロープ 2段張り

備考	

株式会社
高 出 建 築 設 計 事 務 所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号			設計年月日 2026. 1.		工事名称 松風台住宅 D 3 ほか 3 棟 解体工事	図面名称 解体 後 配 置 図	図番 A - 38
所長	担当	製図	縮尺 1/200				

●

35 耐震施工

次に示す事項を除き、すべて独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」による。
(2-2.1.13(2)～(4))
1) 機器の設計用標準水平震度及び耐震クラスは図示による。図示がなければ次による。

設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）	
	特定の施設	一般の施設
	・ 耐震クラスS	・ 耐震クラスA
上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >
中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >
一階及び地下階	1. 0（1. 5）	1. 0

注1 設置場所の区分は、機器等を支持する床部分により適用し、天井面（上階床）より支持する機器等は直上階を適用する。
注2 上層階は、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
注3（ ）内の値は水槽類（受水槽、高置水槽、消火関係水槽、オイルタンク等）、< >内の値は防振支持の機器（防振材・防振装置を介して設置される機器）に適用する。
2) 地域係数は1. 0とする。
3) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とし水平地震力と同時に働くものとする。
4) 1kN以下の軽微な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

36 電気工事士

500kW以上の自家用電気工作物においては第一種電気工事士により施工を行うように努める。

37 電線本数・管路等

分電盤、制御盤、端子盤等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は機能をを優先し、図面と多少相違しても差し支えない。ただし、相違する場合は監督員の承諾を受ける。また、機械室の露出配線は、金属管にて施工し、全長にわたって接地線を設ける。

38 名札の義務

請負金額10,000千円以上の元請工事の現場代理人及び主任（監理）技術者は顔写真付き名札を常時着用する。下記の数法等は、参考であり、社員証等に替えることができる。

55mm

10mm

18mm

2mm

13mm

42mm

2mm

30mm

2mm

91mm

〇〇建設株式会社

氏名 △△太郎

発行日 令和 年 月 日

代表者 □□建一

代表印

（顔写真）

カラー写真貼付

39 退職金共済制度

受注者は建設業退職金共済制度に加入し、本工事の掛金収納書を工事請負契約締結後1ヵ月以内に監督員を通じて発注者に提出する。また、現場事務所に適用標識（シール）を掲示する。

40 過積載等の防止

1)積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませない。
2)さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませない。
3)過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長しないようにする。
4)取引関係のあるダンプカー事業車が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずる。
5)建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにする。
6)「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年8月2日法律第131号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進する。
7) 1)から6)につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導する。

41 景観への配慮

本工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく下記の事業であり、景観に配慮した施工に努める。 ・ 重点事業 ・ 一般事業

42 総合評価方式における技術提案

「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく、「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。履行にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議する。

43 電子納品

※ 行う（「電子納品仕様書」による。） ・ 行わない
電子納品仕様書
1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。
ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

名 称
営繕工事電子納品要領（令和3年改定）
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和4年改定）

基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html
2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にＣＤ－Ｒ、ＤＶＤ－Ｒ又はＢＤ－Ｒで1部納品する。
3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。

●

一般共通事項

44 公共事業労務費調査の協力

受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。
① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。
② 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力する。
③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行う。
④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。
受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）

45 事故の補償

内蔵する開閉器 ※ なし（取付板のみ） ・ 配線用遮断器 ・ カットアウトスイッチ
(1.4.2(14))

○

電力設備

2 分電盤等

1) キャビネット材質、仕上げ ・ 鋼板製指定色塗装 ・ 鋼板製溶融亜鉛めっき (1.7.3)
・ ステンレス鋼板製指定色塗装 ・
2) 電力量計 ・ 検定付 ・ 無検定 (1.7.6)

3 電気自動車用充電装置

・ 急速充電装置 ・ 普通充電装置（定格電圧 ・ 100V ・ 200V） (1.14.1)

4 電線の接続

・ 高圧ケーブルの末端処理を行う場合は、被覆の伸縮対策を施す。 (2.1.1)

5 配管引込部

地盤変位への対応 ※ 小規模 ・ 中規模 ・ 大規模 (2.1.13(5))

6 導入線

長さ1m以上の通線しない配管には 1.2mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。 (2.2.9(3))

7 管の埋設深さ

埋設深さは原則として、構内道路、高圧ケーブル、幹線ケーブルは（ ・ 60cm ・ cm）、その他は（ ・ 30cm ・ cm）とする。 (2.12.2)

8 標識シート等

1) 地中配線に標識シート（倍折）を敷設する。 (2.12.4)
2) 埋設標（ ・ コンクリート製 ・ 樹脂製 ・ 鉄製） ・ 要（図示箇所） ・ 不要 (2.12.5)
・ 板状 ・ 垂直 ・ 水平 ・ 環状 ・ 網状 ・ 構造体利用 (2.17.4)

9 雷保護接地極

10 施工の試験

1) 構造体利用等の接地極における接地抵抗測定の時期及び回数（ ） (2.18.2)
2) 一般照明の照度測定を ・ 行う（改修は対象室の改修前後） ・ 行わない (改2.1.1)

○

受変電設備

1 キュービクル式配電盤等

1) キャビネット材質、仕上げ及び電力量計は、電力設備の分電盤等による。 (1.1.3) (1.1.5)
2) 温度上昇性能試験を ・ 行う ※ 行わない (1.9.1)

2 交流遮断器

操作方式 ・ 手動ばね操作方式 ・ 電気操作方式 (1.1.6(1))

3 高圧進相コンデンサ等

1) 進相コンデンサ絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド ・ ガス（SF6を除く） (1.1.6(3))
2) 直列リアクトル絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド (1.1.6(4))

○

電力貯蔵設備

1 交流無停電電源装置

・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式 (2.2.1)
停電補償時間 分 (2.2.7)

2 電力平準化用蓄電装置

1) 機能（電力平準機能、電力補償機能及び放電停止機能）は図示による。 (2.3.1(2))
2) 蓄電池 ※ リチウム二次電池 ・ 鉛蓄電池 ・ (2.3.5(1))
3) 蓄電池の容量、期待寿命、充放電回数及び放電時間は図示による。 (2.3.5(2))

○

発電設備

1 ディーゼル発電装置

運転時間 時間 (1.1.1(5))

2 太陽光発電装置

1) 自立運転を ・ 行う ・ 行わない (1.7.1(3))
2) 太陽電池アレイの公称出力は、図示による。 (1.7.2(2))

3 その他

1) 燃料油の種類及び配管等材料は、図示による。 (1.1.7.1) (1.1.8)
2) 系統連系を ・ する ・ しない (1.4.1(α))等

○

通信・情報設備

1 端子盤等

キャビネット材質及び仕上げは、電力設備の分電盤等による。 (1.4.2)

2 機器仕様

詳細機器仕様は、図示による。 (1.5.1)等

3 標識シート等

標識シート等は、電力設備の標識シート等による。 (2.11.3) (2.11.4)

4 テレビ共同受信設備

受信調査を ・ 行う（ ・ チャンネル） ・ 行わない (2.19.3)

○

中央監視制御設備

1 警報盤

信号の伝送方式は、図示による。 (1.2.1)

2 記録装置

印字方式は、図示による。 (1.4.4)

○

その他

1 接地極

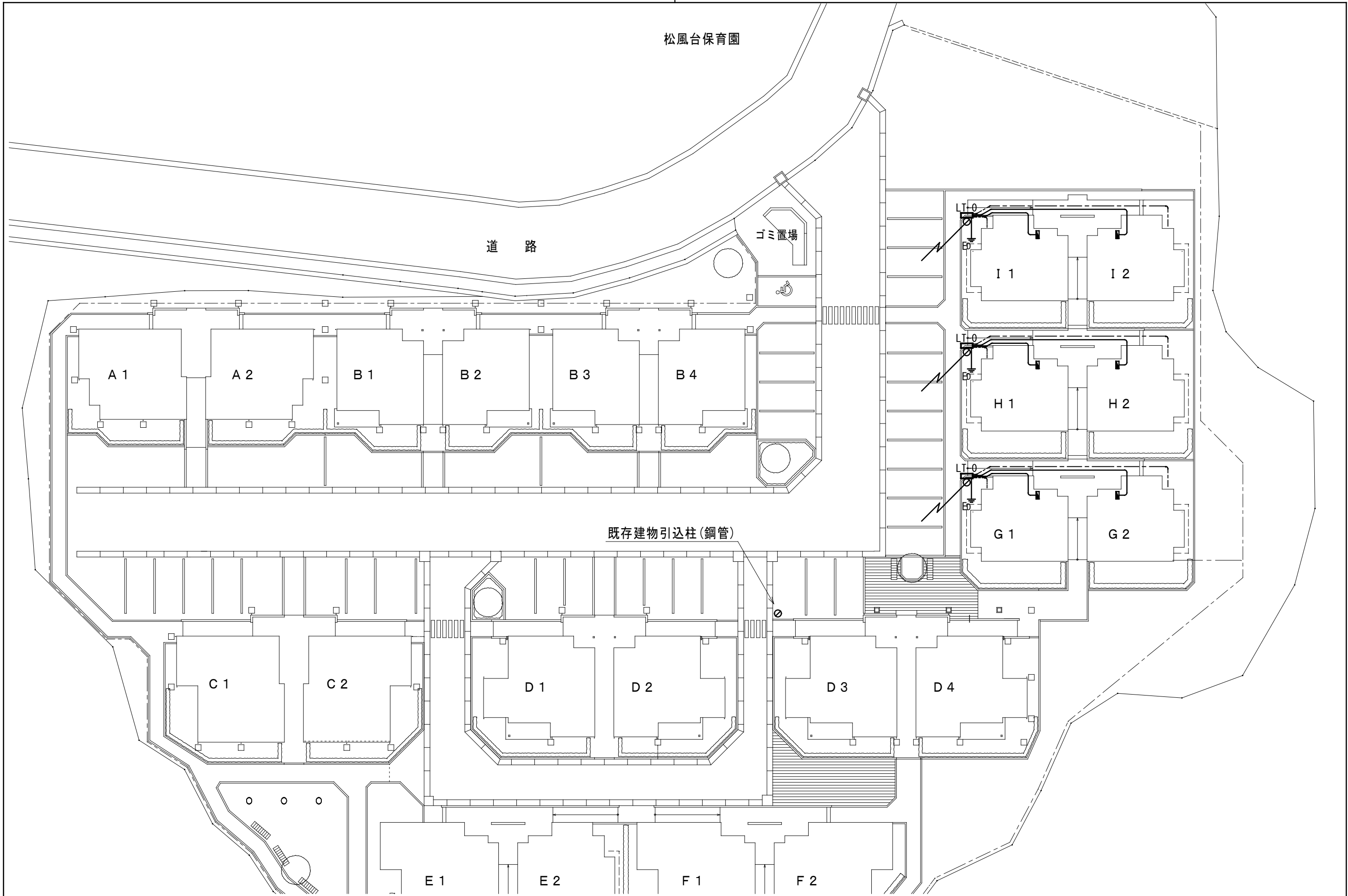
接地極の材料は下記による。なお接地棒EB(14φ)の長さは 1,500mm以上とし、10φは、W＝30 L＝900mm以上、14φはW＝40 L＝1,200mm以上 としてもよい。


接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
・ 共同接地	E _A E _B E _C E _D	Ω以下	・ E _B (14φ) × 3連一組 ・ E _P －900 × 1
・ 共同接地	E _A E _C E _D	Ω以下	・ E _B (14φ) × 3連一組 ・ E _P －900 × 1
・ A種	E _A	10 Ω以下	・ E _B (14φ) × 3連一組 ・ E _P －900 × 1
・ B種	E _B	Ω以下	・ E _B (14φ) × 3連一組 ・ E _P －900 × 1
・ C種	E _C	10 Ω以下	・ E _B (14φ) × 3連一組 ・ E _P －900 × 1
・ D種	E _D	100 Ω以下	E _B (10φ) × 1（L＝1,000mm）
・ D種 ELCB用	E _D E _{LCB}	100 Ω以下	E _B (10φ) × 1（L＝1,000mm）
・ 高圧避雷器	E _{LH}	10 Ω以下	・ E _B (14φ) × 3連一組 ・ E _P －900 × 1
・ 低圧避雷器	E _{LL}	10 Ω以下	・ E _B (14φ) × 3連一組 ・ E _P －900 × 1
・ 雷保護設備	E _L	50 Ω以下	・ E _B (14φ) × 2連一組 ・ E _P －600 × 2
・ 構造体接地			
・ 交換機用	E _t	Ω以下	E _B (14φ) × 3連一組
・ 通信用	E _{At}	10 Ω以下	・ E _B (14φ) × 3連一組 ・ E _P －900 × 1
・ 通信用	E _{Dt} E _{Da}	100 Ω以下	E _B (10φ) × 1（L＝1,000mm）
・ 測定用	E _o		E _B (10φ) × 1（L＝1,000mm）

（別表－1）他工事との取り扱い

工 事 内 容		電気	機械	建築	備 考
開	はり、床、壁の貫通部（RC造）	補 強 筋			● 建築図面に図示
		スリーブ、仮枠、穴埋共	●		S造は建築
	口	埋込形分電盤、端子盤、ブルボックス	補 強 筋		
仮 枠			●		
部	天井、壁ボード類の軽量鉄骨下地補強（埋込形照明器具用）	下 地 補 強			● 建築図面に図示
		ボ ー ド 類 切 込 み	●		
軽量鉄骨へのボックス取付金具及びその取付		●			
既成間仕切りへの位置ボックス及びその取付				●	
発電機、配電盤及び制御盤等の基礎				●	建築図面に図示
避雷針、TVアンテナの屋上コンクリート基礎（自立型の場合）				●	建築図面に図示
配管ビット及びふた				●	
床、壁、天井の点検口				●	建築図面に図示
自動扉、電動シャッター、防火ドア等制御盤の一次側配管配線		●			※1
実験台付属コンセント等への配管配線及び配線接続（直接接続のみ）		●			
機械設備機器付属の制御盤への電源供給の配管配線		●			一次側
機械設備機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）			●		二次側
制御盤と動力盤間の電源供給及び操作回路の渡り配管配線		●			
機械設備機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線		●			天吊FCU、換気扇等
※1 二次側配線、配管及びシャッター、防火ドア、自動扉は建築工事					

工事名	松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	番号	E－02
図面名	工事仕様書（電気設備）	2／3	縮尺
設 計	輪島市 建設部 まちづくり推進課		



備考	<div><div></div><div>株式会社 高出建築設計事務所 一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号 一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美</div></div>	設計番号			設計年月日 2026. 1	工事名称 松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	図番 E-04
		所長	担当	製図	縮尺 1/300	図面名称 電気設備 全体配置図	

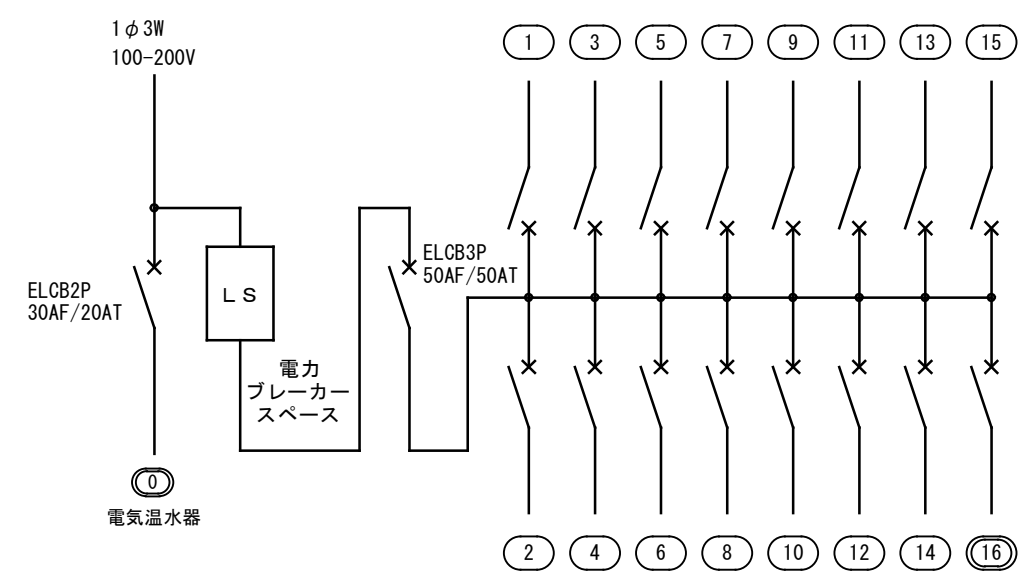
撤去機器表

器具名		1階										2階			D棟	
		ホーチ	玄関	便所	ホール	脱衣	DK	8帖	サニールム	テラス	屋外	階段	6帖	6帖	D3	D4
蛍光灯	FL20W×1 露出形	1					1								2	2
蛍光灯	FL40W×1 露出形								1						1	1
蛍光灯・白熱灯	直付		1			1	2								4	4
蛍光灯・白熱灯	ペンダント							1							1	1
蛍光灯・白熱灯	ダウンライト			1	2							1			4	4
蛍光灯・白熱灯	壁付											2			2	2
ガーデンライト	1灯形										1				1	1
インターフォン		1					1								2	2
コンセント	壁埋込形			1	1	2	7	2	1	1		1	3	3	22	22
ホーム分電盤							1								1	1
WHM											1				1	1

撤去機器表

器具名												G棟		H棟		I棟	
		玄関	廊下	便所	洗面	DK	和室	サニールム	屋外			G1	G2	H1	H2	I1	I2
蛍光灯	FL20W×1 露出形					1			1			2	2	2	2	2	2
蛍光灯	FL40W×1 露出形							1				1	1	1	1	1	1
蛍光灯・白熱灯	直付	1			1	1						3	3	3	3	3	3
蛍光灯・白熱灯	ペンダント																
蛍光灯・白熱灯	ダウンライト		2	1								3	3	3	3	3	3
蛍光灯・白熱灯	壁付																
インターフォン						1			1			2	2	2	2	2	2
コンセント	壁埋込形		2	1	3	8	3	1	1			19	19	19	19	19	19
ホーム分電盤		1										1	1	1	1	1	1
WHM									1			1	1	1	1	1	1

分電盤接続図

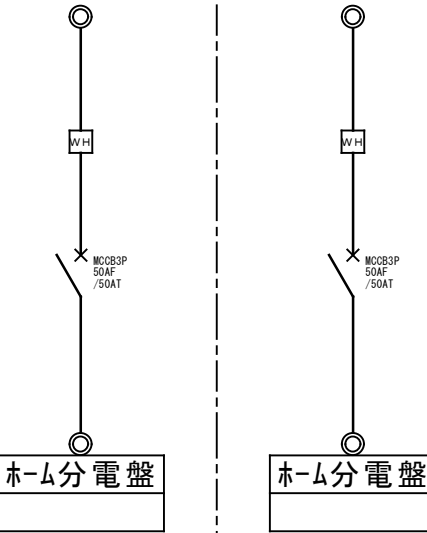


- 注記
- 1) 主幹ブレーカーは中性線欠相保護付漏電ブレーカーとする。
 - 2) 本体カバーは自己消火性を有する。
 - 3) プラスチックカバー付とする。

記号	負荷名称	ブレーカー	備考	記号	負荷名称	ブレーカー	備考
①	電気温水器	ELCB3P50AF/40AT	200V	②	コンセント1	SB2P2E20A	
③	照明・換気扇	SB2P2E20A		④	便所	SB2P2E20A	
⑤	電子レンジ(食器棚)	SB2P2E20A		⑥	電気釜等(食器棚)	SB2P2E20A	
⑦	洗濯機・乾燥機	SB2P2E20A		⑧	24H換気扇・冷蔵庫	SB2P2E20A	
⑨	洗面化粧台	SB2P2E20A		⑩	非常警報装置	SB2P2E20A	
⑪	エアコン	SB2P2E20A		⑫	エアコン	SB2P2E20A	
⑬	予備、(3DK 2Fエアコン)	SB2P2E20A		⑭	予備、(3DK 2Fエアコン)	SB2P2E20A	
⑮	外部	SB2P2E20A		⑯	クッキングヒーター	SB2P2E30A	200V

LT-0

1φ3W 200/100V




注 記
面体は壁掛型SUS製防水型とし、F33シール付塗装とする。
電力メーターは北陸電力支給品とする。

電話
5P保安器スペース
×2

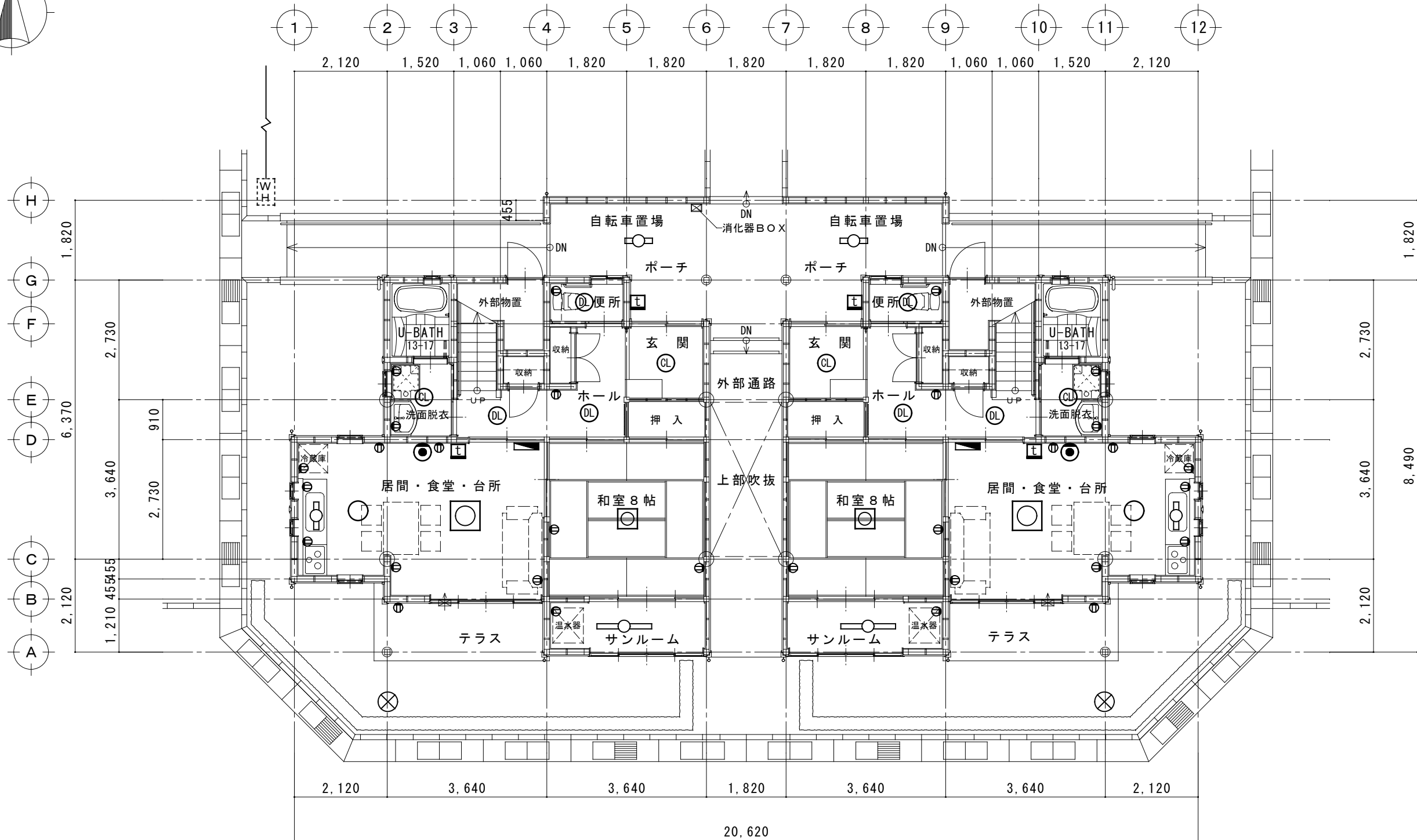
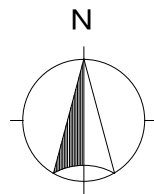
テレビ共聴
保安器スペース
×2

備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号			設計年月日 2026. 1	工事名称 松風台住宅 D 3 ほか 3 棟 解体工事	図番 E — 06
所長	担当	製図	縮尺 1/100	図面名称 電気設備 盤結線図	



〈 D3 〉 1 階平面図 S=1/100

〈 D4 〉 1 階平面図 S=1/100

備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長

担当

製図

設計年月日

2026.1

縮尺

1/100

工事名称

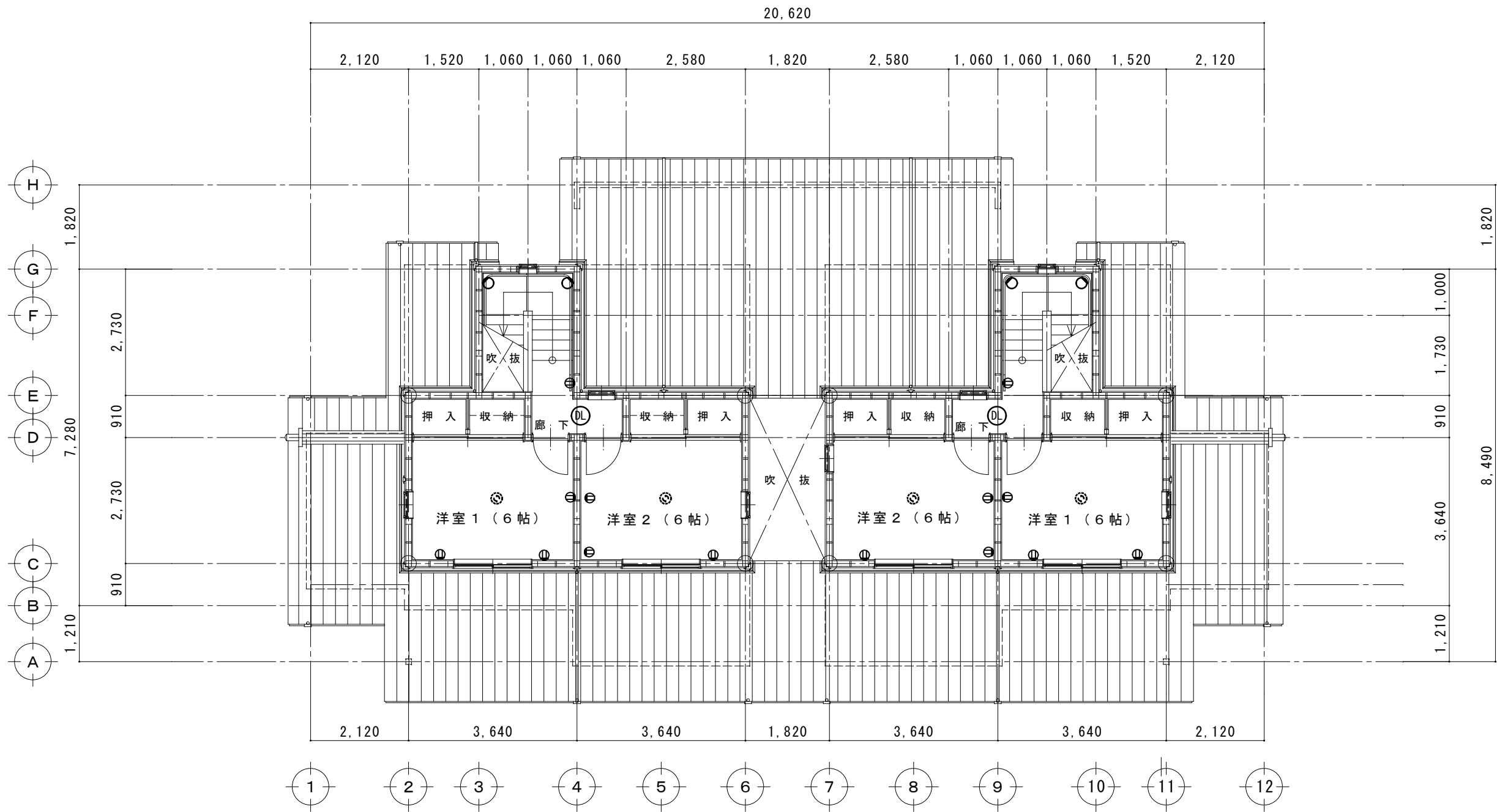
松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

図面名称

電気設備 1階平面図 [D棟]

図番

E-07



〈 D3 〉 2階平面図 S=1/100

〈 D4 〉 2階平面図 S=1/100

備考



株式会社

高出建築設計事務所

一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

設計年月日

2026.1

工事名称

松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

図番

E-08

所長

担当

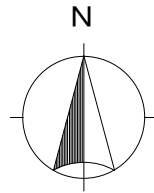
製図

縮尺

1/100

図面名称

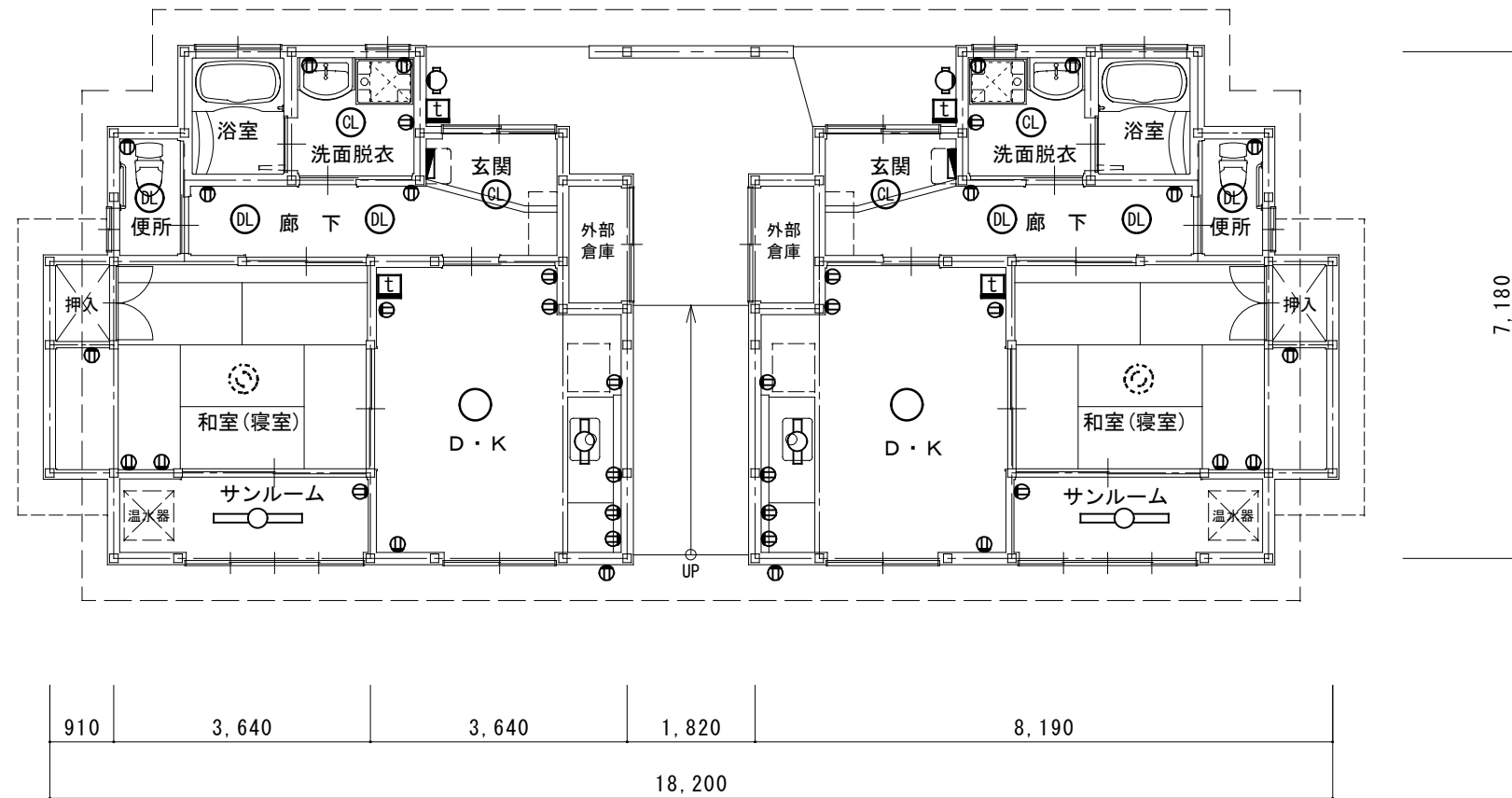
電気設備 2階平面図 [D棟]



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
8,190						1,820			8,190					
910	1,000	1,520	1,820	2,030	910									

G
F
E
D
C
B
A

7,180	1,150
1,820	
3,000	
1,210	



〈 GHI-1 〉 1 階平面図 S=1/100

〈 GHI-2 〉 1 階平面図 S=1/100

工 事 仕 様 書 (機械設備)

I. 工事概要

1. 工事名称 松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

2. 工事場所 輪島市門前町道下 地内

3. 完 成 期 日 令和 年 月 日 (余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。)
- | | | | | |
|------|-----|----------------------|--------|------------|
| 指定部分 | ・ 無 | ・ 有 (指定期日: 令和 年 月 日) | 対象部分 (|) |
| 概成工期 | ・ 無 | ・ 有 (令和 年 月 日) | | (1.2.1(6)) |

- #### 4. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備 考
住宅 D3,D4	木造	2 階建(地階 階、塔屋 階)	189.24		
住宅 G1,G2	木造	1	99.72		
住宅 H1,H2	木造	1	99.72		
住宅 I1,I2	木造	1	99.72		

- ## 5. 別契約の関連工事

- 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 給排水衛生設備工事 ・ 空調調和設備工事 ・ 構内交換設備工事
昇降機設備工事 ・ 自家発電設備工事 ・ 厨房機器設備工事 ・ 屋外付帯工事 ・ 植栽工事

6. 工 事 内 容
 本工事は住宅棟解体工事に伴う機械設備解体工事を行う

II. 工事仕様

1. 一般仕様

- 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- 2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

章は●印の付いたものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項																				
一般	8 事前調査	石綿含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所） ・ 行わない（改1.5.2）																				
	9 養生	1) 既存部分の養生範囲は、図示による。（改3.1.1） 2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。（改3.2.1）																				
	10 撤去等	1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ・ 冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油（改4.1.1(3)） 2) 石綿の撤去は、図示による。（改4.1.2(4)） 3) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。（改4.2.4）																				
	11 環境への配慮	1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。（1.4.1(1)） ・ 吸収冷温水機 ・ 永蓄熱式空調機器 ・ 送風機 ・ ポンプ ・ ガスエンジンヒートポンプ式空調和機 ・ 下塗用塗料（重防食） ・ 大便器 ・ 自動洗浄装置及びその組込み小便器 ・ 自動水栓 2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。（1.4.1(2)） ① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用																				
	12 機材の品質等	1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。（1.4.2(1)） ただし、仮設に使用する機材は新品に限らない。 2) 機器類の能力、容量等は図示された数値以上とする。 3) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として図示された数値以下とする。 4) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。																				
		<table><tr><th colspan="4">機 材 名 称</th></tr><tr><td>ボイラー</td><td>空気調和機</td><td>ポンプ類</td><td>タンク</td></tr><tr><td>温水発生機</td><td>空気清浄装置</td><td>ダクト付属品</td><td>消火装置</td></tr><tr><td>冷凍機</td><td>全熱交換器</td><td>自動制御</td><td>厨房機器</td></tr><tr><td>冷却塔</td><td>送風機類</td><td>衛生器具ユニット</td><td>鉄製ふた</td></tr></table>	機 材 名 称				ボイラー	空気調和機	ポンプ類	タンク	温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置	冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器	冷却塔	送風機類	衛生器具ユニット	鉄製ふた
	機 材 名 称																					
	ボイラー	空気調和機	ポンプ類	タンク																		
	温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置																		
	冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器																		
	冷却塔	送風機類	衛生器具ユニット	鉄製ふた																		
	13 一級技能士の適用	・ 配管（建築配管） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）（1.5.2(1)) ・ 熱絶縁施工（保温保冷水工） ・ 厨房設備施工（厨房機器据付け及び整備） ・ 冷凍空気調和機器施工（冷凍機、パッケージ形空気調和機据付け、整備及び冷媒配管）																				
14 工事の創意工夫等	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。（1.5.7）																					
15 化学物質の濃度測定	建築物の室内空气中の濃度測定を ・ 行う ・ 行わない（1.5.8） 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。																					
16 中間検査	中間検査の実施 ○ 無 ・ 有（時期 ・ 天井地下地了時 ・ ）（1.6.2）																					
17 完成図	原因及び製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）提出する。（1.7.2）																					
18 保全に関する資料	保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。（1.7.3） ①建築物等の利用に関する説明書※ ②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも） ③機器性能試験成績書（総合試運転調整報告書とも） ④官公署届出書類 ※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き 手引きのダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.htm																					
19 足場類	内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。（改2.2.1）																					
20 工事用水等	○ 既存施設に量水器等を設けて使用できる（有償） ・ 水道局引込み等（改2.2.2）																					
21 仮設間仕切・扉	設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。（改2.2.3）																					
● 共通事項	1 総合試運転調整	下記の項目の測定報告書（測定箇所は監督員の指示による）を提出する。（1.3.3） ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 振動の測定 ・ 飲料水の水質測定（・ 11項目 箇所 ・ 16項目 箇所） ・ 雑用水の水質測定（建築物環境衛生管理基準による。）																				

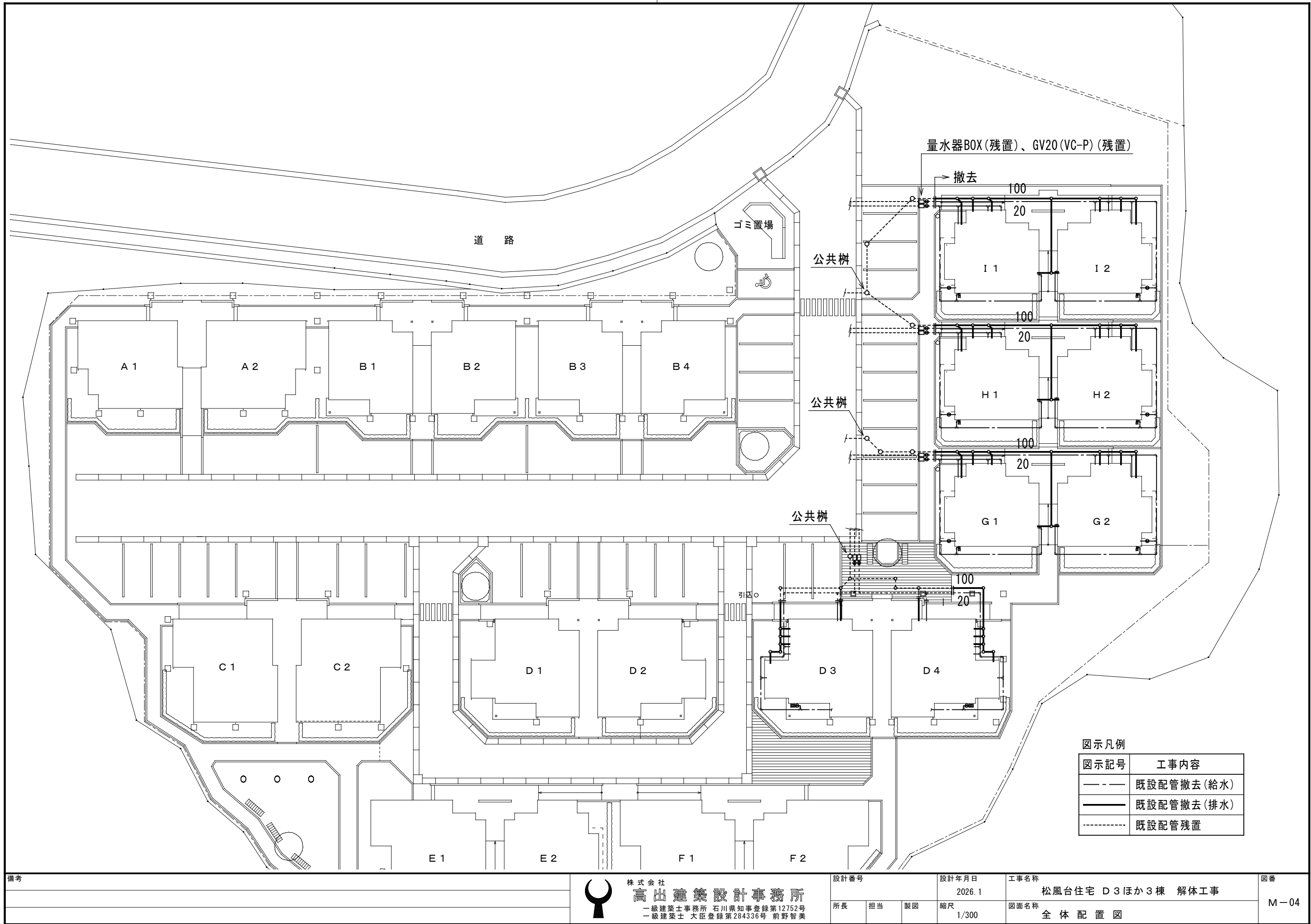
章	項 目	特 記 事 項
●	2 配管等	1) 仕切弁はJIS又はJV（・ 5K ・ 10K（水道直結等の図示部分））とする。（2.2.1） 2) 絶縁継手の取付け箇所は、図示による。（2.2.12） 3) 建物導入部の変位吸収方法は次による。ただし、排水及び通気配管を除く。（2.4.1(3)） 標準図（・ (a)フレキシブルジョイント ・ (b) ・ (c) ）による。（2.5.7(1)） 4) 呼び径60Su以下のステンレス鋼管は、（・ プレス ・ 拡管 ・ ）接合とする。 5) ポリエチレン管の接合方法は、（・ 電気融着 ・ メカニカル）とする。（2.5.10(2)） 6) 溶接部の非破壊検査を ・ 行う ・ 行わない（2.5.15.12(9)） 7) 地中埋設標の設置箇所は、図示による。 8) 埋設表示用テープ（倍折）を土被り150mm程度の深さに埋設する。（2.7.1(9)） 9) 埋設深さは、図示が無い場合、車両道路（・ 60cm ・ ）、（2.7.2） その他（・ 30cm ・ ）以上とする。
	3 防凍保温	屋外露出部（給水管、消火管、膨張管、冷温水管、弁類を含む）は 防凍保温を行い、保温材の厚さは配管の呼び径25mm以下のものは50mm以上、それ以外は40mm以上とする。（3.1.6）
	4 塗装	下記の亜鉛めっきを施した露出ダクト及び露出配管は、塗装を行わない。（3.2.1.1） ・ 機械室（エレベーター機械室） ・ 電気室（自家発電室） ・ 倉庫 ・
	5 吊り及び支持金物の防錆	多湿トレンチ内等の吊り金物、支持金物類は溶融亜鉛めっき処理又はステンレス鋼製とする。（3.2.2.1）
	6 監督員事務所等	1) 監督員事務所を ※ 設けない ・ 設ける〔 ・ 1号（10㎡程度） ・ 2号（20㎡程度）〕 2) 監督員事務所に設ける備品等（4.1.1(4)） ・ 保護帽 ・ 墜落防止用器具 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子 ・ 懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計 ・ ・
	7 快適トイレ （快適トイレ実施要領に基づく）	3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1部、A3縮小 2部）し、監督員事務所等に置く。 ・ 快適トイレを設置する ・ 快適トイレを設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。
	8 工事現場の表示板	工事現場には、下記表示板を設置する。（記入例）（4.1.1(9)） <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>上段の地色は白色 文字は青色</p> <p>下段の地色は青色 文字は白色</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>工 事 名</p> <p>工 期 自 年 月 日 至 年 月 日</p> <p>発注者 輪島市 建設部 まちづくり推進課</p> <p>設 計 （建築・設備委託業者名を記入）</p> <p>監 理 （建築・設備委託業者名を記入）</p> <p>施 工 建 築 （施工業者名を記入）</p> <p>電 気 （施工業者名を記入）</p> <p>機 械 （施工業者名を記入）</p> <p>この工事は、週休2日に取り組んでいます</p> </div> <div style="margin-left: 10px; text-align: right;"> <p>60cm ～75cm</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">90cm</p>
	通	設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。
	9 埋め戻し土	※ 根切り土の中の良質土（ただし、管の周囲は山砂） ・ 山砂（4.2.1(4)）
	10 建設発生土の処理	・ 現場内で処理（4.2.1(4)） ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出適正処理（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。） ※ 指定（想定）搬出先 受入場所： 受入時間帯： 時 分～ 時 分 仮置き等：
事	11 はつり	1) 放射線透過検査を ・ 行う ※ 行わない（但し、鉄筋探索は行う。）（改4.1.2） 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。（改4.1.3） 3) 既設基礎の解体、撤去後の床補修は、図示による。（改4.1.5）
	12 あと施工アンカー	1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。（改5.2.1） 2) 施工後確認試験（引張試験）を ・ 行う（ 箇所） ・ 行わない（改5.2.3）
	13 県内産材料	石川県建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。
	14 材料検査	請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・ 熱源機器 ・ 空調機器 ・ ポンプ類 ・ ダクト及び付属品 ・ 衛生器具 ・ タンク類 ・ 消火機器 ・ 合併処理槽 ・ 厨房機器 ・
	15 工事写真等の記録	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和3年改定）」による。

最終改訂 R 7. 1 0. 1

工事名 松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	番号 M-01
図面名 工事仕様書（機械設備） 3枚組	縮尺 _____
設 計 輪島市 建設部 まちづくり推進課	

章 項 目 特 記 事 項			章 項 目 特 記 事 項		
○ そ の 他	1 いしかわ週休 2 日工事	工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 （１）当初設計において、週単位の週休2日にかかる補正係数を乗じている。 （２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （３）受注者は、現場着手前に休日取得〔計画〕表を作成し、監督員に提出・共有すること。 （４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （５）受注者は、工期最終日までに、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。 （６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休2日に満たない場合は、月単位の週休2日（４週8休相当）の補正に減額するものとし、月単位の週休2日（４週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。			
	2 余裕期間制度 試行工事	1）適用 ・ 対象 ※ 対象外 2）余裕期間制度対象工事の内容 （１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。 （２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 （３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 （４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 （５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 （６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 （７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。 （８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 （９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 （１０）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 （着工日の期限） 契約締結日から起算して○ヶ月以内			
	3 イメージアップ 看板	・ 設置する ・ 設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする） 【参考図】 <div><div><div>野立型（大） H1400×W1100</div><div><div>未来への扉 「石川をつくる」</div><div><div>未来への扉「石川をつくる」 みんなでつくろう石川</div></div></div></div><div><div>野立型（小） H1400×W550</div><div><div>未来への扉 「石川をつくる」</div><div><div>みんなで つくろう 石川</div></div></div></div><div><div>壁掛型 H750×W900</div><div><div>未来への扉「石川をつくる」 みんなでつくろう石川</div></div></div><div>（注）看板のデザインは監督員に確認すること</div></div>			
	4 情報共有 システム	石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html ・ 利用する（発注者指定型） ※ 現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）			

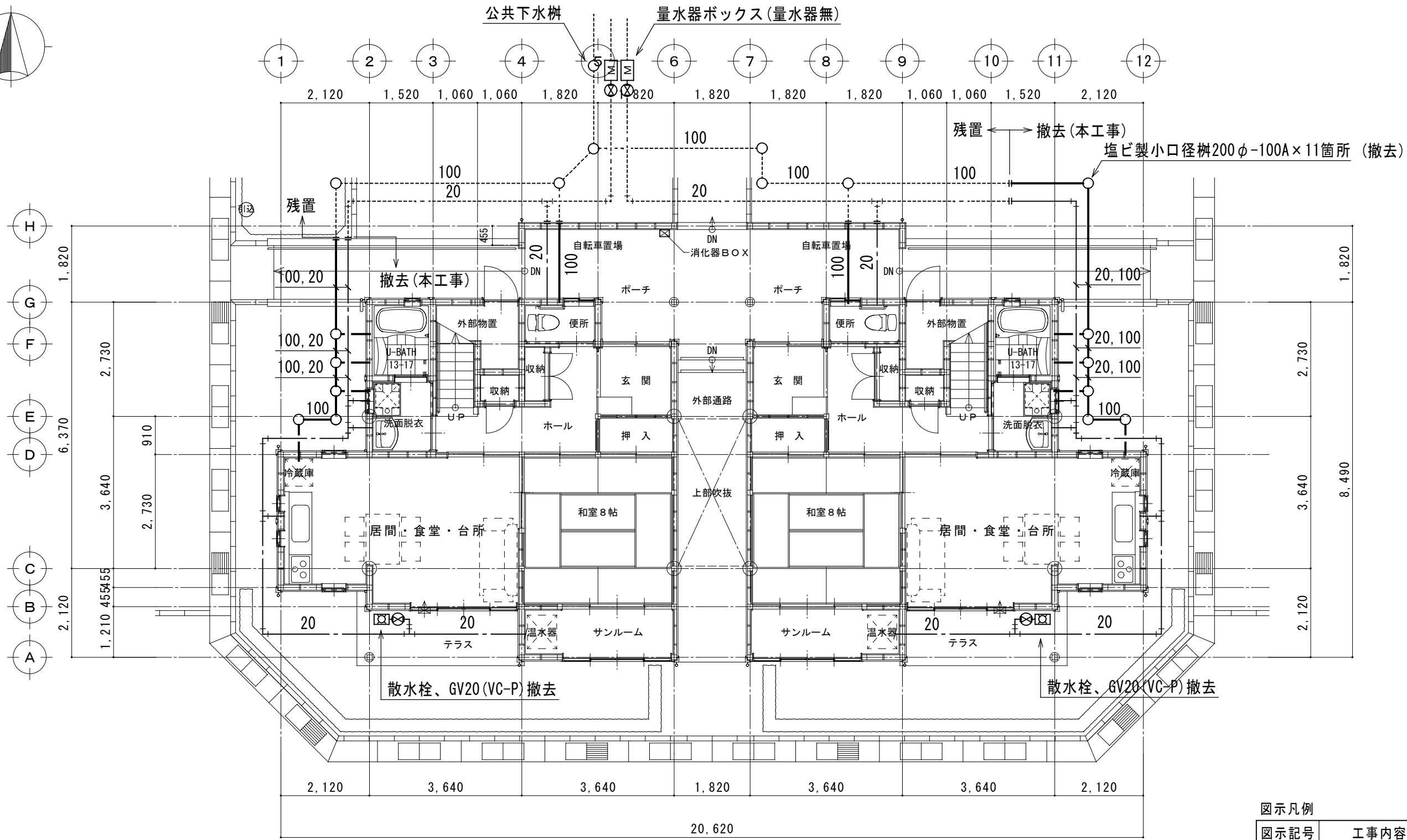
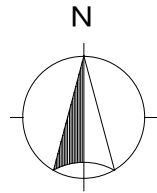
工事名	松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事	番号	M-03
図面名	工事仕様書（機械設備）3 / 3	縮尺	_____
設 計	輪島市 建設部 まちづくり推進課		



図示凡例	
図示記号	工事内容
---	既設配管撤去(給水)
---	既設配管撤去(排水)
---	既設配管残置

撤去機器表

室 名	機器名称	仕 様・規 格	D 棟		G 棟		H 棟		I 棟		計
			D3	D4	G1	G2	H1	H2	I1	I2	
便所	洋風便器	CS350BR ロータンク 温水洗浄便座	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	紙巻器付手すり	YHB61FLA	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	タオル掛け	450L	1	1	1	1	1	1	1	1	8
台所	混合水栓	TKJ30U3R	1	1	1	1	1	1	1	1	8
洗面脱衣	洗面化粧台	750幅 BL認定型	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	タオル掛け	450L	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	洗濯用水栓	TW11R	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	洗濯機パン	PWP600N	1	1	1	1	1	1	1	1	8
浴室	ユニットバス	【建築工事】	1	1	1	1	1	1	1	1	8
サンルーム	電気温水器	370L	1	1	1	1	1	1	1	1	8
テラス	散水栓	BOX共	1	1							2
屋外	水栓柱	水栓共			1	1	1	1	1	1	6
RAC-22	ルームエアコン	壁掛形			1						1
		冷房能力：2.8kW 暖房能力：3.6kW									
		室外機架台 冷媒管、ドレン管共									
EF-1	天井埋込形換気扇	100φ×80m3/h VC100φ	1	1	1	1	1	1	1	1	8
EF-2	天井埋込形換気扇	100φ×80m3/h VC100φ	1	1	1	1	1	1	1	1	8
EF-3	天井埋込形換気扇	100φ×80m3/h VC100φ	1	1	1	1	1	1	1	1	8
EF-4	天井埋込形換気扇	150φ×200m3/h VC150φ	1	1	1	1	1	1	1	1	8
EF-5	天井埋込形換気扇	100φ×80m3/h VC100φ	2	2	1	1	1	1	1	1	10



〈 D3 〉 1 階平面図 S=1/100

〈 D4 〉 1 階平面図 S=1/100

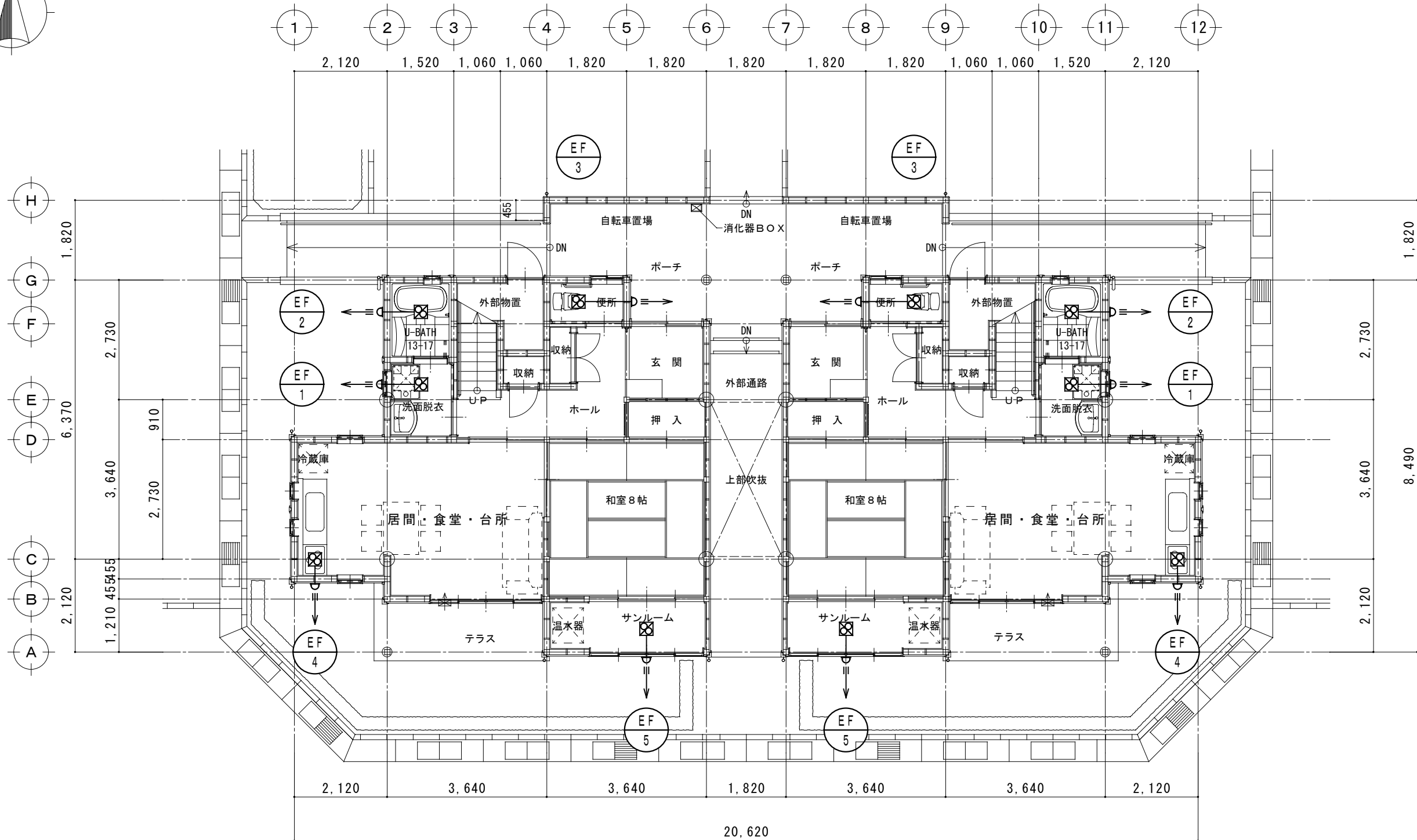
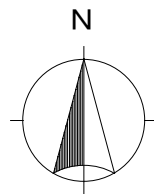
図示凡例

図示記号	工事内容
---	既設配管撤去(給水)
—	既設配管撤去(排水)
.....	既設配管残置

備考

株式会社
高田建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号	設計年月日	工事名称	図番
	2026.1	松風台住宅 D3 ほか3棟 解体工事	M-06
所長	担当	製図	縮尺
			1/100
		図面名称	
		給排水衛生設備 1階平面図[撤去図] D棟	



〈 D3 〉 1 階平面図 S=1/100

〈 D4 〉 1 階平面図 S=1/100

備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長

担当

製図

設計年月日

2026.1

縮尺

1/100

工事名称

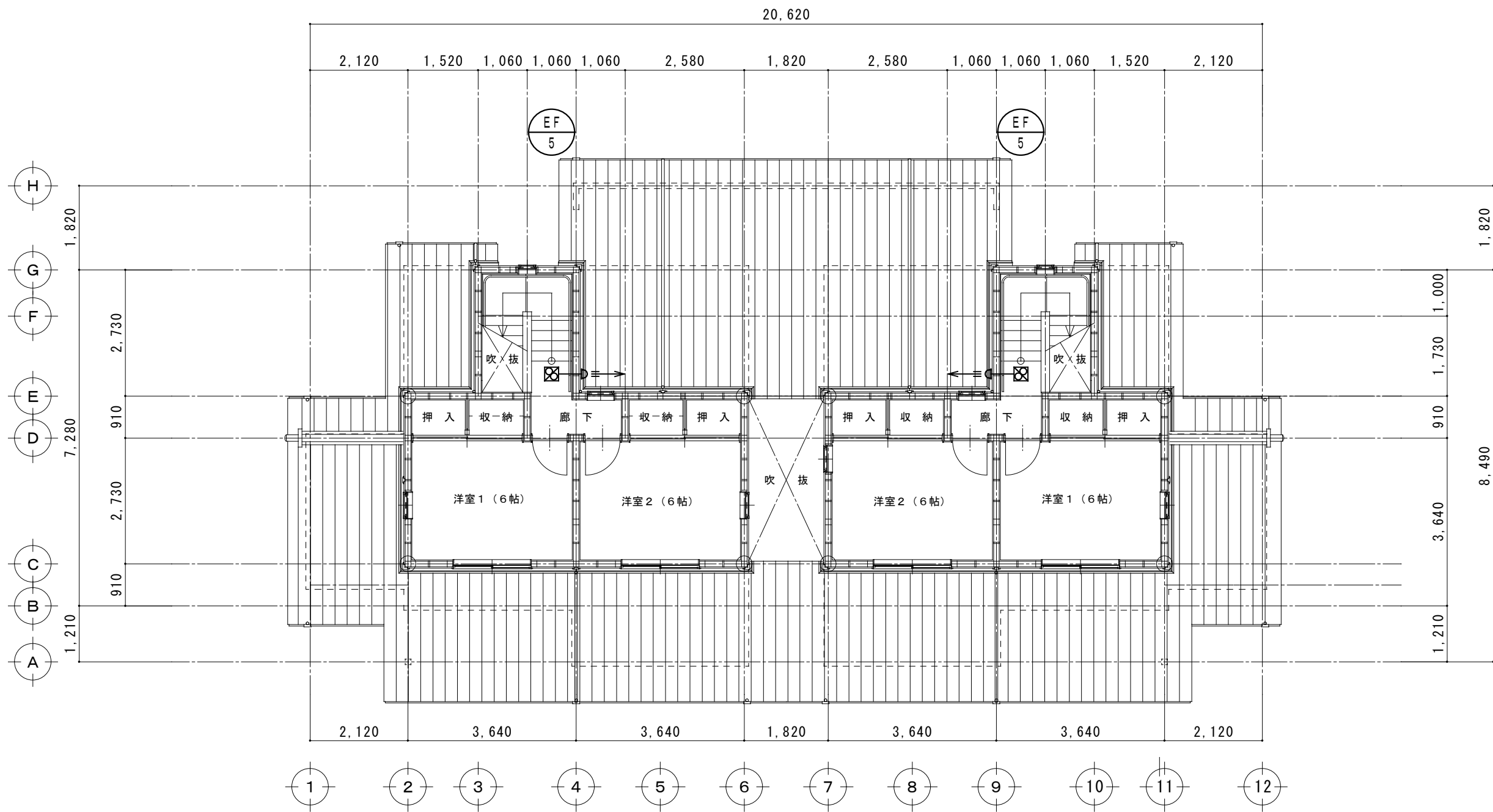
松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

図面名称

換気設備 1階平面図 [撤去図] D棟

図番

M-07



〈 D3 〉 2階平面図 S=1/100

〈 D4 〉 2階平面図 S=1/100

備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長

担当

製図

設計年月日
2026.1

縮尺
1/100

工事名称

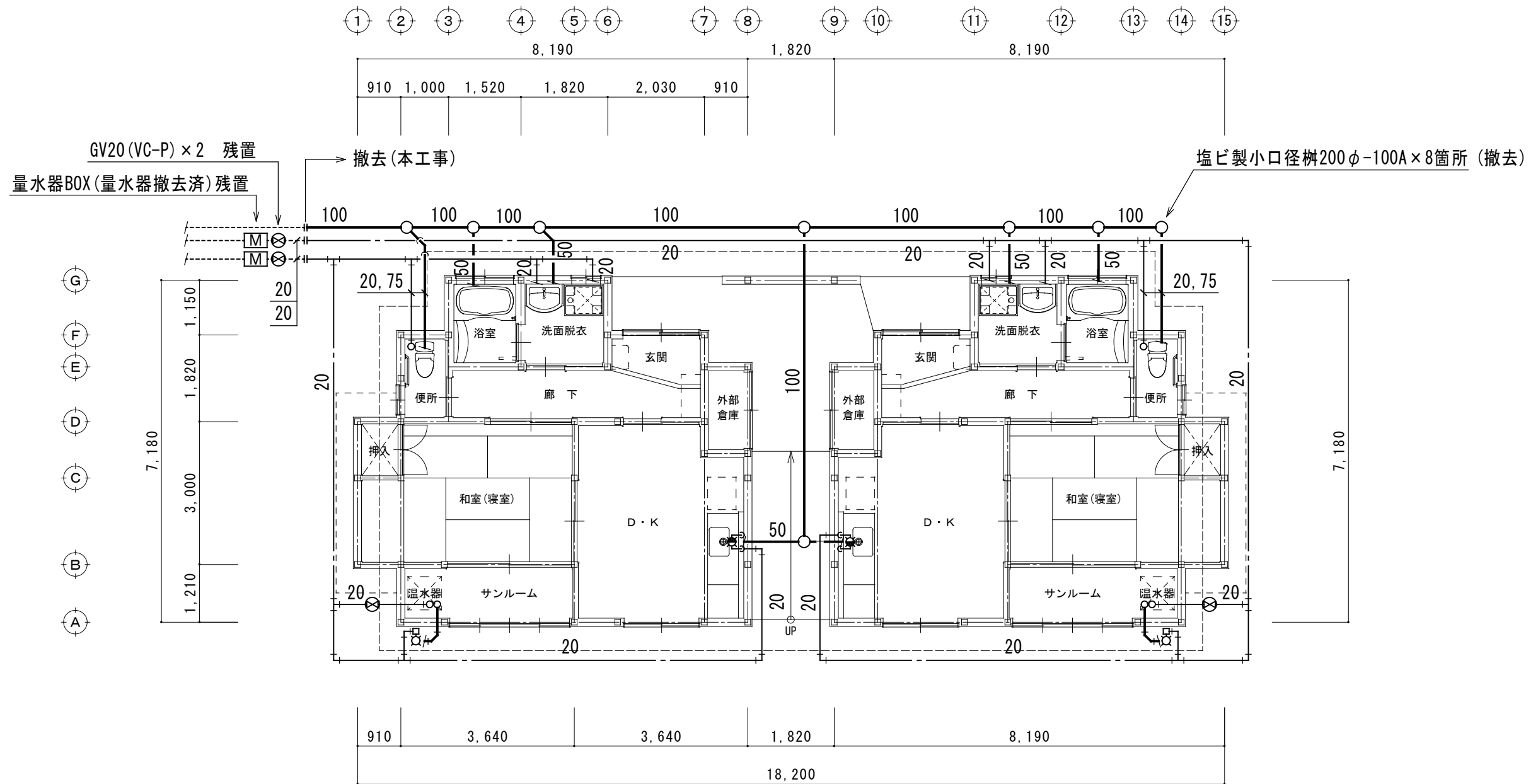
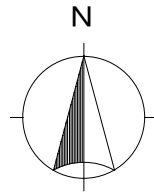
図面名称

松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

換気設備 2階平面図 [撤去図] D棟

図番

M-08



＜ GHI-1 ＞ 1 階平面図 S=1/100

＜ GHI-2 ＞ 1 階平面図 S=1/100

図示凡例

図示記号	工事内容
----	既設配管撤去(給水)
——	既設配管撤去(排水)
-----	既設配管残置

備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長

担当

製図

設計年月日

2026.1

縮尺

1/100

工事名称

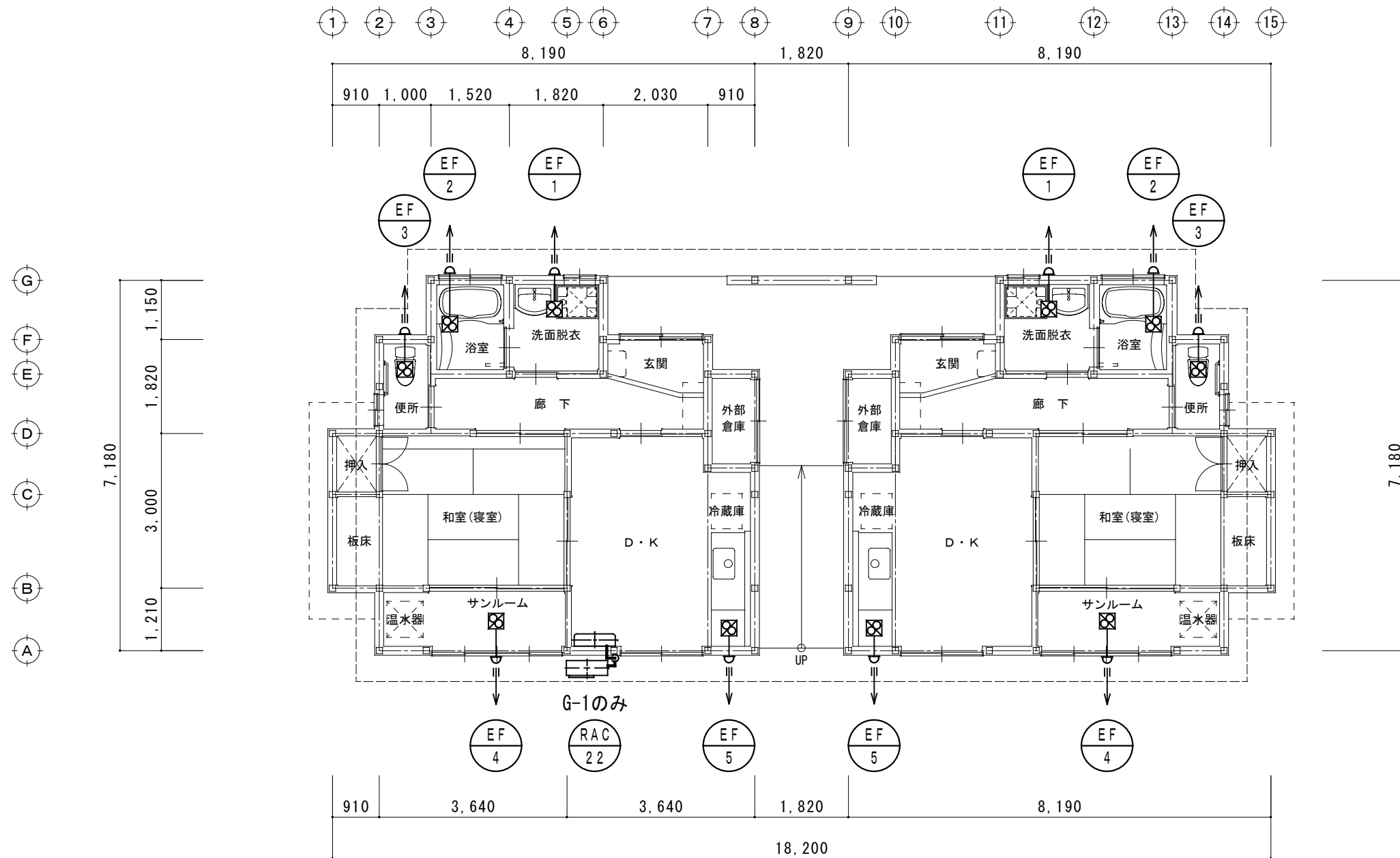
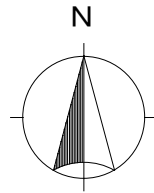
松風台住宅 D3 ほか3棟 解体工事

図面名称

給排水衛生設備 平面図 [撤去図] G・H・I棟

図番

M-09



〈 GHI-1 〉 1階平面図 S=1/100

〈 GHI-2 〉 1階平面図 S=1/100

備考



株式会社
高出建築設計事務所
一級建築士事務所 石川県知事登録第12752号
一級建築士 大臣登録第284336号 前野智美

設計番号

所長

担当

製図

設計年月日

2026.1

縮尺

1/100

工事名称

松風台住宅 D3ほか3棟 解体工事

図面名称

空調換気設備 平面図 [撤去図] G・H・I棟

図番

M-10